夕刊 滿洲日報 九月二十五日
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

不戰條約と調和のため 聯盟規約改訂案を作製
明年四月迄に佛國で委員會 聯盟總會の重大決議

【ジュネーヴ二十四日發電】本日の聯盟總會は聯盟規約と不戰條約の調和を取るため左の如き重大なる決議案を可決した

一、聯盟事務局總長ドラモンド博士は同趣旨を徹底せしむるため必要なる聯盟規約改正に關する提案を各聯盟國に通告すること

二、聯盟理事會は聯盟規約を不戰節約に調和せしむるため必要なる規約改訂案を報告せしむる目的で十一名より成る委員を任命し一九三〇年四月以前にフランスに於て會合せしむべし

軍縮小委員會の報告採擇

【ジュネーヴ廿四日發電】本日の聯盟總會はポリチス決議案を含む聯盟總會軍備縮小委員會の報告を滿場一致で採擇した

軍器輸送監理協約に調印

【ジュネーヴ二十四日發電】聯盟總會英國代表セシル卿は英國は今日まで死文に等しかつた國際的軍器輸送の監理に關する聯盟協約に調印することに決した旨聲明した

反蔣擧兵に對して 西北軍の策應困難
軍需品缺乏せるため

【北平廿四日發電】馮玉祥氏麾下の西北軍が張發奎氏の反蔣擧兵に策應すべしと傳へられてゐるが、確なる消息に依れば馮軍は現在軍費、武器、食糧共に極度の窮乏を告げつゝあつて有力な南京軍に對抗すべくもなく、一方山西軍も手を出さず南方時局が北方に波及することは當分なかるべしと見らる

聖上陛下 鹿島神社御參拜

【東京十五日發電】天皇陛下には來る十一月茨城縣下に於ける陸軍特別大演習御統裁を終らせられてより、官幣大社鹿島神社へ御參拜あらせらるゝ旨御內意があつた

閻馮兩氏は 十月下旬渡日か

【北平二十四日發電】昨日太原より歸平せる奉天代表葛光廷氏の談に依ると閻馮兩氏は十月下旬渡日の豫定で目下準備を進めて居り

鐵嶺の日支兵衝突事件寫眞＝（上は命令を待つ我鐵嶺守備隊、下は押收した公安隊兵の武器と彈藥）

太平洋問題調査會にて 論議される滿洲……(4)

◆…今日とそして明日の全支を通じて、紅の進運をたなびかした、大きな文化地帶を求めやうとするならば、それは上海を基點として擴がる揚子江の文化と、もう一つは大連を基點として滿蒙の奧に伸びてゆく鐵道の、その脊髓骨に附隨して生れる新社會の文化と云つたものであらう。

◆…「滿蒙は鐵道から」此言葉こそ茲十年前から、そして今後十年にかけての、我等の合言葉であらうと斷言し得らるゝ程、それ程滿蒙の延びゆく鐵道のすがたは、今や新しい天地を語る第一のものとなりおほせてゐる、そして此延びゆく鐵道を中心として塗り代へられつゝある滿蒙を見る者は、既に空疎な滿蒙問題を賣りものとする、觀念的滿蒙開發業者諸君の言葉になかつた新しい事實を見るであらう。

◆…筆者は曾て滿蒙十五鐵道の概觀を叙するに當つて、こうした序言を述べたことがあつたが、之らの言葉は決して主觀的獨斷ではないと信じてゐる。

◆…此篇に於ては鐵道の發達に伴ふ人口及び產業の伸張と、鐵道によつて發生されたニコラス・ルーズベルトの所謂國境鬪爭等々は後廻しとして、たゞ鐵道自體の進展を述べやう。

◆…まづ滿蒙鐵道の俯瞰圖を示して見ると

鐵道	哩程
(一)日本所有及び經營	
南滿洲鐵道	六九一、七哩
(二)日支合辦經營	
金福鐵道	六三、七哩
天圖輕便鐵道	六九、〇哩
溪城輕便鐵道	一四、九哩
小計	一四七、六哩
(三)日本の借款及請負鐵道(支那經營)	
四洮鐵道	二六六、三哩
洮昂鐵道	一三九、九哩
吉長鐵道(日本委任經營)	七九、七哩
吉敦鐵道	一三一、〇哩
小計	六一六、九哩
(四)露支合辦	
東支鐵道	一〇七七、六哩
(五)支那側鐵道	
京奉鐵道(奉天、山海關間)	二六二、〇哩
京奉山海支線(打通線)	一五六、三哩
瀋海鐵道	一九九、四哩
吉海鐵道	一一四、四哩
呼海鐵道	一三七、九哩
開豐輕便鐵道	三九、七哩
齊克鐵道	一九、九哩
齊昂輕便鐵道	一八、〇哩
小計	九四七、六哩
合計	二四八一、四哩

尚東支線に連絡せる穆棱炭礦鐵道(小城子、梨樹溝間三七哩四)と鶴立炭礦鐵道(蓮花口、興山鎮間三四哩九)等はこゝでは特殊鐵道として包含しないことゝした。

◆…一九一〇年迄の滿蒙鐵道圖は北を橫に走る東支と、縱を往く滿鐵と、京奉を繋ぐ線の形成する三本の線に過ぎなかつた、然るに一九二九年の今日は既に十七の鐵道が敷かれてゐる、しかも此の諸き天地にこれだけの鐵道で十分であり得やう筈はない、其證左には未成鐵道のいかに多く企圖されつゝあることか、段々として伸びる滿蒙の鐵道網、明日の滿洲は既に鐵道によつて華やかな先驅的光明が點ぜられつゝある。

◆…さて此等滿蒙の諸鐵道の概要を摘記して「鐵道は何を齎したか」を見やう。

南滿洲鐵道

一九一〇年迄の鐵路を繋ぐ東支と、京奉を結ぶ線とそして滿鐵と云つたものが滿洲を支配してゐた交通路であつた、しかし乍ら吉長、四洮と引きつゞき交通網が張られ、最近は明治三十八年十二月締結の日淸滿洲善後條約「滿鐵並行線拒否に關する條項」さへも無視して現はれた京奉山海支線(打通線)吉海鐵道と云つた諸線が出來、更に吉林、奉天、齊々哈爾の三都連絡が完成し、海港通山國へ結ばんとするかた、滿蒙の鐵道戰線は東支問題ばかりでなく、既に火ぶたが切られた感すらある、かくして吾等は新しく南滿洲鐵道を見直す秋が來てゐる。(一記者)

反蔣運動の擴大は 露支の紛爭を緩和
奉天當局の對露態度漸く軟化 哈市支那官邊の觀測

方時局の變動如何に拘らず實行さるべく議員等も人選中で葛氏も同行すべしと

【ハルビン二十四日發電】當地支那官憲は奉天當局の命に依り監禁中の赤露人百六十名中婦女子五十一名を既に釋放し共產黨員三十八名を裁判に附しロシアの對支武力行動の緩和を圖らんとしてゐるが右は

一、露國の頻々たる國境砲擊
二、國境封鎖に依る東鐵の減收
三、奉天、吉林兩軍の北滿移動に依る地方民負擔の增大と大洋票暴落に因る金融界空前の紊亂を來し東三省は財政的危機に直面す
四、南京政府の干涉に基いて起つた官界の南方勢力排斥機運の醞釀

等に因るものとされ、張學良氏も背に腹は代へられず此難局を打開するため一氣呵成に露支紛爭の局部的解決を切望してゐると、從つて南支に於ける反蔣聯盟の擴大は露支紛爭の加速度的解決の重要なる素因を作るものであると傳へられてゐる

勞農に壓迫され 支那領事館閉鎖
哈府を辛じて脫出して來た 領事館員吳氏の談

【ハルビン特電二十五日發】九死に一生を得て脫出して來たハバロフスク駐在吳支那總領事館員は廿四日ハルビンに到着し北平ホテルに入つた、氏は語る

勞農の壓迫は極端に行はれ七月中旬から通信交通は一切封ぜられ全く孤立狀態となり二十日遂に領事館を閉鎖して脫出したが浦鹽經由は勞農側で許さぬので黑河に出て同地で一ヶ月滯在してゐたが脅かされて居堪らず本月上旬出發チチハルを經て今日哈爾賓に到着したのである

尙ブラゴエ、ハバロフスク支那領事館は勞農の壓迫の爲め閉鎖し館員も二十二日全部ハルビンに引揚げて來た

內蒙古各王族が 獨立の陰謀
東北省當局重大視す

【奉天特電二十五日發】露支關係に乘じ近頃內蒙古における各王族は獨立陰謀を畫策しつゝあり、殊に庫倫方面に於ては公然東北省當局に反對の聲を上げ東北軍の國境出動を暗々裡に牽制するものあるため東北省當局では時節柄眞相を詳細に調査する必要を生じたので張學良氏は五十名の密行探偵隊を組織せしめ庫倫方面に派遣したと

『滿洲報』紙の 不買同盟を告示
不利益な記事を載せた爲 哈市濱江總商會て

【ハルビン特電二十五日發】支那新聞東三省商報は報じて曰く「時局の影響を受けて仲秋節には多數の倒產者がある」と尙これを滿洲報が轉載し十分の四まで大損害を受けてゐると報道したので濱江總商會では擔當記事として不買同盟の告示をなした、尙之に類する記事を載せる外人經營の新聞にも及ぼすものと見られてゐる

米國領事視察

【ハルビン廿四日發電】ハルビン駐在米國領事ヘンソン氏は本國政府の訓令を受け東西兩國境に於ける赤露軍の支那國境砲擊狀況を視察する爲め本日出發したが、アメリカ人活動寫眞技師、新聞記者七名も同行した

勞農は飽迄 戰爭回避
ウ委員長演說

【モスクワ廿四日發電】ロシア陸海軍人民委員長ウオロシロフ氏は本日ポブルイスク市に於て演說し露支問題につきロシアは極東に於ける紛爭につき戰爭に引入れられる事はなからう支那は我等を戰爭に引込むべく屢々試みたが我等は其手には乘らない然し支那人及び白露人の國境侵入に對しては絕えず擊退しつゝあると述べた、尙東洋方面よりは依然支那兵白露兵のロシア國境侵入暴行等の報道到着しつゝある

朝鮮博觀光團出發 第二回は廿九日に變更
滿洲日報社

二十六日出發の筈であつた第二回朝鮮博觀光團は二十九日出發の第三回加入希望者多きため第二三回を合併して二十九日午前九時大連驛發の急行で出發することにした、同組參加希望者はこの際至急團費三十五圓を添え申込まれたい、旅行中の待遇、京城に於ける觀光箇所等は第一回と同樣である。

太平洋會議の 奉天代表

【奉天特電二十五日發】張學良氏は豫てより今秋京都に開催の太平洋會議の奉天側代表として適當なる人物を銓衡中であつたが十八日左の三氏を任命することに決定、直に上海に在る支那側總代表余日章氏宛此旨通知したと

東北大學 周天放
Y・M・C・A 閻玉衡
商務印書館 蘇上達

太田長官初巡視
あす大連各方面を

太田關東長官は二十六日大連市各官廳、滿鐵の初巡視をするが豫定左の如し

△午後零時半旅順發△一時半取引所視察(後場の狀況を約三十分)△二時水上警察、海務局及び埠頭ビルより大連埠頭展望(三十分)△二時三十分滿鐵本社訪問△三時遞信局(三十分)△三時大連警察、地方法院、檢察局午後四時歸旅

節約運動に猛進し 特に禁酒宣傳に努める
浪費のための職業婦人の增加は遺憾 滿洲講演行脚の 守屋東女史談

◇守屋(左)千本木兩女史

婦人矯風會理事守屋東女史及び婦人社會事業家として世界各國の婦人社會運動に通曉せる千本木道子女史は滿鐵沿線各地講演の爲め廿五日入港のばいかる丸にて來連した船中に訪へば守屋女史は語る

今度は講演攻めで二十九日迄大連に居ますが、沿線各地を巡回講演してハルビン迄行き來月二日頃歸京の豫定です、緊縮時代にあつて婦人社會運動の狀勢も追々

堅實化す

る傾向がありますが、又一方後援者が夫々資金支出を切詰めるので社會事業家は可成り經營難に苦しんで居ます、去る十三日に百餘組の婦風會始め各婦人團體百七十餘名が濱口首相と官邸に於て會見し內相、藏相も列席して忌憚無く種々質問しましたが、結局全員協力節約に猛進する事に決し別れました、私は其後直ぐ東京を離れた爲め其具體的方針に就てはどんなに進んで居るか存じません、職業婦人の激增については婦人の社會的經濟的進出として見るべきでありますが、彼女等が必須な生活費の爲と言ふよりも

浪費の爲 職業を求める

傾向が見えるのは遺憾です、特にカフエーの激增從つて女給が多くなつた事については男子にも一半の責任ある事で經濟的條の爲彼等が結婚出來ず其爲め此手輕な享樂に闘を要求するからでせう、然し我等が永年主張し最も重大なる禁酒運動に就ては飽く迄も貫徹する意思で各地での講演も之が目的ですが彼の二十五歲

禁酒法案

は酒屋さんも是に反對せず我等は極力宣傳する爲め澤柳博士のパンフレットを全國に配布しますが是が資金約一萬圓を要し當地の皆樣も何卒宜しくお力添願ひます

婦人運動の傾向 其主力を平和に
千本木女史のお話

千本木女史も甲板に出て來たが女史は語る

現今の婦人運動は其主力を平和運動に向けられた傾向があります、鐵と血の暴れ狂ふ戰爭の爲に幾萬の愛兒を奪はれて了ふ母の心としては當然でせう、近來各國婦人運動が組織され而して實行的になりつゝあるのは喜ばしい事と思ひます、特に此點アメリカ婦人等に於ては活動的です

人事

▲守屋東女史(婦風會理事)二十五日入港のはいかる丸にて來連市內西公園町岡安方へ
▲千本木道子女史(社會事業家)同上
▲高島鑒子孃(元映畫女優)同上
▲秋山雅輔氏(東京寫眞專門學校教授)外一行七名同上ヤマトホテルへ
▲太田信三氏(小林印刷店主)同上歸連
▲大分縣玖珠農學校鮮滿旅行團一行六十七名 白岩教諭引率の下に同上來連
▲大多光太郎氏(東北帝大教授)旅順工科大學に於て鑛工學講義の爲同上ヤマトホテルへ
▲森川照太氏(京津日日社長)廿五日入港のばいかる丸にて來連
▲高橋勇氏(正隆銀行常務)同上歸連
▲梅田潔氏(會社員)同上來連
▲內田勝一氏(三菱商事會社員)同上
▲永山旅順市長 廿五日大連往復
▲岩永裕氏(哈爾賓文化協會)二十四日來連
▲菅野福一氏(關門日日新聞東京支社)同上

大觀小觀

時は秋、機は熟せり。支那また大に亂れんか。

◇

蔣派の狙ふところも、恐らくは其の邊ならん。

◇

だがしかし、支那の新舊軍閥、疲弊に疲弊を重ね、さすがの馮玉祥すら、金に窮して手の出せぬ有樣。

◇

初めから板ばさまりの奉天政權、遠東への出兵は結局、出費。奉天票とはそノをいはず、哈大洋さへドシ〳〵と遠慮なく下落。

◇

北滿の秋風は既に寒く、赤露との對峙も少しく倦怠の氣味。

◇

そこで遼陽大學の決死隊から續々と逃亡者を出すとは支那ならでは見られぬ圖。

◇

むら雀、案山子の弓に飛んで來る。

天氣豫報

(二十六日)北西の風晴後曇、但し處により驟雨模樣あり

日出 五、四三 日沒 五、四六
滿潮 午前二、三五 後二、四五
干潮 午前九、二五 後九、〇

各代表玉串を捧げ 勇士の英靈を祀る
けふ中央公園の忠靈塔前で 嚴かな秋季招魂祭

恒例の大連秋季招魂祭々典は中央公園忠靈塔前に官民知名の士續々と參集し午前十時半より嚴かに執行された、即ち神式にて修祓、齋主降神奉仕、供饌、齋主祝詞、齋主玉串奉奠等、次を追うて寂として聲なく此の間各學校、軍隊、在鄕軍人會等を初め各團體の參拜ひきもきらず、次で石本祭典委員長遺族總代、厚東現役軍人代表、田中民政署長、大平滿鐵副總裁、岩井在鄕軍人聯合分會長、傷兵會代表、恩田市會代表、村井商工會議所會頭、張大連華商公議會代表、麗小崗子華商公議會代表、一般參拜者代表等玉串を奉つて拜禮し齋主昇神の奉仕あつて同十一時嚴肅に祭典を閉ぢた【寫眞は祭典】

閣僚の俸給 率先し一部辭退
濱口首相も贊成し愼重考慮 高等官も之に倣ふか

【東京二十四日發電】濱口內閣の緊縮節約方針に對し二、三都市の市長、助役等は既に其の俸給の幾分を辭退しつゝあり、東京市でも堀切市長は之を實行せんとしてゐるが一方官吏の俸給が高過ぎるから之を引下げよとの說が政黨方面でぼつ〳〵起りつゝあるに鑑み現內閣の閣僚中には先づ閣僚より率先して

國庫より 受くる俸給の幾分を辭退すべしとなす者があり、濱口首相も內心之に贊成し何時でも之を實行するに吝でないとしてゐる模樣であるが只閣僚として之を實行する以下政務官以下の官吏は總て之に倣ふべく政務官の之に倣ふは可とするも一般官吏を之に倣はしむるは强制すると同樣の結果となり面白からぬ影響をも與へるので愼重考慮中であるが、眞面目一方の濱口首相の事であるから結局

斷行する に至るべく一般官吏も高等官三、四等以上位は之に倣ふことゝならうと

朝鮮疑獄の 東京移管を協議
京城の永尾檢事正も上京し けふ最後の方針決定

【東京二十五日發電】目下朝鮮京城地方法院檢事局で取調中の肥田理吉の詐欺事件を東京に移管して取調べるか又は全然事件を分割して取調べるかは山梨前總督の身邊の疑雲を朝鮮で摘發するか東京で暴露するかの重大案となつて來たが二十四日午後の司法部巨頭會議でも主として此の點の取扱上に關し協議したもので折柄上京中の中野京城檢事局次席檢事及び二十五日上京することになつてゐる永尾京城檢事正の着京を待つて二十五日鹽野東京檢事正も加はり最後の重要協議をなす段取となる模樣であるが、此の會見で肥田を東京に護送するか否かを確定する譯で東京と朝鮮とは法律上の性質が違つてゐる關係上簡單には處理し難く前途なほ困難が横たはつて居り山梨前總督の召喚も從つて此の以後になる模樣である

滿洲倶樂部 京城遠征
廿六日朝出發

滿洲倶樂部野球選手一行十六名は中澤監督に引率され二十六日朝大連發の急行列車にて京城に遠征二十九、三十の兩日朝鮮鐵道局と定期戰を行ひ、十月三日より朝鮮博覽會の附帶事業として行はれる野球大會に出場する事と決定した、尙同大會には全東京參加の噂もあり、滿倶側は濱崎、永澤兩氏が職務の都合上參加不能となつた故相當の苦戰は免れ得ないであらう、選手氏名次の如し

▲投手兒玉、山口、青山、藤枝、小松▲捕手片岡、廣津、福山▲內野手疋田、南條、花滿、吉野、長澤▲外野手絲川、宗正、井上

大連秋季招魂祭 忠靈塔の祭典

早廻競走の 所要時間入賞者
適中者は一名もなかつたが 僅か一二秒違ひが一等

本社主催の市內電車バス早廻り競走所要時間懸賞豫想投票は應募數五千三百五通に達し審査の結果當日の實際所要時間たる三時間五十八分五十二秒の適中者は一名もなく三時間五十八分五十秒の高橋悟君が二秒違ひで一等となり、八秒違ひの五十九分中から抽籤で二三等を決定、その他は何れも五十八分の五十二秒違ひで四五等を決定した、當選者に對しては明日中に當選通知狀を發するから右通知書引換に本社に出頭受取られたい地方の分は本社より直送する

一等賞（銀側腕卷時計）
大連市眞金町十二ノ五ノ四 高橋悟

二等賞（クローム側腕卷時計一個宛）
大連市文化臺一〇〇〇慶井方 安藤文芳
大連市大和町三六ノ一三九 中村トシ子

三等賞（シャツ一枚宛）
大連市櫻花臺三三 山本平吉
大連市若狹町五ノ一五四 田中キク
大連市聖德街一ノ一七六 佐藤彰

▲四等賞（シャープペンシル一本宛）大連 馬見塚仙平、山本英子、西村軍次、川岸寅之介、德永秀男、原田岩太郎、赤根記一郎、森原淳夫、廣本泰二、濱田漣、石橋勝寛、佐知隆、白井喜伊藏、成宮重雄、岩梅亨、齋藤春次、松岡薫、井上タキ、松岡洋子、旅順 伊豆大

▲五等賞（クレイヨン一箱宛）大連 中山事雲、原田岩太郎、松山、湯原芳夫、小手川清次、二方笑一

寫眞家一行 けふ來連
各地で撮影

滿鐵情報課の招聘に依り滿鐵沿線各地を撮影して廻る東京寫眞專門學校教授秋山轍輔氏外一行七名は二十五日入港のばいかる丸にて來連したハルピン迄行き約十六日間の豫定だと【寫眞は一行】

世界野球戰近づく
勝味はシカゴ・カブスに多い 必勝を期すマック氏

【シカゴ廿四日發電】アメリカンリーグの覇者費府アスレチックスとナショナルリーグの勝者シカゴカブスの兩チームが世界野球選手權爭覇の第二十五回ワールドシリーズの初試合にシカゴリグレー球場で相見える事になつた

■

野球界尊敬の的となれる費府のマネージヤー、コンニー、マックは一九一四年のセリーズに連敗を喫してから始めて再び此の大舞臺に乘出して來たものである

■

此れに對するカブスは一九一八年秋のセリーズにアメリカンリーグの覇者ボストン軍に四對二にて敗られてから始めてよ此の兩雄の勝敗の豫想は果して如何

■

下馬評はシカゴにやゝ歩があると言はれており、六十五歲のマックの希望も空しくなるものと見られてゐる、アスレチックスはフオックスシモンなる强打者を擁し又二壘のビショップも輕快な好打者である、費府のシモンスは兩チーム一の外野手と言はれてゐる

■

カブス軍ではリーデングバッター、グリム、スチブンソン兩選手が此の程負傷癒えて復活したとは言へ今春來のハーネットの不出來は打擊であらう

■

ウオールドシリーズ試合はシカゴで一回費府で三回、倘勝負の決しない時はシカゴと費府兩市で分けて行はれる

形勢險惡な 三業組合の總會
愈よ組合規則改正を あす午後扇芳亭で協議する

大連三業組合が曩に大連署へ提示した組合規約の改正案は組合役員が勝手に改正したもので組合員全部の意思を無視し總會に計つたものでないと云ふ理由から組合同志會側で反對あり、大連署へ陳情したので原田保安主任は今月始め組合に對し右規約改正に就き臨時總會の開催を命ずる處あつたが、組合役員側は形勢不利と見て名を溫習會開催の準備に籍口、荏苒日を延ばしその間反對側である同志會の切り崩しにかゝつてゐたが、勝算成つたものか愈々二十六日午後一時から扇芳亭において開催する旨大連署に屆出て來た、併し同志會側には頗る强硬意見を有する者あり、相當波瀾あるものと豫測されるので當日は大連署からも特に原田保安主任並に高等特務一名が立ち會ふ事になつてゐる

けさ飄然と 高島愛子孃來る
十日ほど遊んで歸る

かつて映畫界に、活劇女優として其の名を唱はれた高島愛子孃が、唯一人で突然何の前ぶれも無く本日入港のばいかる丸で來連した黒い帽子に黒い服、昔の華やかなりし姿にひかへて餘りに地味な彼女の姿に、同船の人々すら氣附いた者は少ない樣であつたが、其のすらりとした體格と薄化粧した美しい顏とは人々の目を惹いて居た、大連港の景色に見入り乍ら愛子孃は語る

私の參る事がよくおわかりになりましたね、どなたにもお知らせしたかつたのですが……漫然と十日程遊ばせていたゞくつもりです、別に何も用事と云ふ程の事はないのです、映畫界からは全く手を引いて居ます、もう一年になりませう唯今は遊んで居ます銀座の洋服店ですか、あれは唯女優を止める宣傳に使つただけなのです、お友達のお宅に泊めていたゞいて大連の附近だけをよく見せていたゞくつもりです（寫眞はばいかる丸上の高島愛子孃）

刺身庖丁で 咽喉を掻き切る
死にきれず苦悶中發見さる 哀れ老人の自殺未遂

二十四日午後十一時三十分ごろ大連土佐町五五島津熊次郎かた無職長廣佐八（七一）は家人の寢靜まるを待つて勝手元に到り茶碗酒をあふつた上炊事場の刺身庖丁を持ち歸り自室六疊の間に端坐し自分の咽喉を掻き斷つて自殺を企てたが死に切れず苦悶中を家人に發見され山縣通り唐澤病院に收容された原因は不明なるも本人は熊次郎妻キヨの實父で生活豐ならざる處に本人の外子供まで居候してゐる爲め家庭的に面白からず常に悲觀し厭世の結果ではないかと云はれ、また一面には發作的に精神異狀を來した結果ではないかとも噂されてゐる

某前閣僚に關する 犯罪の確證擧る
近く檢事局に召喚か

【東京廿五日發電】司法省では廿五日午前十時より大臣室にて渡邊法相、小原次官、泉二刑事局長等參集重要協議をなした結果、渡邊法相は同十一時五十五分首相官邸に濱口首相を訪ひ某々事件に關し愈々某前閣員に對する犯罪の確證が擧がつたので之が檢擧のため一應は裁可の手續きをとるため首相と協議したもので此結果某前閣僚は二三日中に檢事局に召喚されるらしい

埠頭ビルの 漏電小火
けさ三階で

過日大火を起して未だ修築中の埠頭ビルに二十五日又も小火があつた、同日午前六時二十分同ビル三階浦鹽旅館係タイピスト室にボーイ丁開山（二〇）が掃除せんと入つた處室內天井電燈附近の假設電線から漏電して青火が燃えて居り大騷ぎとなり折柄い合せた木野新司（二…）しが氣轉を利かして電線を切斷したので同六時四十分鎮火事無きを得たが再三の漏電失火に怖れられてゐる

不具を種に 金錢强要
浮浪者を檢擧

大連常盤町一七社會館止宿元土木請負業藤原平太郎（四〇）同大西惣十郎（五二）および沙河口西町三一門場かた同居元土木業草野洪（四七）の三名は二十四日午後二時ごろ藤原の不具者なるを奇貨とし美濃町九一材木商早野重右衛門および同町九七醬油醸造業北村サウかたに赴き同情金の惠與を需めた外數軒から約五十圓の同情金を强制した事判明二十五日大連署に檢擧された、最近市內には斯る手合の浮浪者多く金錢の强要を受けた際は早速屆け出て貰ひたいと

橫斷飛行詐欺
兒玉は喰せ者

【サンフランシスコ廿三日發電】太平洋橫斷の壯擧を發表した兒玉仙平は過去一年に亘り在米同胞より二萬餘弗を集めたが之を費消し現在手許には二百ドルしかなく飛行機を注文したとは僞りで飛行會社とは何等の契約無く全く太平洋橫斷飛行の美名の下に在留同胞を喰物にしてゐたことが判明した

演藝館で 金庫盜難
犯人は下足番

二十二日午前七時三十分頃大連近江町二活動常設館演藝館事務所では現金四十圓在中の中型手提金庫を何者かに竊取された旨屆出でたので大連署では刑事や鑑識係が出張し捜査取調べた處犯人は內部の者と睨み有力なる容疑者同館使用下足番人李樹英（二〇）を引致科學的調査の結果右に相違なき者と判明した

同人は本犯罪の外金時計金指輪等多數竊取した事も自白し目下取調中である

支那婦人が 運轉手志願

沙河口署へ廿四日最初の中國婦人の自動車運轉手受驗出願者があつたこの婦人は沙河口元町一二八滿洲自動車講習所にて修業した旅順管內王家屯會龍王塘第廿五番地于孔氏六女于鳳英（二〇）にて水師營公學堂高等科を卒業した妙齡の美人であると

藤田畫伯歸朝

【東京二十四日發電】パリーに於ける一流の畫家として名聲を馳せ日本の爲めに萬丈の氣を吐いてゐる藤田畫伯は二十四日午前十時半雪子夫人（佛人）同伴十七年振りで歸朝帝國ホテルに入つた

實業團撫順へ

大連實業團野球選手一行は（確たる人數未定）全撫順の招聘に應じ來る二十八日夜大連を出發し二十九日撫順にて全撫順と一戰を交え即日歸連する事と決定した

見切品大賣出し

▲浪速町鈴木呉服店は二十三日から二十七日まで多衣の見切り大賣出しをするが品質が良くて低廉な事は同店の特別奉仕である

▲磐城町のラクダヤ本店は二十五日から三十日迄一年一回の藏ざらへ大賣出しで季節向の毛糸、服地及既製品等掘出物豐富であると

・・・・・・・青葉フルーツパーラー・・・

市內奧町裕泰洋行に永年勤續せし井上重明氏は今度獨立して市內大山通り十四番地正隆前に店舖を設け果實類洋菓子西洋草花の販賣とフルーツパーラー（果實食堂）を開業したフルーツパーラーは滿洲に於ては始めての試みで家庭本位のものなれば一般より多大の好評を受けるだらうと

本社見學 周水子小學校生徒九十三人は野尾穀藏氏外四訓導引率の下に廿五日本社を見學した

特産出廻り豫想と各銀行貸出方針

大體昨年と變りはない

久しく閑散狀態にあつた當地金融市場は昨今漸く四平街、公主嶺地方から新豆走りが出廻りかけて市況やゝ活氣を呈し各銀行では特産資金の貸出準備に忙しい、當地金融界の實狀は金融緩漫で、寧ろ金利低下を示して居るけれど、財界の前途に金解禁を控へて寧ろ金利は騰貴の傾向にあり、繁忙期に直面して各銀行の態度は頗る注目に値する、特産出廻り豫想及び貸出方針につき各銀行の意見を叩いて廻れば――

あらうと期待してゐるが、何分奥地は時局關係で迂潤に貸出も出來ず、この點充分なる警戒が必要だと思つてゐる

短期確實だ心配はあるまい

◇…朝比奈正金副支配人談

今年の特産界は露支紛爭によつて滿鐵港が杜絶してゐるので、それだけ特産物が南下するものと豫想される、殊に先達ての降雨で

◇出廻期　が餘程はやめられた模樣で、現に荷爲替の取組が日々に増加しつゝあり、非常に有利な事情にあるが前途に金解禁を控へてゐるのでどんな事情が起らぬとも限らず一概に樂觀出來ぬがこの難關さへ善處すれば今年の特産界は頗る活況を呈するものと見てゐる、貸出金利ですか？解禁の結果正貨が流出し、內國通貨が收縮さるれば理論上內地の

◇金利が　上るだらうから大連も自然これに追隨するもの思ふ、しかし特産資金は最も短期であり確實であるから上るとしても大したことはあるまい、銀資金は私の方が發行銀行でもあるから充分考慮するであらう

特別の手控えなどはしない

◇…鮮銀井口副支配人談

金解禁を控へて特に特産資金の貸出を警戒するといふやうなことはない、しかし解禁によつて起り來るところの

◇影響に　對しては充分の警戒を行はねばならぬと思ふ、世間では政府の政策と合致するやう鮮銀が鮮銀券の收縮を行つてゐるから自然貸出方面を手控へるであらうと見てゐるが、目下のところそんな政策は斷じて執つてゐない、殊に本年は露支關係で、南滿特産界の活況を豫想されてゐる折柄殊ひてこれに逆行するやうな方針は執らぬ考へで、特産資金に限らず確實な

◇投資口　があればドシドシ貸付ける方針である金利は昂騰氣配にあるが、之も手心を加へるといふ程度ではないだらうか――。

特産資金には金利も響くまい

◇…滿銀長谷部取締役談

金解禁の結果、滿洲財界にどの程度の影響を與ふるか――これが特産資金の貸出態度を決する條件なんだが、一般の見るところでは肝腎の輸出は

◇銀安で　寧ろ有利となり輸入は支那人購買力の減退で一時不振を招來するとも特産界に影響はなかるべく、事業界にしても解禁の聲で今日まで既に八分通りの影響が來てゐるから、これも今後の準備次第では打撃はなからう、斯く見て來ると一番問題なのは金利昂騰である、內地が上れば

◇滿洲も　これに追隨するであらうが、特産資金は普通貸出と異り條件が最も有利であるから大して響くまい、從つて貸出方針は例年と變りないといふ譯だ、事實滿洲の銀行が特産資金を手控へたのでは商賣にならぬからネ

奥地に對して相當に警戒す

◇…山本正隆支配人談

特産資金の貸出方針に對しては別に變更はない、しかし金解禁がどの程度財界に影響するかの

◇見解に　よつて幾分の手心を加へてゆかねばならぬだらう順序から云へば貸出金利は昨年より高くなるのだが、これも解禁の結果、正貨がどれほど流出するかによつて定る問題であつて只今のところ、金利引上げの方針も樹てゐない、浦鹽港杜絶で

◇大連港　を中心に賑ふで

年內解禁は恐らくなからう

歸連した高橋勇氏語る

業務打合せのため上京中の正隆銀行常務高橋勇氏は廿五日入港のばいかる丸で歸連したが氏は語る

上京の主な用件は東洋汽船の總會出席にあつたがそれも無事に濟せ、保善社に立寄つて仕事の打合せをして來たが、別段目新らしい話はない、內地財界は金解禁問題で盛んに騒いでゐるが政府の緊縮政策が徹底し、財界一般に引締つてゐる、內地では年內に解禁斷行と見てゐる向もあるが僕の見るところでは恐らく年內斷行はむづかしく、勿論春に持越すであらう

哈爾賓の金圓流通

八月中增加す

【ハルビン發】哈洋の暴落と何等直接の關係はないが、圓金の八月中流通高は七月に比して約三百萬圓以上の增加を示してゐると消息通は觀測してゐる、特にダリバンクの閉鎖により銀市場である哈爾賓により一層圓金の需要を增したことは瞭である

各外國銀行の八月末現在の預金帳尻は八百三十七萬二千圓餘で七月末の其れに比較すれば約二百十一萬五千圓餘の增となつてゐる、これは直に金融市場に於ける圓金流通額の總和とは勿論考へられないが、圓金預金口座の增加したことは瞭に其の需要の半面を立證してゐること丈けは事實と見てよいであらう

支那側銀行としても不安定な哈洋よりは金留の確實性に還元して幾分でも其の損失を免れる方法を講じてゐることは當然で、金の需要は寧ろ其の意味に於て支那側官憲筋の方が一般商人に比較して多い數字を辿つてゐるも哈洋の前途に對して危惧してゐることを裏書してゐるものであらう

哈銀調査終る

滿銀對哈銀合併のため審査調査中

鐵道部の經費豫算

廿六七日頃終了

來年度事業豫算査定を終つた滿鐵々道部では二十四日よりヤマトホテルに於て經費豫算の打合會を開催しつゝあるが二十六七日頃には終るであらうと見られてゐる

南行運賃の値下げ請願

安達支那油房が

【ハルビン特電二十五日發】安達方面の支那側油房では浦鹽向け豆粕の輸送は洮昂線杜絶で見込みなく從つて南滿を選ばねばならぬから南行線も東行同樣に運賃を値下げして欲しいと東支管理局に請願した

一人一言

福昌華工專務　高尾秀市氏

銀價の下落に伴ひ華工の勞働賃銀が低下の性質を帶びることは充分に考へられる、換言すれば彼等華工の實際上の收入は減少することにならう、然しながら當會社の根本方針は華工の衣食住を保證し安んじてその業に就かしむるになるから、特別の事情ある限り相當の考慮を拂ふこと勿論である

即ち日常生活に於て麥粉砂糖その他に對して市價より一割乃至二割方の廉價を以て供給して居るから假令實際上の收入が減少するが如き場合に於ては此等の事情に對し配慮することを得るのである、所謂大家族主義の下に隔意なき意思の疏通を圖り協力して社業の發展に努力してゐる次第だ

爲替の急騰とこれが對策

四十八弗突破につき

井上藏相は語る

【東京二十五日發電】爲替相場は依然强調を續け遂に四十八弗を突破するに至つたが之につき井上藏相は二十四日左の如く語つた

四十七弗五十仙位までの上り方は輸入の手控へ輸出促進に依る堅實な上り方であるが夫れ以上最近の五十仙程度の上げ具合は確かに思惑の爲めだと見てゐる此意味では三土君の批評も當つてゐると思ふ、思惑が入つたからすぐに正金をして賣出動せしめるかと言つても夫れはさう簡單に行かない此の際買向はしめるかどうかかういふ細かい技術上の問題は正金のフロントに立つてゐる者に委せて置けば良い勿論爲替政策の大方針に就ては常に正金の報告に基いて過りなきやう期してゐるから今後とても買つた方が良いと云ふ事になれば其の時は又買向はしめるゝへである

海外米品の輸入關稅免除

【東京二十四日發電】アメリカ上院は海外に於て製造せられた米國の貨物で米國の商標を附し米人に依つて輸入せられたものは關稅を免除する案を投票可決した

朝鮮銀行の箱崎店長

吉谷滿銀審査課長は既に哈銀の營業狀態其他を調査し終つたが、朝鮮銀行の箱崎奉天店長が奉天に出張中であるため大連に歸任前箱崎氏と會見し鮮銀側の大體の意嚮を聽き直に歸連の由で多分廿五、六日頃となる由、今井長春支店長は廿三日南下歸任の筈

◇…チヨツト小高い所から見渡すと、大連市內は其處にも此處にも「新築々々」の景氣のよさ。

◇…一方目拔きの通りを散歩して見ると、曰く半額大賣出し、曰く店仕舞ひ移轉の貼札。

◇…一たい、今の大連は景氣がよいのか惡いのか。

◇…建築の增加は銀安時代を覘つてのこと、藏浚ひ店仕舞ひの續出は金解禁準備のため？

◇…と、凡の目安はつけて見るもの〻同じ市內の現象だけに何んとなくチグハグな感じだ。

◇…爲替四十八弗を突破す。

◇…然し乍らまだ〻眞の解禁相場來と云へるか何うか。

◇…東電に依れば八弗臺になつたばかりで八弗臺維持に大藏、日銀、正金各當局努むとある。

◇…これは未だチト眉唾ものだ。

◇…今の所四十七弗半までは自然の騰貴、それ以上は思惑相場と見て居る井上藏相の談話と矛盾するからね。

金解禁座談會

―（本社經濟部主催）―

「滿洲經濟界」を中心として（四）

出席者（イロハ順）

三井物産	石田禮助氏
錢鈔信託	伊藤久太郎氏
大正洋行	大島甲槌氏
南滿鐵道	神鞭常孝氏
綿絲聯合	神成季吉氏
朝鮮銀行	武安福男氏
大連機械	高田友吉氏
大連輪組	雀田忠雄氏
商議會頭	村井啓太郎氏
同書記長	篠崎嘉郎氏

銀相場の前途

雀田。銀相場はどうです？

石田。八十圓位までは下るでせうな――

武安。現在の銀塊二十三片といへば底値に近いから金解禁で銀の底値を作ることにならう、結局はこれで支那輸出が盛んになり銀相場は下るより上る機會の方が多くならう

錢鈔市場では

石田。しかし錢鈔市場の打撃は免れぬネ

伊藤。そうです、だが爲替は解禁後も四十九弗臺に居据わつて絶對に動かぬものとは思はれない又多少下るやうなことも場合によつてはあると思ふ

村井。そりや多少の動きは……

伊藤。或は四十七弗臺まで……（この時二、三の人、これに對し異口同音に「そんなことはあり得ない」といふ）

滿鐵事業緊縮

村井。滿洲では金解禁そのものによる影響よりも、寧ろ政府の緊縮政策が滿鐵の施設にどの程度の影響を與へるかの方が大きな問題だらう

神鞭。そうだ、滿鐵が社債で仕事をしやうとする場合についてはこの際相當考慮を要することになるだらうネ

昭和製鋼問題

村井。その意味で昭和製鋼所設置の如き差當り困難だナ

高田。だが、製鋼所の如き國家的事業は是非共やつて貰ひたいものである

滿鐵への希望

石田。この際滿鐵に希望することは外國品を見合せて自國品を使用することだなア

神鞭。無論、その方針です

銀安値と企業

神成。もう一つ滿鐵にお願ひしたいのは銀の安い時に滿鐵の事業を盛んに起して貰ひたい事だ

神鞭。我々もその方が有利だと思ふが、緊縮のこの際、然うもならず其の鬪些かヂレンマに陷つてゐる譯ですナ

運賃の引上げ

石田。どうです、君、我々商人が儲ける位は知れたものだ、いつそのこと滿鐵で運賃をもウンと引上げて××××××したら面白からう

神鞭。そうだネ、運賃を上げて儲かつた金は滿洲の事業投資に振り向けますかナヘヘヘ、、

神成。運賃が高くなれば日本の農家が困るだらう

石田。そりや、豆粕だけの問題だから大したことはない

輸入品の運賃

神成。輸出は兎も角輸入品だけは運賃を下げて貰ひたいものだネ高田。

そりやそうだ、事業を起す

雀田。どうか、そうして貰ひたいナ、いつそのこと×××だけの運賃を下げることにすれば……

神鞭。まさかそんな譯には行くまいが（一同哄笑）……まるで滿鐵座談會といふ形になつたナー（一同再び哄笑）

物價の安定期

大島。一たい解禁後物價が安定するまでには、どの位かゝるのでせう

村井。尠くとも半歲以上はかゝるものと見なければならない

購買力減退は

神成。まあソンな所だネ

伊藤。現在の購買力減退は季節的のものではありませんか

大島。しかし銀安が直接の影響でせう

銀安時の回收

神成。何にしても銀安の時に內地から低資の融通を仰いで仕事をせねば駄目だ、元來日本人は銀の高い時に金を散じ、安い時に回收する……

建築と利廻り

石田。鐵銀さんもそうだ

には今が一番有利だ、例へば家を建てゝも一割一分位の利廻りはある

（家屋建築、借家問題等につき雜談あり、暫しの後、――）

小賣商の對策

大島。只今までのお話を伺ひますに、天下國家の大局論が主となつてゐるが、我々の知りたいのは今後我々のやうな商取引をしてをるものは如何に解禁問題に處すべきか、殊に小賣商の執るべき途はどんなものかと云ふ問題です、一たい何うすべきでせう、石田さん

消極的方針で

石田。そうですナ、儲けるといふよりは寧ろ損をせぬといふ用心で進むより外はないですナ

武安。要するに小賣商としてはストックを多く持たぬことですネ

石田。結局當分は、消極方針を執ることだナ

記者。有難うございました、いろ〳〵有益な御意見を伺つて大變參考になりました、ではこれで散會致します（第一回の座談會終り）

市況

特産

現物薄で大豆期近强調

大豆は現物薄に急需手當買ありて一氣昂騰、折柄常期納會接近に近物も亦上伸、他限亦相伴れて浮動商狀を示し、高粱買氣薄に現物出來不申の不振に先物も亦不味他の各品は平調大引、現物大豆は油房五車、日清、三井、熔順祥で五車豆粕は日清のみで二千枚の手合はせ、今朝の油房生産高は九千枚、操業工場は四軒

◇定期前場（銀建）

▲大豆（厘々單位厘）

▲豆粕（保合）單位厘

▲豆油（軟調）單位錢

▲高粱（暴落）單位厘

▲包米（出來不申）

◇現物前場（銀建）

混保大豆（裸物）（袋入七五〇〇 七五五〇）

◇定期喰合高（前日對比較△印減）

品名	高	比較
大豆	五一九三車	一三〇車
高粱	二六六車	一七車
豆粕	九四一千枚	一八千枚
豆油	一八〇〇百箱	三〇百箱

錢鈔

銀塊高で鈔票反撥

今朝の海外材料としての倫敦銀塊は廿三片二分の一と（十六分の一高）先物は廿三片二分の一と（十六分の一高）紐育は五十仙八分の五と（八分の一高）孟買は五十三留比十六分の十一と（八分の一高）滙兌は七十兩三二五滙中は七十二兩四二五大洋は九十九圓二十錢、日米は四十七弗十六分の十三（同事）米支は五十四仙三十二分の二十一と（十六分の三高）と寄り出來たため當市の銀價は反撥を示し四百二十兩三と止め……

◇定期取引

◇現物取引

商品

前場

▲麻袋（續落）…

株式

內地聢り乍ら地場氣弱し

北濱前場は諸株共三四十錢高と小堅く東京又强氣配を入れたが當市も氣弱く五品、新豆共十錢安の弱保合商狀を呈した、現物の大新は五十錢高、新東二三十錢安、鐘新二十錢安、出來高定期百七十枚、現物三百六十枚

前場　後場（聢り）

豆

頃日來聢り商狀に推移してゐた大豆は現物薄で急需手當の買があつて現物は十八錢方の暴騰を呈した▲定期は當期納會切迫で九月限は上伸し他限も亦相伴れて浮動商狀を辿り十二月限は五錢方の低落…

銀

海外材料としては倫敦銀塊十六分の一高、紐育八分の一高、孟買八分の一高▲爲替は日米同事米日十六分の一安を入れ上海標金は四百二十兩三と同事に寄りジリ安を辿りて十六兩の三と止めた▲地場鈔票も銀塊高に添ひ反撥商狀にて大引け…

市場電報

銀塊及爲替

棉花

大阪株式

東京株式

大阪期米

東京期米

大阪綿糸

大阪棉花

神戶豆粕

橫濱生糸

印度麻袋

奥地市況（廿五日前場）

特産

▲大豆　▲高粱　▲小麥

錢鈔

株

今朝北濱諸株は小高く東京も强氣配を傳へたが當市は一般に氣弱く五品新豆共一二十錢安とヂリ貧商狀を呈した▲五品は地場の弱氣配に反し東京市場は割合に聢りしてゐるが目先的には買ふべき材料は何もなさそうだ▲今期の決算期も近づいたが當期は多分配當も出來ないだらう地場は既に無配當は承知の上だともみられてゐるが愈々となれば內地市場では今一段の嫌氣投げを誘致することになりはしないかと思はれる▲特殊材料でも出現しない限り尠くとも決算が終るまでは安心買は出來まいと思ふ▲もつともこれは目先相場の意味で氣長く鬻漬にするつもりで仕入れるのは別問題である

上海爲替情報

【上海廿五日發電】前日の氣配を受け人氣悪く材料安と廣東方面の時局懸念あり三井、大通圓能く賣り金大觸成、泰興賣る跡福豐安變更にまばらの投げ出でゝ突込み安値三井物産のデマンドあり三井圓十二月物八十五四分の一と金約千本買ひ神戶日米高に人氣落付く

上海標金

寄付	四二〇兩二
高値	四二〇兩二
安値	四一五兩三
大引	四一六兩二

手形交換高（廿五日）

爲替相場（廿五日正午）

正金（銀勘定）

正金（金勘定）

鮮銀（金勘定）

爲替四十八弗を突破

【東京廿五日發電】廿四日午後の爲替市場は對米四八弗を突破し十六分一の出合ひを見る迄に上伸したがその後は人氣稍ぼけ氣味となり正金は四八弗で買に出たが賣手なく氣配は期近物の賣唱へは對米四七弗十六分の十五對英一志一片四分の三旦當で十月物には對米四八弗十六分の一と出合があつた

經濟部電話　八四五五

平安異香 (121)

葉多默太郎作　一彌畫

中

鳩を賣る男(二)

この鳩賣りの男は疲れてゐるから馬を貸せといふ。で、師輔が

「誰か、貸してやれ」

といふと、近侍の一人から乘馬をかりて、鳩籠を背負つたまゝひらりと鞍に跨つたが、なかなかどうして見事な乘りぶり。

「ほう」

と師輔が感心して、

「馬はたしかだな」

と褒めると、

「習ふより馴れでござりますな。旅ばかりいたしてをりますので……」

笑つて一番しんがりに從つて、やがて師輔の邸へ來た。

邸は造作最中だつた。大工、壁師、築地師などが、沈みかけた日足と競爭するやうに汗だくだくになつて仕事を急いでゐる。藤原が都になつたので、別莊であつたこの邸を俄に取擴げてゐるのであらう。

「三左、この男に飯など食はせてわしの居間へよこせよ」

師輔はさういつて表門から入る。鳩賣りの男は三左衞門に連れられて、造作中の小門から曹司へ導かれて、そこできれいな女中の給仕で飯を食ふ。

とそれへ、さつき顔見知りの近侍の武士がやつて來て、

「コリヤコリヤ、殿樣のお召しだ。履を持つてこちらへ來い」

「へエ、有難うございます」

脱いだ草履をもう一度はいて、庭傳ひに奧へ導かれる。若葉の青楓が、薄暮の涼風を孕んで颯爽と葉を鳴らせてゐる下をゆくと、取るものもないと見えて、青梅の生つたまゝになつてゐる梅樹——片側が、腰を少し越すばかりの低い網代垣で、小さな前栽を隔てゝ檜皮葺の御殿がある。簀子に青簾が下つてゐるので此方からは見えないが、その時、簾の中に脇息に凭つてうつとり庭を見てゐた上臈が、誰あらうお蘭の方だつた。

見るともなくふと目をさへぎられたのは垣の向ふを行く下人らしい男だつたが、同時に「あら」といつて檜扇がお蘭の方の手から落ちたのは不思議——

お蘭の方は、思はず前へにぢつて、柱際の簾の間から男の後姿を見送つた。

微笑が——快心の微笑が面に泛ぶ。

お蘭の方は、うずうずするやうな快さを肩をすぼめて呟いた。

「あの男ぢや、あの男ぢや。よくも化けてゐるが我目を瞞ませるものでない。一度は目の匠へ燒きつけた男ぢやもの——我身の前に顔を下げて命乞ひをさせる——おゝ思ふても快いことぢや」

扇を拾つて、ハタハタと手を打つた。

次の間に控へた侍女頭の相模が靜かに襖を開けて、

「お召しでございますか」

と手をつく。

「おゝ相模」

お蘭の方は、自分の素晴らしい思案に自分で醉つてゐるやうだつた。

「内密の急用ぢや。もそつとこちらへ」

そして、にぢり寄る相模の耳へ扇の蔭の囁きだつた。

「——な、よいか。誰か腕利のもの……おう、あの男、黑住源八郎あれならよいであらう。急いで參るやう——人數はなるべく——」

「畏まりました。これは一段のお慰み——」

「洩れては面白うない。我身自身で行つて來るがよい」

「畏まりました」

するすると下がると、次の間で帶を締なほしながら隅に控へてゐる女中を目で招いて相模、

「輿を仕立てるやうに——一挺でよい。急いでといつておくれ」

「心得ましてございます」

女中が宿侍へ顔て行つて輿を命ずる。

間もなく仕度が出來ると、それへ吸ひこまれるやうに相模が乘つて、

「えい、ほう」

とあがる輿。

映畫と演藝

天勝一座の五節舞　呼物の五段返

既報の如く松旭齋天勝一座は十月二日初日で歌舞伎座で一週間開演するが、手際の見事な大小魔術を呼び物とした天勝一座も近年は時代の變遷と共に家庭的民衆娯樂としての本領を發揮し大小魔術の外に寸劇レヴュウ等へ進出し美しい娘子軍の出演と氣のきいた舞臺裝置によつて好評を博してゐるが、本年度新作中の呼び物は昨秋の御大典奉祝に因んだ新舞樂「五節の舞」で作歌は山岸荷葉氏作曲は杵屋五三郎、振付は花柳輔藏、輔秀兩師で舞臺裝置は東京の野村氏が新考案し衣裳は大阪大谷衣裳部が新調したもので演出は五節舞鳳凰樂鳳凰ダンス菊の國文化總踊の五段返しで天勝早變り等清新豔麗なものであると【寫眞は五節舞】

女優界の大立物　恩曉峰女が特別加入　恩維銘大一座の藝題決る

既報中日文化協會が北平から招聘することゝなつた支那女優劇恩維銘、品艷琴一座はいよいよ月末乘り込み十月一、二、三の三日間華々しく協和會館に於て開演するに決定したがこれがため赴平中であつた石田書記長より更に同一座の錦上花を添へる好音が齎された、それは新進兩名花の珍しい顔合せの上に女優界の大御所維銘の母恩曉峰女が特別加入を快諾して一座することに決したことである、恩曉峰は支那劇の虎の卷「戲考」に「男優の譚鑫培と對立する女優の泰斗」と記されてある、通り古今を通じての大立物である總てに完成老熟してゐる彼女の藝術のうち殊に唱の玄妙さは全く北平劇壇に比類を見ぬところで六年前から劇界を引退して只管愛女維銘の教養につくしてゐたが協會と維銘との話が纏まつたゝめに遂に默留を容れて出演を快諾したものでこの噂が北平梨園界に傳へらるゝや大連終了後一度だけでも北平に於てその咽喉を聞きたいと既に好劇家から熱望さるゝに至つて居る趣きで大連三日間の出演は非常に羨望の的となつてしまつてゐる、今回大連上演は崑曲の大家韓世昌以來の大芝居で藝題も考究に考究を重ねられ支那語を解せぬものでも容易に解りしかも支那劇中の代表的なものを選び「武家坡」「烏龍院」「李陵碑」「三娘教子」「梅龍鎮」「珠砂志」「寶蓮燈」「四郎探母」「哭祖廟」と決定した因に開演は毎日午後七時半日本文の解説を贈呈する筈【寫眞は恩曉峰の刀劈三關】

滿洲日報

世界主なる海戰と各國の使用トン數

日本が七割の比率を主張するは防禦的立場から當然

[illegible]

世界大戰 洋上の勢力 開戰當初英獨巡[illegible]

[illegible]

三、投票所をなるべく多數設置すること

昭和製鋼所問題 特別委員會 けふ開催する

昭和製鋼所問題に對する第二回特別委員會は廿六日午前九時より開催されることゝなつた爲め、鞍山製鋼所豫算會議は廿七日に延期され從つて廿六日終了の豫定であつた豫算會議は廿九日までかゝるだらうと

商工審議會總會

【東京二十五日發電】商工審議會第七回總會は二十五日午前十時二十分商工省にて開會諮問案の審議に入り各特別委員會に附議する事に決し俵會長より委員を指名し十一時半散會した

金解禁問題懇談

【東京二十五日發電】鄕誠之助男は本日午前九時半井上藏相を大藏省に訪問し約一時間半に亘り密談する處あつたが右は金解禁の時期につき民間側の希望を開陳したものと見られてゐる

城大總長後任 赤司氏有力

【東京二十五日發電】松浦京城帝大總長が九州帝大總長就任を內諾するに至つたので、其後任を目下文部省に於て銓衡中であるが元文部次官赤司鷹一郞氏が最も有力視されてゐる

工業會議代表に破格なる御思召

秩父總裁宮の御饗應

【東京廿五日發電】來月廿九日より翌十一月七日まで東京で開かれる萬國工業會議參加の三十餘ケ國六百人近き學者實業家隨件者等に對し畏き邊りでは破格の御思召を以て會議終了後新宿御苑又は霞ケ關離宮、濱離宮に於て秩父總裁宮殿下台臨の上茶菓の御饗應あらせられることとなり又參加者中特に學術界に貢獻多き人に對しては宮中表御座所に於て賜謁の御沙汰あらせらるべしと承はる

潑剌縱橫の快談を試みつ

滿鮮視察の松田拓相 きのふ京城入り

【京城特電二十五日發】初代拓相として滿鮮視察の第一歩を二十四日朝、釜山に印した松田拓務大臣一行は二十五日朝九時、釜山發、出迎ひの今村殖産局長、牧山民政黨總務らと共に京城に向つた車中往訪の記者に對して

朝鮮に政治はない總督は事務官である朝鮮統理の補弼の大任に答へ議會に對する責任を持つものは拓務大臣である

と權限問題に對する明答を與へ製鋼所は審査委員會を設けて取調中である決定までは事業中止だ、滿鐵の事業に對する大體觀だつて！滿鐵は日支の文化、經濟の重要なる連鎖たり、延いては世界文化に貢獻すべき最大使命に則つて活躍すればよい、從來放漫だつたかどうか、これから經營ぶりを親しく視察する譯だ吉會線の海口が淸津だといふのは山梨君一個の考へぢやないかネー

さらに最近の支那時局に對する感想を叩けば

外務大臣に聞いて吳れ

と逃げ、政局に關しては

解散後の總選擧が民政黨の大勝たること勿論だ、最高四年の壽命を豫測できないで誰が政局を引受けるか

潑剌縱橫の快談を試みた午後七時[illegible]

軍縮は出來ぬ

軍需品の制限なしに　セシル英代表の演說

[illegible]した此草案は二十六日の議[illegible]出される筈

民政黨選擧法改正委員會

【東京二十五日發電】民政黨選擧法改正委員會は今後二時より本部で左の諸件を決定し三時半散會

一、選擧演說會のポスター制限を[illegible]すること(一會場五十枚以[illegible]する)

二、[illegible]校使用の制限緩和(五時間[illegible]限を延長する)

英露國交回復交涉再開

[illegible]

神宮競技會行幸御順序

[illegible]

滿洲における消費節約の目標……

富永能雄 (3)

カリフォルニアに於ける日支移民の競爭の結果は、何れが勝つたであらうか。ハワイに於ける兩者の結果は、何を語つてゐるか。日本移民は支那人に於て、打ちは出來得なかつた事を、私は信ずる。日本民族が立つ處、常に移民に於てあつた事を、問題は方にあつたるや否やの斷にある、一度意を決して立つ支那農民の如き必ずしも[illegible]ると恐れてのみゐる必要はあるまい。

最近支那雜誌「南洋研究」と云ふものに發表せられたと云ふ陳建業氏の「日支移民の海外競爭」と題する論文は、何を吾人に語つてゐるであらうか。彼は云ふ

「日本の移民は近代の事であつて支那に比して遥かに後れてゐる。例へば南北アメリカ、カナダの如きは支那人が先住してゐたのであるが、矮小精悍の日本人は、此等支那人の後を襲うて甚だ迅速に其地步を固め、支那人は却つて其後塵を拜してゐる最近日本は、更に南進策を提唱して、支那人が數百年の歷史を以て築き上げたる南洋の天地を震撼せんと試み出してゐる」

と、而も卷中一語の滿洲日本移民の脅威をも語らぬ處に、幾多の皮肉が藏せられてゐる事を看取せざるを得ぬのである。

昨年滿鐵が開いた熊岳城の農事教習所の日本人生徒は、カリフォルニアから歸つて來られた人達の指導の下に、其勞働に於て、勤勉なる支那農民の三倍宛を耕作して支那人共を驚かしてゐる、數年前迄自動車を飛ばす日本人の浮薄さを嘲笑してゐた支那人共の今日の有樣はどうであらう、旅大道路附近の地價暴騰に依つて、巨利を占めた支那農民共の有樣を聞くに、殆ど全部が末路甚だ宜しからず倒産者相繼いでゐると云ふことも事實である。

金が出來て放漫氣分になるのは何も本質的に日本人の特性であるとのみ見る必要もあるまい。」

◇

日本內地の工業者や職工達やの間にも確に浮華輕兆の時代はあつた、然し最早其れは十年前の彼等の夢であつて、今の日本の工業界は、正に緊張の頂點にあると云ふも差支ない迄に背水の陣を敷いてゐる。

英國の職工が一人で二臺以上は持たぬことに極めてゐる機織を、日本の從順にして纖弱い女工共が一人十二臺を持つて働いてゐる、ウソのやうな話であるが實際今春記者が內地旅行の際に目擊した處である、正に感激の涙無しには看られない嚴然な事實である。

日給平均一圓(各紡績、織布工場等の現在平均日給額)を給せられて、一日に十時間乃至十一時間の仕事を續けてゐる彼れ等女工達は、日本輸出總額二十億圓の七割に相當する十四億圓の纖維工業品を世界の市場に輸出して、日本民族六千萬人の命の綱を繫いでゐる。

日給平均二圓三十錢位を給せられてゐる日本の機械工業や、鐵工業やの男工達は、以前海外より輸入せられたる此種製品の十億圓を生產し、今や東洋の市場に其餘力を延ばさんとして、日本の將來の運命を脊負つてゐる。

一轉滿洲では、內地人の一日一圓の女工や、一日二圓三十錢の男工やは絕對に育たぬものとして諦めてしまはねばならぬものであらうか、滿洲に在住する日本人は、其子弟を全部中學に入れ女學校に入れて、唯一人の女中や女工や男工やを滿洲の社會に供給してはならぬやうに、社會を仕組むことが眞當な行き方なのであらうか。

若し滿洲に於て、日本內地のやうに日本人の女工が得られ男工が得らるゝならば、日本の企業者共は大干に水を得し如くに、彼等に向つて殺倒するであらうことは、事業に經驗ある者の異論ない處であらう、そして今全く行詰りの狀態にある日本人經營の工場は馬の如き支那勞働者を使用する事に依つて生ずる能率減退の厄より逃れて、茲に等しく曙光を認むるに至るべきことは極めて明瞭な事實である。

此見え透いた事實が如何にしても成立たぬ原因に、私の所謂滿洲在邦人の「放漫生活癖」が潛んであると私は主張するのである、同時に此病根に對して、何等正當の診斷も下さずして、唯漫然と此癌は癒る見込みは無いと匙をなげてしまつた醫者共の態度を批難せぬを得ぬのである。

露支問題と獨佛兩國の態度

モスクワ市民は極て冷靜　青木駐佛滿鐵囑託談

京城驛着齋藤總督、兒玉政務總監、本府各部局長、軍部首腦、官民千餘の出迎へを受け直ちに朝鮮ホテルに入つた

鐵道省並に滿鐵の囑託で國際運輸連絡國際鐵道聯合會等に代表者として活躍せるパリー駐在員青木次郞氏は先月十四日ベルリン發シベリヤ鐵道にて一旦歸朝二十五日入港のばいかる丸にて來連滿鐵を訪問したが氏は語る

歐洲で言論方面から見て露支問題に關し最も神經を尖らして居るのはフランスらしい之は東支鐵道に對して投資者の立場にあるからだ、然し

露支問題を最も詳しく報道し如何にすれば解決が出來るかと眞劍に論じてゐるのはドイツの諸新聞でフランス新聞は單に之を轉載してゐるに過ぎぬやうに思はれる、元來フランスは支那問題となると容喙し發言權を保持したいと云ふやうな氣持でゐる、西歐ではロシアが最後の通牒を突つけた時でも戰爭にはなるまいと豫想し餘り問題にしてゐなかつたやうだ、事件突發當時こそモスクワでも

示威運動を起して大騷ぎをやつたが私がモスクワに着いた頃事件後三週間は皆な忘れたやうに靜まり返つて居た、シベリヤ線の列車は大戰前ワゴンリーの列車を沒收せる新型の立派なもので氣持よく食料も豐富で何等の不安も不便もなかつた、何分歐亞連絡が二週間も不通だつた直後とて列車は滿員であつた、列車中から見たのでハツキリは判らぬがモスクワから滿盟までの中で滿盟が一番

明るく見えた、滿盟も旅行者には不便を感じないが食料の配給は切符制度で勞働人がパン一キロで、働かぬ家族例へば女房などは少くなり辛じて生活して居るといふやうな有樣である

南京代表邢氏急遽歸寧

【奉天特電二十五日發】長らく奉天に滯在してゐた南京政府代表邢士廉氏は廿一日北寧線で天津に赴いたが同地で此程赴津した高紀毅氏と會見し直ちに南京に歸へる筈で其用向きは最近反蔣運動が盛んになりつゝある爲め南京政府と之が打合せの爲めであると

國慶記念日當日各地で反露大會

支那當局着々準備中

【奉天特電二十五日發】來る十月十日の支那側國慶記念日には各地に於て反露市民大會を開催して大示威運動を舉行すべく目下着々準備を進めてゐる

勞農側は現在以上積極行動に出でず

國境軍の冬營準備は完了す　勞農人民委員會議 ルイコフ氏演說

左に掲げるは二十三日モスクワの地方代表會議に於て人民委員會議長ルイコフ氏のなせる演說であるがこれは東支問題に對してロシアの代表的意見と見らるべきものであつて二十三日夜大連勞農領事館に到着せる電文の概要である

勞農政府は本問題に對しては現在以上積極的手段に出づる必要を認めてない、何故ならば本紛爭の平和解決手段については已に取るべき凡ての手段を盡してゐるからである、支那國境に

出動を命じたる特編部隊は已に充分の戰備を終り、守備地に於て、多營の準備にかゝつてゐる、そして最早平和的解決に一步を進むることは錯誤と見ねばならぬ狀態となつてゐる、蓋し支那の提案は紛糾解決に充分な合理的根據を示すものでなく却つて、東支鐵道も暴力的占領狀態に据置いて正式交涉を開始せんとするもので之は勞農の一方的任意によつて、既に締結せられた露支條約を根本的に蹂躙するものである、斯の如き條件の下に於ては、勞農政府として何等の協約の必要を認めない何故ならば勞農政府の

原狀回復の爲めには最低限度の條件を提出してゐるからである、露支協約は明に東支鐵道を蘇聯及支那間の純然たる合辦的商業機關と認めてゐる、そして東支鐵道は又支那全土に於て、八時間勞働制並びに最高勞銀を認めた唯一の企業で、そして支那民族の發展に資することを其經營の根本原則とし支那は臨時に之を買戾し得べき權利の所有者である、東支鐵道の占領以來南北政府は其位置保持のために非常な困難に遭遇し今は

窮餘の策として「中俄交涉進捗」といふ宣傳によつて民衆を欺瞞せざるを得ざるに立至つた此結果本紛爭に關する一切の文書を蘇聯側が公表することを慮、蘇聯政府に對して本件に關しては「秘密外交」を行ふことを要望してゐる、之は支那が新提案毎に前言[illegible]

撫順炭礦事業費約一千萬圓要求

けふ引續き査定會議

撫順炭礦の來年度事業費豫算査定會は二十四日に引續き二十五日午後から開催されたが山西炭礦長は語る

豫算は別段取立てゝ目新らしいものはなく本年度と大差はない要求額は約一千萬圓(本年度決定額八百萬圓)であるが、どの位に落ちつくかは判らぬ、別に政府の方針に基いて緊縮振りと云つたやうな空氣はないやうだどこまでも必要なものは認められてゐる

滿鐵の事業豫算は實質上本年と大差無し

積極政策一掃に非ず

滿鐵の事業費豫算査定は二十四日の撫順炭礦および鞍山製鋼所を以て大體、二十七、八日を以て終了すべく、右終つて

經費豫算の査定に入るべく松田拓相の來滿等あれば結局十月十四、五日ごろまで形づくものと觀られて居り、然る上にて右の見込豫算案が纏まつたにしても、之に對し仙石總裁が來滿して日を通すか、それとも東京にあつて目を通すか今の所不明とされ何れにしても總裁の決裁を必要とすることなれば成案となるまでには多少の遲延あるとも見られて居る而して事業費豫算は大體に於いて政府の緊縮政策に一致せねばならぬのであるが

營利會社の事業費である から政府の豫算等と多少趣きを異にせねばならぬところあり、從つて冗費を節約し必要かくべからざる經費以外は中止または繰延となるのであるが、併し前總裁時代の積極政策は一掃され社員に大淘汰があるかと社內は動搖してゐるなどとは少なくとも滿鐵事業費豫算の實質を研究すれば直ちに誤りであることが判明するであらうとされてゐる、即ち昭和三年度から四年度へ繰返された事業費は二千四百萬圓に上り、それが四年度において成立した事業費豫算と共に全部、消化決算せらるゝや否やは疑はしく明年度の豫算編成に方り本年度より一千萬圓を削減したからとて、それは

形式上の削減であり實質的には決算し能はぬ豫算の計上要求を控へたといふことになり豫算は却つて事實に近づき實質的となつたといふことになるのであると されてゐる、勿論撫順炭礦、鞍山製鐵所等の如き大物の決定を見ざる今日、また總裁の方針如何によつてヨリ以上の緊縮とならぬとも限らぬが併し大體において積極政策は一掃されただ徒らに消極政策のみに陷つたかに觀るは早計といふべく前年度の如きは滿蒙の

消化能力以上に事業費豫算額を多額に計上し過ぎた結果、次年度へ繰越されたもの多額に上り結局、實質的には必ずしも積極政策の一掃にあらずと觀測されてゐる

然し蘇聯の政策は之による何等の變化を來たすものではない、尙支那部隊、白黨部隊が蘇聯領土內に於て暴行が將來繰返さるゝ場合は過去に於て然りしが如く、蘇聯軍は容赦なく討伐するであらう、蘇聯政府は右の事情によつて國境守備の任にあるブリユツヘルの軍隊も此秋に召還しない許りか更に其兵力を增加して戰備の完成を急いで居る、固より平和解決の見込ある間は積極的な敵對行動には出ない。

[illegible]に反する矛盾を繰返してゐる事實を掩ふて其責任の一部を輕減しやうとするのであることは言ふ迄もない、南京政府は又蘇聯人民に對して、

非人道的な暴壓を加へて蘇聯を屈服せしめんとしてゐるが

五品下半期業績

無配當とし內容充實

大連五品取引所では二十四日重役會を開き本年度下半期決算に關する打合せを行つたが、當期業績は前期と略同樣なるも時節柄緊縮方針をとり、所有有價證券の價格切り下げを行ふため當期は無配當とし繰越金及當期利益金は社內に保留して內容の充實を期することに內定した

平山成信男 昨夜九時廿五分

【東京廿五日發電】樞密顧問官平山成信男は二十五日午後九時二十五分遂に逝去した明日正式に喪を發する筈である

葡萄酒を御下賜

【東京二十五日發電】畏き邊りでは樞密顧問官平山成信男危篤の報を聞し召され二十五日午後三時葡萄酒一ダース御見舞として御下賜遊ばされた

怖るべき惡魔團

冒險旅行家布利秋氏が九死に一生を得た世にも恐ろしい冒險談『人外魔境脫出記』キング十月號

工業用鹽の價格改正

【東京二十五日發電】青島、關東州、臺灣の鹽原產地に於ける價格の變動に伴い大藏省專賣局では輸移入鹽の一部(主として工業用)に對し二十五日告示を以て百斤當り賣渡價格表に改正を加へた右に依ると

一、輸移入鹽の部(上等原鹽)(並等原鹽)の各欄中輸移出用賣及び特別用途賣を臺灣二錢値上げ關東州二錢値下げ、青島三錢値下げ

二、同部(再製鹽)(煎熬鹽)の各欄中鹽元賣捌人及び一回一萬斤以上賣り直接鹽小賣人賣は一律に十錢値下げ、輸移入賣及び特別用途賣は關東州六錢、臺灣二十五錢値下げ

而して右賣渡價格の變動に伴ふ內地鹽購入者に對する百斤當り交付金も夫々變更した

滿鐵參事推薦決定期

豫算會議終了後

滿鐵各部から推薦人事課に提出されてゐた參事昇格者に對する人事課の銓衡は二十四日大體終了を見たが重役會議にかけて最後の決定を見るのは目下續開中である來年度の豫算會議終了後であらうと

朝鮮疑獄

司法當局は愼重な態度で臨む

【東京二十五日發電】朝鮮總督府疑獄事件は釜山取引所問題を初めとして既に充分に確證が擧り今や山梨前總督の召喚を待つのみとなつてゐる、山梨前總督の召喚は朝鮮統治上人心に及ぼす影響大なるものありと見て、司法當局では愼重の態度を以て臨み問題の中心人物肥田理吉を中心に取調べを進め今日に至つたものであるが、二十五日京城地方法院永尾檢事正は中野次席檢事と共に東京地方檢事局を訪ひ松坂檢事と共に數時間に亘つて打合せをなし午後二時よりは司法省に於て小山檢事總長、小原司法次官、泉二刑事局長、鹽野檢事正等と打合せ會議を開いた

滿鐵の漢字制限

社外への文書にも及ぼすか　制限數は近く決定

滿鐵では二十四日漢字制限會議を開催したが漢字の制限をしやうといふことには大體一致を見たやうであるが、然し新舊兩派があつて急進派は

漢字制限を徹底せしむるため單に社內のタイプライターの能率を增進せしめる方便に止めず社外への公文書類へも一齊制限を實施しやうといふ意嚮があり、保守派は社內書類だけに漢字を制限して社外に對しては從來通りの漢字を採用しやうといふ意見がある然し結局は社內のみの書類に漢字を制限することは二重の手間もあり、また徹底せない事情もあるので

社外に對する書類も社內同樣の制限を取扱はれることにならうが、漢字の制限數は各部から近く持寄つて更に會議にかけ決定を見ることゝなつてゐる

神田鐳藏氏 正式に起訴

【東京廿五日發電】神田銀行破産に絡まり市ケ谷刑務所に收容された同行頭取神田鐳藏氏は廿五日午後二時破產法罰則違反で正式に起訴された

警察署長會議延期

來る十月四日から關東廳に於いて開催の豫定なりし關東州警察署長會議は松田拓相の來滿の期日と重複するので更に期日を變更、十月十四日から三日間開催の事に決定した

鳳城丸測度申請

大連汽船にては今回米國ダウルスにて新造せる汽船鳳城丸(二三七六噸)を購入し二十四日海務局に船舶積量測度申請を願出て來た

英艦けふ旅順入港

英國支那艦隊軍艦ブリフジウオーター號は二十六日午前十一時旅順へ入港の豫定であるが、駐連英國領事は同艦々長を帶同して關東廳を訪問し太田長官に對し公式挨拶をなす筈である

辭令

【東京二十六日發電】

任關東廳遞信書記　志村重二

任關東廳遞信副事務官(六等)　關東州公立高等女學校敎諭　橫山源治

人事

▲恩田熊壽郞氏(大連市會議長)二十五日赴奉、翌日歸連し二十七日還暦式年祭に參列のため出發の筈

▲早川巳之利氏(滿洲公論社長)二十五日二十一時三十分發急行列車にて鄕里へ

安樂椅子

南京政府顧問ワッテル氏は元東京の帝大に教鞭をとつてゐた親日家であるが銃獵が大好きで滿洲が非常な好獵場と聞き門下生の宇佐美滿鐵々道部長に獵信をたづねて來た▲宇佐美氏は早速四洮鐵道四平街駐在の令弟喬爾氏がその方の天狗(四平街獵友會長)である所から四鄭線の獵信を問合せた▲至つて仲のいゝ兄弟、兄思ひの喬爾氏それぢや實地檢分しやうと廿二日の日曜早朝から三江口方面に出かけ雉の發育狀態を調べながら附近の水溜りで鴨を二羽ほど射止めたまでは無難であつたが▲同じ日本人の獵者か或は支那人獵夫か柳の茂みから一發ズドーンと射つた者があつた▲距離が相當あつたゝめ射たれた喬爾氏は腕と股とに七八發の散彈を喰ひ込みしも幸ひ生命に別狀なかつたので危い〳〵と二羽の鴨を提げ獵場を引揚げたが▲「雉獵尙早し」の獵信に獲物の鴨二羽を部長の寛爾氏に送つて來た▲之も獵大狗の監察役福田稔氏がワッテル氏を案內して行くことゝなつてゐたが當分出獵も遲れるだらうと──弟思ひの寬爾氏早速喬爾氏に向け散彈は奉天に行つて拔きとつたらよからうと──何處までも仲のいゝ兄弟で羨やましいとは鐵道部での話

本日廳報及廳報附錄を添ふ

特産

定期後場(銀建)

▲大豆(保合)單位屆

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	七五〇	七五〇	七五〇	七五〇
十月末	七三〇	七三〇	七三〇	七三〇
十一月末	七二〇	七二〇	七二〇	七二〇
十二月末	六九〇	六九〇	六九〇	六九〇
一月末	六九〇	六九〇	六九〇	六九〇

出來高 百十二車

▲普通大豆　出來不申

▲豆粕(軟調)單位屆

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	三四〇	三四〇	三四五	三四五
一月限	三四五	三四五	三四五	三四五

出來高 六千枚

▲豆油(軟調)單位屆

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇

出來高 二千箱

▲高粱(保合)單位屆

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	五三〇	五三〇	五〇	五〇
十月末	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇
十一月末	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
十二月末	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
一月末	四九〇	四九〇	四九〇	四九〇

出來高 九十五車

▲包米　出來不申

現物後場(銀建)

混保大豆　出來不申

普通大豆　出來不申

豆粕　出來不申

豆油　出來不申

高粱　出來不申

包米　出來不申

商品

後場

●麻袋(軟弱)

銘柄	約定期	値段	枚數
銀筋	延十月末	三三、五	一〇
鐵筋	延十一月末	三三、二	一七
鐵筋	延十二月末	三三、二	八〇〇
鐵筋	延一月末	三三、〇	一〇〇〇

出來高 三十六萬枚

●綿糸(保合)

◇定期

銘柄	約定期	値段	枚數
福助	十一月限	二二七、五	一
福助	十二月限	二二四、五	二〇

出來高 三〇梱

錢鈔

定期後場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
近期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 [illegible]

現物後場(單位錢)

[illegible]

神戸特産(廿四日)

[illegible]

東京株式(長期)

[illegible]

大阪株式

[illegible]

大阪綿糸

[illegible]

滿洲日報

餘計なお節介
滿蒙賣却論など

米國のある記者は、支那に對し滿蒙を日本に賣却せよと論じてゐる。由來、アメリカ人は突飛な議論をするので有名だが、滿蒙賣却論の骨子とするところは、滿蒙は日支兩國の間に介在して、結局は極東の平和を攪亂する。領土を賣却することは、必ずしも不名譽でなく、米國が今日の如き大國となつたのも、これ領土の購入によつたものであるといふてゐるが、賣却せよと支那に勸說するに、米國の例を採用したことは、支那人を納得せしめ得ぬであらう。それはともかくとして、わが日本は、今さら滿蒙を購入しやうとするやうな意圖もなければ、希望もあるまいと思ふ。必ずしも日本が貧乏だからといふのではない。日本は滿蒙を購買せねばならぬ必要もないからである。

◇

また最近、ドイツ方面から、ロシヤには東支鐵道の南部線を日本に賣却するといふ希望がある如く傳へられる。ロシヤとしては、支那との間に東支鐵道を共同經營し今次の如き紛糾を惹起して居るよりも、すくなくとも西東兩線を除く南部線は、ロシヤにとり餘り重要性がないから、一層のこと、これを日本に賣却する方が、厄介でなく、却つて賢明の方策であらうといふにあるらしい。しかしこれとても、わが日本は、敢て買ひ取らんとするものではあるまいと想像される。勿論、金錢は問題ではない。敢て東部線を購入せねばならぬ必要がないからである。

◇

わが日本は滿蒙に對し、米國記者などの心配するやうな野心もなければ、まして購買するなどの意圖もない。たゞ既得の權益を、最も公正妥當なる方法を以て擁護することあるのみである。たゞ支那が、旅大回收などゝ稱し、また不平等條約の撤廢などといふ題目のもとに、條約を蹂躪したり、既得の權益を無視したりすることのない限り、日本としては、毫も極東の平和を攪亂するやうなことはないと信ずるものである。日本は既得權益の擁護以上に、平和を攪亂する樣なことは、一切、敢てせぬであらう。果して然らば、米國記者の滿蒙賣却說といふやうなことは、全くのお節介と申すの外ない。

◇

また東支鐵道の南部線にしても然りである。ロシヤとしては、支那と共同して經營するといふことは結局、厄介であり、かつ年中行事として紛糾を重ね續けねばならぬのであるから、ハルビンを中心とした東部線および西部線は、極東への策源地として、金輪際、これを手放すことは敢てせぬであらうけれども、ロシヤにとり猫の尻尾のやうな南部線を、日本に賣却しやうとすることは、ロシヤとしてはあるひは賢明な策であるかも知れぬが、日本としてはロシヤの權利を買つて出ねばならぬといふほどの必要はないのである。日本は南部線を買ふの必要はないが、ただしかし從來のやうに、北滿の貨物を東向せしめ、以て故意にウラヂオストツクの繁榮策に利用せんとするが如き運賃政策を、東支鐵道側が採用せざらんことを希望するまでである。すなはち交通機關の原則に順つて、貨物の流るゝ方向に向はしめ、その間に無理な人爲的障壁を築かざらんことを要求する以外には、南部線に對してさへも、餘り多くの期待を有せぬのである。

◇

日本は滿蒙に對しても、また東支南部線に對しても、たゞ公正妥協なる既得權益の擁護と、交通機關そのものの自然の機能發揮を要求するのみである。しかも既得權益擁護の如き、必ずしも形式論に拘泥して、新時代の要求を無視せんとするものでなく、幣原外相の聲明せる如く、支那の國民的要望に應ずるの否ならぬものが存するのである。たとへば滿蒙における商租權問題の如きも、條約面そのまゝを、今日、支那側に要求せんとするものでなく、時代の趨勢に順應して、滿蒙の開發上、日支の共存共榮を期せんとするに外ならぬのである。かくの如く論じ來れば明瞭なる如く、日本は決して滿蒙を讓り受くるの必要もなく、また東支鐵道の南部線を購買せねばならぬこともない。たゞ既得の權益を最も妥當公正に擁護することにおいて、極東の平和は當然に維持確保せられるものと思はれる。然るを米國記者の如く、滿蒙を日本に賣却せねば、極東の平和が保てぬといふやうに論ずるは、いまだ滿蒙の眞相と日本の關係とを充分に領會し得ぬ結果といはねばならない。

皇大神宮遷御祭（2）
二十年毎に行はせらる
今回は五十八回目

（五）

九月の十七日から十月の六日にわたる三十祭典、四饗宴は齋嚴清淨を極むるものであるが、そのうちでも十月二日午後八時の夜に行はせられる內宮遷御か、祭典中の祭典とも申すべきで、祭典の中心をなすものであるから、從つて一般國民にも、十月二日を以て休日を賜はるのである。內宮遷御についでは十月五日、同時刻に行はせられる外宮遷御が、いと重要な御儀式とされてゐるのである。すなはち三十祭典、四饗宴も、要するにこの內宮遷御と外宮遷御とを執り行はせられる附帶の諸儀式とも申すべきであつて、內宮すなはち皇大神宮、外宮すなはち豐受大神宮の御神儀を、もとの宮殿から新らしい宮殿に遷都あらせられるのがこの式年遷宮の祭典なのである

（六）

この古儀が、この十月二日および五日に嚴修せられることは、開闢以來、丁度、第五十八回に相當するのであつて、第五十七回は明治四十二年に、また第五十六回は明治二十二年に、しかも式月式日は三回とも十月二日に內宮遷御を同五日に外宮遷御を執り行はせられたのである。滿二十年、すなはち二十一年目に御神儀の遷御が執り行はれるといふことは、これとりも直さず、わが日本の國家精神國民性を如實に物語るものであつて、清淨潔白、舊きより新らしきに、積極的に、進取的に、勇往邁進して停滯するところなく、日に日に新らしい、すがくしさを求めてやまぬ樂天的な、陽性な、何のこだはりもない神ながらの姿を表象したものに外ならぬ。そこでわが國家的、國民的尊崇の伊勢大神宮の御神儀も、舊きを祓つて新らしく造營せられた式年造營の新殿に遷御し奉ることになるのであるから、今年、執り行はせられる式年遷宮祭典は實に、わが國家的祭儀であると共に、これによつてわれくの國民性を表象し、また發輝せねばならぬのである。

（七）

皇大神宮は申すまでもなく天照皇大神を奉齋する大宮であつて御靈たる神鏡は天照大神が皇孫瓊々杵命の天降りますに方り

この鏡を見ること我を見るが如く床殿を同ふして齋鏡とせよ

との神勅と共に賜つたもので、歷代の天皇は、この神鏡を同じ宮殿內に奉齋あらせられたが、第十代崇神天皇の朝に別殿に奉遷することゝなり、皇女豐鍬入姬命を以て御杖代として齋き奉つたところ、大宮地を求め奉れとの神勅をかしこみ、更に御神儀を奉戴して丹波國吉佐宮、倭國伊豆加志本宮および木の國奈久佐濱宮、吉備國名方濱宮などに遷し奉り、ついで彌和乃御室嶺上宮に齋き奉つたが、かゝる間に豐鍬入姬命も老給ふたので倭比賣命が替つて御杖代とならせられ、皇大神を奉戴して國々を經歷せられ第十代垂仁天皇の即位第二十六年九月、伊勢の國宇治五十鈴川上に大宮を建られ、こゝを永遠の鎭座と定められ、宮柱ふとしき建てて今日の大廟を拜するに至つたのである。

（八）

二十年一度の御造營は、降つて第四十代天武天皇の御代に御治定なつたところであるが、今日まで一千二百五十年ばかりの間に五十八回の御造營がある次第である。一千二百五十を二十で割ると六十二回半となり、少しく回數が足らぬやうであるが、これは戰國時代などにおける皇室の式微などのため、やむを得ずして御造營の儀が執り行はれなかつた結果である。併し王政復古以來、皇室と國民との御一體の國柄として、最も古式たる大神宮の御造營が明治二十二年に行はれ、また明治四十二年に執り行はれ、而して今度の式年遷宮祭典と相成つた次第である。この度は畏くも、わが天皇陛下には掌典長九條道實公を勅使として御差遣あらせられるばかりでなく、御自ら十月二日夜の內宮遷御の同時刻、宮中神嘉殿の南庭に下御あらせられ暫しの間の御遙拜あそばさるゝ由を承はるのである。かつまた濱口首相、安達內相その他の文武百官、一般國民の代表をして御儀式に、參列せしめられ、以て國家的、國民的大儀式として森嚴崇高に執り行はれることになつたのである。

◇譽れの高取畫伯◇

來月二日夜行はせられる伊勢大神宮遷座祭に雜色姿で奉仕し遷座祭の御模樣を萬代に繪卷物として寫し殘す榮譽を擔へる帝室技藝員にして土佐畫壇の重鎭たる高取稚成畫伯が東京市外戶塚の自宅で丹精を凝しつゝあるところ

牡蠣とチフス
各國に於ける取締法
（四）　金井章次

▲遠山博士の牡蠣に關する研究を紹介して州內牡蠣業者の注意を喚起す。

保健防疫の見地と、健全なる牡蠣業の發達を希望して「牡蠣を食すべからず」と述べた事柄は、會々、大連水產業者から「營業妨害を敢てするもの」と盛に言はれた。余は營業の前途發達の爲めに、當局の取締と、適當なる繁殖場及び採取方法との必要を力說したのである。

然るに當業者の一人は、永年水產防疫の研究に從事する遠山博士の所說が、余の所說に反對するものゝ如く稱して、一時の安逸を計らんが如きも、斯くしては、前途決して營業の健全なる發達は望むべくもない。何んとなれば、遠山博士の所說は何等余の所說に反對なるどころか、悉く卑見の正當なるを立證せられてをるからだ。

同氏の研究は、素コレラと魚貝との關係を主體としたものであるが、其發表中には二三個所にチフスと牡蠣との關係に觸れられたところがある。參考迄に本問に關係ある博士等の研究を紹介する。

一、水產防疫に關する實驗研究（第一回報告）（實驗醫學雜誌大正十五年九月發行）
二、熊本縣下不知火村牡蠣生產狀態を見學して腸チフスとの關係を論ず（日本傳染病學會雜誌大正十五年十月發行）
三、水產防疫に關する實驗研究（第二回報告）（實驗醫學雜誌昭和三年十月發行）
四、牡蠣の鹽素消毒法に就て（同上同號同氏研究室より）
五、橫濱港內海水に於けるコレラ菌の生存期間と其消長實地試驗（昭和四年日本聯合衞生學會第一卷）

……

（イ）チフスと牡蠣との關係を、流行病學上の見地から論じた場合には、細菌學的檢査を別としても認容せなければならぬ事は、前記第二の論文中から窺はるゝ。牡蠣業者の不滿は勿論であるが、この杞憂と不安から商品を救濟する必要のある事を博士は力說された。

（ロ）病原菌が一定期間、たとへ增殖せずとも、海水中に生存し得る事は、前記第五の論文に於て知る事が出來る。

（ハ）遠山博士はコレラ菌を以て汚染された淡海水中に牡蠣を置く時は、其生活せると剝身たるを問はず、一分間といふ短時間を以て病原菌が消化器內に侵入すると述べられた。前記第一の論文中に記載がある。

（ニ）從つて一旦汚染せられた牡蠣は、酢に依つて體表に附着するものは、比較的容易に消毒し得るも其體內に侵入せるものは、普通長時間を要すと發表された（同上雜誌）

（ホ）生活せる牡蠣の體內に於ては、死亡せる牡蠣の體內に於けるよりも生存期間は短時日である。所謂、牡蠣の自淨作用である。

この自淨作用に就いては、遠山博士は前記第一回の報告では、專ら研究室內で研究されたのであるが、前記第三の報告に於ては、神奈川縣金澤灣に於て、冬季と夏季とに於て自淨期を實地に試驗された結果が發表されてゐる。

金州民政署管內の
作柄非常に良好
平均一割五分の增收

【金州發】管內に於ける本年の農作物は適宜の降雨と害蟲の被害少く且暴風の襲來無かりし爲作柄非常に良好にして例年に比し平均一割五分增收の見込なり、特に管內の特產物たる果樹は約五割方の增收にして尙水稻の如きは未曾有の好成績を擧げ取り分け州內唯一の移民地たる愛川村は昨年の九百七十石に對し今年は優に四百石の增收を見るべく、當初の計畫目標たる千石收穫の夢を現實に見る事を得た、茲に民政支署に於て發表せる八月中の農作物作付及び收穫狀況を明細にせば左の通りである

一、普通作物　上旬より降雨屢あり寧ろ過多の感ありしも各作物の成熟狀態良好にして高粱、包米、粟等は病害虫の被害少なく平年作に比し一割內外の增收豫想なり、大小豆、綠豆等は何れも成育良好にして開花の狀態より見るときは平年作に比し一割內外の增收豫想なり

二、特用作物　棉花は開花結實共に良好にして早きは中旬より開絮し初めたり亦生育旺盛にして開絮遲延の恐れある棉圃に對しては積極的に開絮促進法を行ひつゝあり

落花生は生育結實共に良好にして平年作に比し一割乃至二割の增收豫想なり

三、蔬菜類　一般に生育良好なり蘿蔔、白菜等は病害虫の被害なく何れも發芽生育共に良好なり

四、果樹類　病害虫の被害比較的少く良好なる發育を遂げつゝあり

苹果祝は上旬、旭は下旬より收穫せられ一斤匁七、八十錢にて賣買せ居れり（祝は九月十五日頃迄に全部の收穫を了し目下在庫品なし）

五、水稻　愛川村及一部に何虫の發生を見たるも極力驅除に努めたる結果大なる被害なく下旬より出穗を初めたり、現在の作柄より見るときは平均反當籾二石五斗內外の收穫豫想たり

滿洲寫眞聯盟へ
寫壇子

投書歡迎　新聞行數五十行以內のこと　中傷を目的とするのは採らず

今秋開催の滿洲美術展覽印畫の審査に內地の權威者數名を迎へて公平に嚴選せらるゝ事となつたのは吾々寫壇子等にとりては何んとしても喜ばしきことで又斯界向上のためにも大に理事者の努力を多とせねばならぬ、但だ然し之れは餘りに神經過敏にすぎるかも知れぬが假に理事者の中の一人が……でも賞品獲得熱にかられて審査員に對し潛行的の行動若しくば夫れに等しき手段を敢てなす者がありとするならば（無論斯樣な非紳士的なことをする人は今回の理事者の中には一人もない事とは信ずるが）審査員の心證如何は別問題として（審査員に於ても一笑に附すことゝ思ふ）か滿洲寫眞聯盟の前途も知るべきのみで、却て多大の同情を以て後援せられをる關東長官、滿鐵副總裁其の他の方々に相濟まぬことゝなるから此點につきては理事者各位は嚴に結束して所謂ぬけがけ功名をせぬ樣眞に公平を期せられたい、以上は今更事新らしく申述べる要はないが此以前の展覽には相當不平の聲が喧しかつたのに鑑み敢へて一言を呈する次第です

新舊紙幣の
交換暫行簡章
張行政長官より公布

【ハルビン發】從來哈市に流通せる大洋票は蔡道尹の管理下にあつたが、今回全部特別區行政長官に權限を移讓し、長官が各銀行の發行紙幣に對する證認と管理官としての印を押捺することになり、既電の如く九月廿日から三ヶ月內に全部管理官の印を有せざる舊紙幣を回收し新紙幣と交換するに決定し、十九日附で在哈各銀行及總商會に暫行簡章を公布したが、其の簡章は

第一條　本署が既に公布した各銀行號紙幣捺印簡章第十條の規定に照し在市に流通せる無印の舊票を回收し捺印の新票を之に換えて發行す

第二條　各種の捺印新票は本署公布の日より努めて各銀行號は每日できるだけ交換し、且つ交換時間は揭示板を設けて周知せしめよ

第三條　凡そ證明せる新票は某行號或は某公司に於て何號から何號に至ることを新票の範圍が決定すれば本署に報告し之れを公布する

第四條　本署からは委員をH時を定めて各銀行號に派遣し收換を監視せしめ登記簿に立會はしめて保證する、每日新舊票の交換せる額は其の都度本署に於て檢査を得、交換した舊票は派遣委員の眼前に於て封緘し保存し終了後燒棄する

第五條　東三省官銀號、交通、中國、邊業の各銀行、廣信公司は紙幣收換の地點は均しく哈爾賓の本號に指定し施行すべし

第六條　本簡章は公布の日より實行す

地租改正委員會長

【東京廿四日發電】本日の閣議で決定せる地租改正委員會は會則も同時に發表されたが、右は大藏省內に置かれ地租改正及び之に關聯する事項を審議するもので會長は藏相之に任じ十二月初めごろ迄に成案を得べく努力する筈である

けふの放送
支那語會話
第二十五回　秩父固太郎

1他辭了麼　2他不幹了　3爲甚麼不幹了　4有病不能幹了　5他有甚麼病　6本來身子軟弱　7看着一點沒有病　8他可不大結實　9用心太過了罷　10所以把身子壞了　11現在在那兒呢　12在家養病　13病好了幹不幹　14一時好不了罷　15掙不來錢怎麼辦　16家裡有倆錢兒　17有錢兒就行了　18長了也不是事　19花完了可完了　20誰都替他着急

譯文

1彼人は罷めましたか　2彼人は止しました　3どうして止したのです　4病氣で勤まらなく成りました　5どんな病氣が有るのですか　6元から身體が弱いのです　7見た所少しも病氣は無さゝうですが　8だが餘り丈夫では有りません　9氣を遣ひ過ぎたのでせう　10それで身體を毀しました　11只今何處に居ます　12家で養生して居ます　13病氣が癒つたら仕事を仕ますか　14一寸には好く成れますまい　15金が取れなけりやどうします　16家に少しは金が有ります　17金が有りや好いですが　18長くなるといけません　19使つて仕舞へばお仕舞ひです　20誰しも同君の爲め氣を揉みます

（新字）●辭。軟弱。。掙。

滿日地方版

奉天

酌婦をたらした邦人偽刑事
質屋から足がつく

東京市麻布生まれ住所不定小野章(二)は本年二月頃から西塔大街朝鮮料理店快樂亭の酌婦正子事金福(二)に對し自分は關西中央專門學校を中途退學し現在では總領事館警察署の刑事を勤めてゐると詐稱してすつかり正子を信用せしめ最近まで毎月六七回登樓してゐた殊に七月の如きは月の半流連して全部正子に入れ揚げさせてゐた一方正子の方でも男に對し遊興費の外現金八十圓を提供してゐた位であつた然る處小野は正子を撫順に鞍替へさせんと企て前借千三百圓の中千圓を貸して呉れと強要したので七月末指輪金時計等を正子から借りて入質したことから不審を抱かれてゐた偶々廿二日戸口調査のため同家に赴いた總領事館警察署員に照會の結果偽刑事であることが判り屆け出たので目下小野を召喚し取調中

貨物盗難
蘇家屯で發見

廿三日夜八時四十分奉天着の貨物列車が蘇家屯に到着せる際その中の一貨車の戸が開いてゐたので貨物の盗難と知り係員はモーターカーで呉家屯まで赴きたる處同驛附近に貨物一箱が投げ出されてあるのを發見取調べて見るとその貨物から幾分か拔き取り五分の一だけ殘つてゐたが該貨物は内地より北寧線に入れる聯絡貨物で支那人向メリヤスシヤツが這入つてゐたものであると

季節外れの暑さ來る

奉天における昨今の時候は數日前に比し全く季節外れの暑さを感じてゐるが之につき奉天觀測所では語る

兩三日來奉天の時候は俄に上つて例年よりも二、三度高を示してゐるそれは北滿方面に可成有力な低氣壓あり次から次へと東北方に進行してゐる關係であるが、それが高氣壓に追はれると今度は俄に寒くなつて來る故に九月一杯は奉天も一體に暖かい最もよい時期であるが十月に入れば寒氣を覺えるやうになる農作物も水害も被らない地方は平年作以上の見込みである

醫大評議員會

滿洲醫大の第二回評議員會は廿七日大連社員倶樂部に於て開催されるが奉天からの出席者は稻葉會長森幹事、守田、久保田、林の各評議員であると

廢兵の押賣り

不景氣の關係か近頃美名の下に物品の強請販賣をなす不埒な行商人が増加して來たので奉天署でも嚴重取締を行つてゐるが廿二日午後二時頃東京府下高田雜司ケ谷帝國廢兵聯合會東京支部幹事蘆澤留太郎外四名は無免許のまゝ賣藥文房具などの行商をなし市民に對して同情的に販賣を強請し當然買はねばならぬものと心得て戸別訪問し市民の受ける迷惑も一方ならぬので屆出により奉天署では靈澤なる者に對し許可を受けしめ且つ將來を訓戒して放還した

人事

▲林總領事 二十四日安東より歸奉
▲田村滿鐵興業部長 二十四日安奉線にて來奉
▲山崎代議士 二十四日來奉
▲大岩滿鐵參事 二十四日撫順へ
▲大賀博士 廿三日湯崗子へ
▲立川警視 同上
▲下津鐵道事務所庶務長 廿四日安東へ
▲篠田關東軍經理部長 廿四日大連より來奉
▲内田領事 廿四日長春より歸奉
▲中尾長春署長 廿四日來奉
▲太原本社營業局長 廿三日奉天往復
▲藤村領事 廿四日歸奉

町の便り

奉天敷島小學校では來る廿七日午前九時半から秋季運動會を開くが競技種目は四十餘種に上り支那側第二小學校からも出場する由

◇

奉天郵便局の自動式電話の開通式は廿九日午前十一時から新廳舍裡庭に於て盛大に催されるが當日は一般自動交換狀況を觀覽に供すと

◇

市內春日町丸京呉服店では廿四日午前二時頃金庫在中の金二百圓を何者かに窃取された目下容疑者として同家の使用支人二名を召喚して取調中である

哈爾賓

哈大洋票の前途は依然悲觀
舊紙幣の兌換効無く

官憲の維持策を尻目にかけて暴落する哈大洋票に對して各銀行は廿日から新舊紙幣の兌換を開始したが根本に於て弃落歩調を辿つてゐる哈洋は紙幣の交換だけでは決して昂騰せず、發行額を之によつて調節しやうとするは監督官憲最初の考へであつたが、暴落の哈洋を救濟する手段とはならないので現在流通してゐる總額——官憲は三千八百六十萬元と稱してゐる——約四千五百萬元を發行し尚五百萬元の增發をすることになつたので哈洋の前途は依然として悲觀材料に閉ざされてゐる、錢鈔市場では日金の上場を認めたが、支商等は大部分(一)各外國銀行に日金預金を有してゐるために取引をする必要ないこと(二)哈洋の信用低落に日銀の需要を増して行くが哈市で手數料を支拂つて交易市場で手合を行ふよりは必要に應じて替にすれば遙かに有利であるため大連方面の市場に繋ぎを懸けてゐる等のために開市後金圓の取引は餘り香しからぬ狀態にある、之を逆に交易市場に圓金が上場されてゐて閉鎖されたとなれば——昔はさうであつた——市場に影響はあるが新に上場しても利用率は時期

濱江雜俎

鮮銀霜崎支店長は赴奉中であるが令孃が扁桃腺に罹り治療のためで近く歸哈の由

◇

商工會議所では東行貨物の滯貨が依然として緩和されぬので東支側に交渉中

◇

金物商同業組合は廿三日商議會議室にて協議會を開催した、入札問題に就て豫め打合のためである

◇

大連大信洋行 既報の如く從來島崎氏の支店代理を擴張し活躍することになつたが、三姓方面に進出の意氣込みであると

◇

露字紙ルーポルは奉天白派露人のため特別の奉天版を廿四日から發行することになつた

松江餘滴

奉天軍の東支沿線への出動でメリケン粉は暴騰したが▲馬草がより以上に高くなつた▲これは冬期に向ふからではあらうが、支那軍の一時に増加したことも亦一つの原因である▲一布度半の馬草が哈洋の六十五錢の値を出した▲馬糧にはカラス麥や大豆が使はれるがこれでは足らない▲それも其筈支那軍隊の出動で馬匹は七千餘頭東支沿線に増えたからである▲馬草の徴發は到る處に行はれ農家の馬は冬に向つて痩せる一方であるとは支那人百姓の實話である▲これで實際の戰爭にでもなれば軍需品はより一層高くなるであらうと百姓連は手持ちの穀類を放さない

長春

支那人側の候補 猛烈な運動開始
地委逐鹿界漸く白熱

地委改選に對する支那側の逐鹿戰は裏面的に相當激烈となつた模樣であるが表面に表はれないので今尚何人が立候補するやも知り得ない狀態である、現委員たる張國棟、孫化南、董子山諸氏は再出馬するだらうと見られてゐるが其他にも一二新顏もあるらしい、然し支那人側は有權者が多い割には支那人候補の得票が少く日本人側が激烈の競爭となるにつれて支那人の中に運動するものも多くなり本年も既に邦人候補が相當支那人の中に手を延ばし好餌となるべき題目を持出して得票の狩り出しに懸命となつてゐるので邦人側に奪はれる票數は少くない、從つて本年の逐鹿戰の結果支那側の定數四名が果して有效に當選するや否や疑問である

金貸宅へ二人強盗

二十二日午後七時三十分頃大和通り二九の四號山東省生れ金貸業原立善(五〇)方に折柄どしや降りの中を三名の支那人が入り來たり一名は入口に張り番し二名は家內に押入りブローニング拳銃を以て家人を脅迫し金を出せと迫つたが主人原立善は勇敢にもいきなり賊に飛び付き拳銃を奪ひとらんとしたので賊は一彈を發射した、他の一名の賊は妻女出氏(四〇)の腕にはめた金腕輪價格七十圓を拔き取り逃走した

能率増進講演

滿鐵社會課の招聘で沿線講演旅行中の池田藤四郎氏は廿四日午後七時から二時間社員倶樂部で能率増進に關する講演を爲した

音曲大會

來長して滿洲屋旅館に投宿してゐる唄の師匠澤田咲子さんは來る二十三日演藝館で公開する由だが當日のプログラムは左の通り

一、歌澤 二、小唄 三、博多節 四、追分 五、清元(夕立) 六、落語(櫻川丹平氏) 七、長唄(吾妻八景) 八、長唄(四季) 九、尺八(名和氏)

北關夜話

商業學校の先生某のお父さんは二十二日の午後三時頃菓子を買ひに行くと出て行つたきり歸つて來なかつた▲何しろ七十四歳と云ふ高齡だから間違ひがあつては大變だと家人は大騷ぎ▲しかも其晩は篠つく大雨だつたので警察に屆けて八方探したが解らない▲賊にでも殺されたのではないかと心配してゐたら翌日の午後六時ヒヨツコリ歸つて來た▲當人の話を聞いて見ると、何でも寬城子方面にまぎれ込んだらしいが▲言葉が解らないからウロ〳〵してゐる間に一晝夜以上が經過▲一寸書いてあつたので之について行けば結局長春に歸れるだらうとテク〳〵馬車の後をついて來たのださうな

鞍山

公費の滯納者は地委選擧權無し
廿八日迄に納附必要

鞍山區地方委員の選擧は愈々十月一日演藝館に於て執行される事となつたが地方事務所の調査に依ると市中側の公費滯納者百名以上にて此等に對しては此際納入方を勸告して居るが來る二十八日午後二時までに納入せざる者は選擧權を失ふ事になれば豫じめ心得て置かれたいと

選擧餘談

地委選擧も後五日に迫る立候補の顏ぶれも滿鐵側五名町側十名支那側一名の十三名に定まつた

×

前回地委改選の時は日本人十名支那人二名の十二名で唯得票を競ふのみで左程の苦戰も見なかつたが本年は支那人は別として日本人二名の落選者を出す譯であるから可成り激しい戰が演ぜられるであらう

×

新陳代謝もよいが現委員中より石川さん一人とは心細いと言ふ人もある勇退組を一人で背負つて立つた石川さん鞍山の現狀及將來に鑑み節約緊縮の方針に共鳴し節酒禁煙自ら驀馬に鞭ち大鞍山建設を目標として再び地方委員候補に立つたとの名刺をもつて自ら陣頭に立つて大に活躍して居る

×

渥美、野毛兩立候補の妻君が夫の參謀となつて女丈夫振りを發揮して居るとのこと頼母しい

×

日和を見て居た病院の三重野さんが地事、兩學校驛から推されて俄かに立候補したので中には當外れのものもある模樣

×

何れの候補も優勢で今の處何人が當落するか豫測を許さないがどうせ三名だけは落馬の悲運を見なければならないのであるから茲許お互に褌を堅く締めるが肝腎

千山神社大祭

千山神社の秋季大祭は廿二日前夜祭二十三日本祭が執行されたが餘興に手踊、素人芝居等があつて例年に見ない賑はひを呈した

製鋼所運動一段落

製鋼所問題の運動も一段落を告げたので加藤實業協會長、木下梅之助研究會長、神田藤兵衞の三氏は二十四日赴奉、領事館、實業協會、滿鐵、毎日新聞社等を訪問挨拶する處があつた

貔子窩

獵友會競獵會

旣報獵友會の競獵會は二十一日午後一時貔子窩公園に集合出席會員十四名之を紅白二班に分ち各自各方面に向つて出發、翌二十二日は正午後四時病院に集合萬一時刻に遲るる時は十分につき十點の罰則があるので何れも正四時には獲物を擔へて意氣揚々と集合した、總點數九百七十九點百八十四羽紅班五百九十五點得て紅軍の勝に歸す個人賞としては一等二百十三點李田種彥氏、二等百四十七點大人榮次郎氏、三等百廿七點有村嘉氏で記念撮影をなし夜は獲物を肴に池田氏宅にて一同胸襟を擴げて宴會を催した(寫眞は出場者と獲物)

撫順

二十數名で大混戰狀態
當選圏內に在るは誰々か 地委選擧目前に迫る

撫順區地方委員總選擧の日目前に迫り且つ今年は立候補者が多いので大混戰を呈してゐる、何れの選擧事務所でも十四五名から四十名位の運動員を使つて朝早くから夜の十二時頃まで活動してゐる有樣はすごい位だ、町の要所々々には堂々たる立看板があり或る者は理想選擧を標榜し或者は戸別訪問の叩頭主義中には一票幾圓とか十幾圓とかの實彈戰法を用ふるもの、其他あらゆる戰術が行はれてゐる、その白兵戰の焦點は最も選び易い支那町有權者方面及び候補者を出さぬ炭礦連輸、學校關係、龍鳳、楊柏堡等で二十數名の候補者は一齊にこれを覗つてゐる、ところで各候補者の現況は大體左の通りである

▲寺西奎之君 氏はおそらく市中側としては最高點であらう、地方委員としての閲歴と言ひその地盤は拔き難きものあり、交際廣く日頃からの親分者多く絶對安全な一人である

▲古賀利市君 多年の地盤たる町內會、糧棧街、時新商方面、支那町方面はもとより炭礦方面等に、後援者が多いので當選は確實であるが、その運動方法が極めて微溫的で超然過ぎてゐるきらひがある

▲岡本兼松君 君も當選疑ひなし相當の高點を占むるであらう

▲蜂谷文平君 近く炭礦を勇退すると云ふので餞別投票だけでも當選間違ひなし、だが君の從來の地盤が本年は三分されてゐる關係上最高點は望まれまい

▲土方霽正君 千金方面は勿論、工務事務所方面は結束して君を推してゐるので、金城鐵壁炭礦側の最高點と觀られてゐる

▲飯村憲吉君 是も坐つてゐても當選間違ひなしと折紙をつけてもよい

▲王君 支那側候補者二人の內當選圏內と觀てよいのは君一人

▲後藤愛助君 今期は頗る存氣にかまへてゐるが、君には隱れたる後援者があるので當選確實

▲磯部宗次郎君 青年同盟の公認候補といふ強味のある上勢稱係方面にも後援者が可成りあるのでまづ安心の方であるが油斷は大敵

▲福田寅一君 田中廣吉君の地盤がある上大分縣人會が相當力瘤を入れてゐるので是も當選疑ひなし

▲西川清兵君 今回始めてであるのと何んと言つてもまだ若いから非常な苦戰は免れまいが當選はするものと見られてゐる

▲山本可麗君 內野御大始め病院こぞつてやさしい看護さんまで一系亂れず應援してゐるのであるからまづ大丈夫

▲小池謙三君 衞生係、警察方面は悉く君を推して居り如才がないから是も大丈夫

▲伊東熊次郎君 當選圏內には入れる見込

その他坂本吉三郎、伴久雄、宮崎重助、加藤百太、飛鳥井、切山、池島、河瀨君等々は

互格の勢力

で進みつゝあつて優劣をあけるまで推斷を許さぬ、併し豫想外の番狂はせもあるものゝ如く、餘す一週間の努力如何で當落は決定するのだ

七八人組の電線泥棒
各所を荒す

二十二日午後九時中學校と公學堂との中間動力線二百米突、同日午後八時大官屯石川煉瓦工場南方と第二發電所の二十九、三十、三十一電柱間の二百封度、話線百八十米、二十四日午前零時撫順神社南側の電線(電柱一本間)百二十米、二十四日午前九時華工街中大路の老虎臺採炭所電燈部の電線百五十米を切斷された、犯人は何れも七八名組でペンチ樣の刃物に依り線を巧に切斷窃取せるものである

對大連實業戰
二十九日に延期

大連實業對撫順滿倶の野球戰は實業側の都合で延期になり二十九日午後三時半から愈々永安臺球場に於て相見ゆる事に決定した

華工二名慘死

二十四日午前五時二十分古城子露天掘第二區西方段四十三號ショベル作業中石炭の自然崩壞で華工孟許(三〇)他一名即死

赤十字視察團

日本赤十字各支部病院長並びに醫院長等一行二十七名は二十四日午後一時來撫自動車を連ね、露天掘、製油工場、發電所等を視察十五時五十五分にて離撫したが一行の主なるものは次の如し

△赤十字本社高橋救護課長、赤十字病院本社副主事堀元齡△茨城支部病院副院長、醫博志村國作△三重縣山田病院々長、醫博小原信行、△北海道支部病院々長醫博桑島要△姬路々部病院長古関末能△滋賀支部病院々長醫博伊藤秀△朝鮮支部病院副院長醫博稻田博△宮城支部病院々長醫博內藤修△岩手支部病院長醫博秋葉隆△秋田支部病院長醫博横田道之その他各部病院長醫博七名その他である

開原

巡警と兵士が入亂れて鬪ふ
双方數名負傷者を出す

去る二十二日日曜の休暇に紅頂山第十七團第一營第一連長李某は部下二百餘名を引率し昌圖城內に到り、市中散策中一行中の排長某は部下二名を連れ某煙館にて阿片を吸煙せるを同家附近を見張中の巡警は之を發見し逮捕の上公安局に引致せんとしたるに、數十名の兵士集り多數を頼みて該排長を取り戻さんとし暴行を加へたるを以て、巡警王某は威嚇的にブローニング拳銃を發砲せし爲め之に激昂せる兵士等は益々反抗氣勢を揚げ茲に一大鬪爭を惹起し、一名の兵士は拳銃創を受けた、之を聞いた李連長は直に多數の部下を引連れて現場に到りて益々大事となり兵士側には又も四名の負傷者を出すに至つた、然るに兵士側は武器を所持せざるを以て各巡警派出所を襲ひ武器を強奪し、又肉屋にて肉切庖丁を奪取し或は棍棒を手にして對抗せる爲め巡警も五六名負傷し內三名は殊に重態に陷つた、兵士側は直ちに負傷者を輕鐵で運搬回營したるが、一方巡警等は此騷動に逃走し何れも私服に着替へ姿を潛めた、商家は門戸を鎖して戰々兢々たる有樣、可哀想なのは負傷巡警等で長時間手當するものもなく路傍に放置され終日も當られぬ有樣であつた、併し商務會長其他有志が急遽紅頂山に赴き團長に面會圓滿解決方を願ひ出たるため團長が直ちに馳せ付け漸く治まりたるが、目下縣長公安局長共に出奉不在中にて、軍隊側では第一公安分局長を引致取調べ中なりと云ふ

拂曉の出火

去る二十二日午前三時半頃當地滿鐵附屬地永昌街十一番地小寺洋行安田方店舖の一部より出火したるが、發見と同時に消防隊及び警察署に電話を以て報告したるに時を移さず消防隊並に警察署より出動協力消火に努められたる結果大事に至らず同四時全く鎭火、損害は約四百圓なりと

安東

體育デー計畫

大和小學校では十月三日の體育デーには徹底的に此の宣傳をする爲全校生徒の旗行列を行ひ、先頭には體育を意味する文句を書いた大幟を樹て標語を連ねた宣傳ビラを各戸に配布し二三個所に於て生徒の合同體操を行ひ、父兄も兒童も協力一致して體育及び健康の方面に努める方針である

廣田夫人逝く

安東憲兵分隊長廣田充雄氏夫人は過般來より滿鐵病院入院加療中であつたが、藥石効なく二十二日午後六時十七分永眠、享年三十歳

安義雜聞

國境スポンヂ球界の雄貨友軍は二十三日新義州鴨江日報社主催の國境スポンヂ大會に出場し、今春優勝せし道廳軍と四時半より對戰したが、敵軍水田投手のため全然打撃を封ぜられ遂に四對一といふスコアーにて敗退した

◇

來月下旬當地洋畫家大狗連第二回繪畫展覽會を催す筈であるが、中には實に見事なるものもある模樣である

映畫觀賞會

青年聯盟本部主催の洋畫映畫觀賞會は廿五日午後六時より公會堂に於て獨逸ウーファ會社特作「ファウスト」全十卷及び名犬リンテンテン主演の「咆哮する猛者」全六卷を上映

遷宮祭協議會

二十五日午後三時より地方事務所會議室に於て地方委員各區長其他有志參集左記に關する諸件の協議會を開催した

一、神宮遷宮祭に關する件
一、國母陛下御慶事に關する件
一、軍隊宿營其他に關する件

四平街

市中軍が斷然優勝
B組庭球戰

滿鐵庭球部主催組優勝旗爭奪戰は二十二日(日曜日)午前十時半より公園コートに於て開催せられしが、名譽の覇權を目指して馳せ參ず驍將四個軍八十名それに數百名の聲援を加へ異常なる盛會であつた、試合は最初から大接戰を演じた、市中軍は第一回戰に聯合軍を十九對十七にて一蹴し、優勝戰にて鐵路區軍を十九對十一にて破り不戰二組を蹴し最初より壓倒的にリードし斷然優勝した

鐵嶺

自轉車泥棒
二名捕はる

本年四月以來當地に頻々たる自轉車の盜難事件あり松島町の如きは殆ど軒別に窃取せられ其數十數臺に達せるが犯人二名は遂に二十四日捕へられた、犯人は開原城內東門裡十叢(二〇)濱陽鐵西門裡盧成福(二五)と稱し列車で鐵嶺へ窃取せる自轉車で奉天に走り處分して又鐵嶺へ稼ぎに來てゐたものである

軍隊慰問團

奈良縣聯合兵會長代理飯田靜夫氏を團長とする奈良縣派遣の鐵嶺軍隊慰問團十五名は二十四日午後九時着列車にて來鐵一泊翌朝八時半旅團司令部を慰問駐劄隊に到り各市部別に慰問將卒全員と共に晝食後市中を見物案內で小憩夕食後六時半發列車で南下した

營口

平康里で亂暴
苦力に巡警發砲

二十三日の午後七時頃二本町派出所前に於て暗を破つて二發の銃聲がしたので同派出所ではスハ馬賊と直に飛び出で見たるに逃走中の苦力の一群に向つて二名の巡警が拳銃を發射したるが分つたが之は神廟街に於て目下建築工事に從事中の苦力頭蘇雲甫(三〇)が友人の買某と共に小平康里際賣堂に登樓し同樓の酌婦劉金花及劉鳳來の二名を揚て飲酒中酌婦が苦力の分際で散財とは何事だと罵倒して相手にせずその上主人が酌婦に加勢して追ひ出したので彼等は休業中の苦力四十名をかたらい同樓に闖入し手當り次第に器物を壞すので樓主は警察に急報し急を聞いて駈つけたる巡警を見たる苦力等は暗にまぎれて逃走したので之を追跡して發砲したるものなること判明したが本署よりは急を聞いて宇和田警部補等數名かけつけるなど一時はなか〳〵の騷ぎであつたと

間島

夫婦を殺傷
强盗支那兵

十八日夜頭道溝居住支那人孫明煥方に侵入して孫を射殺し其の妻子に瀕死の重傷を負はせた兇漢があり、支那警察で捜査の結果、右は同地駐在支那陸軍第一營第一排兵卒の仕業と判明、同人は兇行後銃器携帶のまゝ身を晦ましたので引續き捜査中

活動寫眞

お馴染の滿活社では松竹映畫鈴木傳明主演陸の王者全十三卷及中根龍太郎主演の時代喜劇提灯全六卷を二十六日二晚公會堂に公開すると、入場料は大人八十錢、軍人半額、小人二十錢

遼陽

御附武官來遼

秩父宮殿下御附武官本間中佐及び菰田陸大教官は廿四日午前首山附近の戰蹟視察午後零時五十八分遼陽驛着、軍隊側、見坊所長、長山署長其他有志の出迎へを受け一先づ遼塔ホテルに入り午後南門外方面視察同夜一泊翌廿五日煙臺沙河附近視察の爲め北行

巡警の減俸

遼陽縣公安局では物價騰貴の爲め巡警の給料も數回に亘り增俸して居たが、經濟緊縮の外東三省財政も近來餘り變動なき故を以て九月から給料の十割に減額支給する旨省政府からの通牒を傳達したと

保線區家族會盛況

遼陽保線區では廿三日の休日を利用し鞍山苗圃で家族會を催したが中間丁場花園等の家族も參加したので總數約一千名に及び極めて盛會であつたと

安達家の不幸

遼陽大和通り安達藥房の母堂トヨ子刀自(六〇)は昨年の御大典に天盃下賜の光榮に浴したのに本春來罹病家人の手厚き看護も効なく廿一日夜永眠翌廿二日西本願寺に於て盛なる葬儀が行はれた

第二回 滿日勝繼碁戰(北川氏二回勝目)

先番 秋元豊二郎氏
先相先 北川新平氏 (1)

國崎四段講評 黒十三遲し十四に引き白(い)黒(ろ)と打を定石とす

● 一 レの十六 ○ 二 ニの七
● 三 ヨの十六 ○ 四 レの五
● 五 ハの四 ○ 六 ホの四
● 七 ホの五 ○ 八 への五
● 九 ニの五 ○ 十 トの四
● 十一 への三 ○ 十二 への四
● 十三 ヨの三 ○ 十四 ホの三
● 十五 ヨの四 ○ 十六 タの三
● 十七 ヨの三 ○ 十八 タの四
● 十九 ヨの五 ○ 二十 タの六

皖南旅行記 【三】

亞細亞大觀社 島崎役治

蕪湖に歸る

山峽であるから涼しい、住宅は靜閑である、周圍にはポプラが鬱蒼と茂り前には松二三本立ち南方山大山頭の鑛山が鑛へ運礦のトロが電力に依つて轟々と走つて居る

夜に入つてから靜かさにかへりて鑛山の處々に電燈が螢の樣に光つてゐる、松岡氏は明日山を下りて內地に歸省され荷造に忙しいので私方は山の靜かさをあぢはひながら逍遙した、やがて夕餐が出來たので三人は鷄肉のすき燒に舌鼓を打ちながら山の話をいろ〳〵きく時間は過ぎて八時大雨沛然として降り來り軒を打つ音も凄しかつたが間もなくガラリと晴れた大空には星が輝き始めた。

夜は靜かに明けて冷々とした風が軟かに吹き入つて山の朝は閑寂なものだ、此所に居れば避暑地に居る樣な氣持であると云ふ、荒くれ男の工夫達の多い鑛山もなれると平和鄉となるらしい、よく澄んだ山の大氣を呼吸しながら暑さ知らずの山峽生活もまた惡くはないと思つた、朝飯が終つてから私達は大山頂に登つた、廣大なる山も原形のなきまでに採掘してゐる、日々働く工夫達の力も大きいものだ、彼等の皮膚の色は鑛石の色の樣だ、何れも頑丈で筋肉が隆々と屈起してゐる。

此の山には水晶が採れるがあまりよい品はなかつた、紫色のあるのも珍しかつた、山を下りて事務所に歸る、此の地方は水蜜桃の名產地であるので買つて食べる、美しい薄肉色で其の味はたまらぬほどよかつた。

四時に汽車が出るので私達は松岡氏と同車して荻港に着き事務所に入る、渡邊氏や三井汽船の高見山丸船長等と會談した、鐵石の積込み終るまで時間があつたから私は附近の山頂に登つた、そして荻港の市街を鳥瞰し展望を撮影する六時に積込みが終つたので、同船に便乘し蕪湖についたのは夜の八時、船長に別れて船を降り稅關前に上陸した、旅館まではかなり遠いが今日車夫達が稅金問題で同盟休業したので一臺も居らなかつた私達は大空に輝く星を眺めながら夜道を步んだ、夜の十時頃に旅館にかへつた、途中山と違つて蕪湖は蒸し暑く寢苦しい一夜を明した。(終り)

◇……積溪の黎明……◇

文藝

『阿片戰爭』と其改作に就いて ―最初のヨーロッパの旗―

(一) 青木實

材料蒐集に多年を要したといふ江馬修氏作「阿片戰爭」は「戰旗」九月號に載つてゐる。五幕十三場といふ大係りの戲曲である。然るに村山知義氏作「劇場街」九月號所載「最初のヨーロッパの旗」四幕八場は、江馬氏作「阿片戰爭」の改作であるのだ。

九月上旬、築地小劇場は更生第一回興行に、トレチヤコフ作「吼えろ支那」と共に、江馬作「阿片戰爭」を上演した。ところが、その演出を擔當した村山知義氏は、江馬作に多大の改良を加へて上演した。右、終演後、村山氏は尚不滿の點ありとし、氏の改作を延長して「最初のヨーロッパの旗」をした。江馬氏作と同時に發表したのだ。

江馬氏はこれを「氏は(村山)僕と同じ陣營の同志であり(兩氏共ナップ所屬)同じ立場に立つ人であるが、生活經驗、氣質、趣味いづれも僕とは異つた人だ。隨つて原作者の個性的印象が、かなりな程度に村山氏のそれによつて置き換へられるであらうことは止むを得ない事だ」――(築地小劇場リーフレット)九月號で言つてゐる。

村山氏は築地上演に際して言ふ「第一には阿片戰爭の戲曲化に際して捕へるべきモメントに關する江馬氏と私との意見の相違であり第二に戲曲構成上の樣式に關する兩者の相異であり、第三に經濟上時間上の制限である」と。

阿片戰爭といふ英帝國主義の支那に於ける搾取の第一ページに對する、上述二氏の見解及び表現の相異を、その三つの作、江馬作「阿片戰爭」築地臺本、及び「最初のヨーロッパの旗」に就いて少し書いてみやう。

一言にしていへば江馬氏は餘りに史實に對してのみ忠實であつた試みに同氏作「阿片戰爭」各場面の要素を簡單に摘錄してみる。

第一幕 廣東英領事の阿片密輸入に關する支那ブル商人との結託、及び支那侵略を企畫する。

第二幕一場 廣東廣西總督は、阿片嚴禁英人を捕縛し、以て天子の御心を安んぜん事を議す。」

同二場 阿片燒却の場

同三場 英人牧師に對する排斥

第三幕一場 印度の阿片栽培地、廣東英領事東印度商會支配人との密議、阿片はとこで幾らでも出來る。支那に市場を殖やすこと、支那が現在阿片を拒否する以上は、武器を以て賣りつける、右手に阿片を、左手に聖書を、而して侵略をしてゆくこと等々。

同二場 フキルム、イギリス軍艦の廣東攻擊。」

同三場 英國下院、軍事豫算の可決。」

第四幕一場 支那の敗戰

同第二場 廣東都統海齡の戰死。」

同第三場 革軍に講和申込。

同第四場 英兵と支那兵との、支那農家に於ける、掠・暴行。

同第五場 英砲臺を、支那農民の反英團が占領、そこへ支那兵來たる、農民との亂鬪。

第五幕 戰爭五年後、英帝國、香港占領英人、支那ブル商人の横行。その宴席である。俄然苦力の暴動蜂起宴席の混亂。英軍隊の出動暴動鎭靜、隣接商館からの火事さはぎの中に幕。

初秋新風景(3) 『王中の王』

榮華人

おゝ、ゴッデム!何と吾輩の妖力非凡に驚いたか。まさにわが高木臓子嬢の心を和らげ、婉然たる微笑を取り戻したのだ「初秋新風景」の獻言、こゝに於てか必ずしも持てたものでない事を知る。何と光榮の秋よ、だ。

俺が日頃から不良老年を以て自任してゐるが、不良なるが爲に、必ずしも惡ならず、時には揶揄以て人に誤解を招くおそれはあつても、尚禿筆を捨ざるの類だが、そもそも、俺が高木臓子嬢を云爲するのは、つまりこの不良老年に何か求めるものがあつての爲なのである。手つ取り早く言へば俺の切に必要を感じてゐるのは所謂「王中の王」なのだ。

展望すれば、俺の視界の限りは滿開の花園だ、仔細に點檢すれば何れも山家みだち、手折らうとする心も起させぬ。大會社の手前ちと恥かしくはないだらうか。

さて高木臓子嬢の友人に、M嬢あり、M嬢の友人にして、その名をさへ知らぬ少女あり、俺はその少女を隨分と久しい前から見てゐる(かりに此の少女を×嬢と名づける事にする)

今更、戀でもあるまいが、×嬢に出會ふ事數重なるに連れて、俺ははのかなほてりを心に感ずる。

この少女、丈高からず。豐頰色は飽く迄白い。

あゝ、協和會館にレコード、コンサアトの催しあるや、俺をして打鬪、參會の餘儀なきに至らしむるもの、この嬢あるが爲に他ならない。

こゝに於てか、俺は切に某博士館鑒する所の「王中の王」を要するの所以である。

何ぞ、彼の館に、腰臓除骨の如き、出所明らかならざる種の音樂解說とやらを傾聽するの愚をなすものぞ。幸ひに解說子よ、俺の回春起死の題目は黙つて君の痴言を聞かしむ。×嬢、赤誠なり。

と、言ふ程でもないが、殊更に俺のこの言を有らしめたからには相當に感じの好い人だと言ふ事位は判るに違ひない。

諸君よ、俺の爲にその少女を近づきにさせては呉れまいか。何かの機會が、さう言ふ風な具合に行かないものだらうか。

高木臓子嬢に頼む事にし度いが直接の友達ではないらしいし、M嬢は俺とは知らない餘でもないから、一層M嬢に話して見る事にして見ようか。

俺ゝ前章にも言つておいた樣に多少俺は魔法の心得があろ。恐らくこの數日のうちに、×嬢は俺を顧みて、微笑み位は呉れるかもしれぬ。

ええつい!この自惚男め、手前の面では、何の微笑みだ「王中の王」でも飮んで、おととい來い。

O、K、合點だ。

彼岸に病む ―臥待月と共に―

横澤宏

九月十九日。
立待月、この頃から微熱あり。些か頭重たく、臥せわし。
夜に入つて友來る。
月を踏んで、甚を歩からと誘はれ、險溫器をポケツトに信濃町の喫茶店に行く。
ウヰスキー二杯を飮んで再び月影を踏む(體溫三十七度を越す)更に西廣場邊りの酒場に赴きて快飮。此頃より些か酩酊。
(三十七度なにがしの熱、いづれへか飛んで無し)

九月二十日。
居待月。午後頭痛烈し。」

九月廿一日。
埠頭に某夫人を送り、歸宅後、遂に病床に臥す。即ち「彼岸に病む」――臥待月の如く。

九月廿二日。
醫師を招じて診る、胃腸より來れる感冒、安靜を保つべし、と宣せられ急に病人を意識する、主家の女人、枕頭にコスモスの花を飾つて下さる。大いに微笑を覺えて眼々閉ぢる。

九月二十三日。」
彼岸の中日。
友來り文學の話に日を暮す。」

德田秋聲の「ペトロンを搜す女」(中央公論八月號)を最近讀んだ小説での白眉と、僕大いに推賞する。それから十一谷義三郎の「唐人お吉」讀みたきものゝ一つである、と話す。

「横光利一、與日如何?」と友に問はれ、僕「駄目だ」と答ふ。

「ぼくは新しい作家に眼を向けない、古い作家、古い作家をたづねて、古きなかの新を探る」と友の言葉に、僕、大いに學ぶところあり。

大阪朝日に連載されてゐる里見弴の闇に開く窓も面白い。と激へられ、一日讀んだきり其のつまらなさに捨て了つた僕の粗忽を今更怨んでみた。

岸田國士、東朝に「由利旗江」といふものを書いてゐるが、餘り感心できない、と僕――結局近頃は「實話」と「大衆文藝」全盛の時代だからかなわない、と言つて久しく沈默した。

然し現下の文學陣中、何んと言つても左傾派の活躍はめざましいものだ――とは友我れ共に感歎した處である。

友、歸る。

秋に枕し文學談を交へたことに鑒き昂奮をおぼへろ。

夜、蚊遣りを焚き大佛次郎書くところの「赤穗浪士」下卷を讀みつゝ、睡魔を呼ぶ。

ふと――溫泉に行きたい心仄かに動き、頻りに山峽の溫泉宿を偲ぶ。

(寢返りをうつて秋の燈を剪る)

―完―

滿洲短歌會旅順支社 九月例會詠草(二)

菱田世紀
今のうちによく食べて置け鶩鳥等よもう青草は狐色になる

中山吉左右
青芝のいと心地よき彈力に我れ倒れ立ちぬ嬉れしくてならず

永原いね子
稻の穗に秋風吹くを珍しみ廣野の道を遠くもあゆめり

寺本初音
水清き旅順の海を見下せば此の身も雲の心地こそすれ

瀬下にいす
夕まけて家に歸れば灯は明し其の窓邊には子等待つらむか

末野稠
苺とる山ふところは秋のけはひすがしくも肌に冷ゆるを覺ゆ

南一草
高粱の野の逍遙み戀もあらむ支那の娘の紫の衣服

九月十九日子規忌三昧會

小段湖村
朝々通る家の庭も狹カンナ
昨夜仲秋の栗賣り出初め父の忌母と

本田皦城
夕せまる部室ふみどころなく子供歸らず
木曾川にて
舟流れつ手のとゞく思ひの丸石ぎつしり

西津五春
沖釣あぶれのうねり白波無きつれ
一番自動車棺葉はりの山かけて霧白う

圖書館小話 (一〇)

橋本生

讀書の利不利

家庭の愛に浸つてゐる友人が、その幸福を喜びながら、同時に讀書や思索に親めないことに、相當の不滿を感じてゐるらしかつた。「家庭生活に滿足するのは結構ではないか」といふと「併し空虚だ寂寞空虚を覺えて仕方がない」と答へた。一方に滿足しながら、足るを知らざる人心の常で、更に他の點に不滿空虚を發見することは少しく反省力ある者の、誰もが經驗する所で、殊に讀書に興味があり、また其の相當の効果を信ずる者にとつては、他の何物を以てしても之に代へがたい心の起ることは、屢々あり得る。私は友人の心中をよく諒解することができた。併し私は、

此の頃、成るべく本を讀まない事にした。いつもさう思つてゐる、實行はなかく〜むつかしいので、決心としては、もう今後は一冊も本を買ふまいと思つてゐる」と敢てさう云つた。餘りに相手の心を打ちこはすことになるが、わざと逆らう爲めの言でないことは、相手にも通じたらしい「君は、そんなに僕と正反對なことを考へてゐるか!」

誠に全然反對である。人にもより、時にもよらうが、私は讀書から來る不利を痛感し初めた(利が無いとは云はぬ、不利は除かれもするが)友人からせめられて、言つたことだが、書物に對する私の警戒の手を緩了せぬ爲めに、こゝにも記して置きたい。

讀書は、當然の結果として、私共の思想を進歩させる。知識を多くして呉れる。が其の事は、直ちに私共の心中に、或る不調和と不滿足とを芽ぐむ因となつて、慾望と境遇と、實行と思想との距離を濶くにして大ならしめる。頭の中は、四六時中、疑問と矛盾とで充滿する。私はそれが苦い。苦いよりも、無益ではないか。知識を、單に知識として樂しむ人は、この苦みを嘗めないだらう。讀書夫自身に耽溺するほどの餘裕をもたぬ私は、用心せぬと、直この病氣に襲はれる。

それに、私は自分で課した問題を、自分で解決したい癖がある。それが人前に出せるものでなく、無益なること、不注意な讀書と同樣であらうが、解決したことは、書きつけて見たい。問題を解決せずに、解決したものを投げやつて置くことは、仕事の後片附けが濟まなかつたやうで、甚だしく私の生活良心を裏切る。興味のありさうな問題に、手を觸れずにやり過した後の淋しさは、音樂會を聽かなかつたり、野球の一ゲームを見外したなどの比では無い。書物は自分の要求を滿足させるかといふに、さういふ本には容易に出會はぬ。自己を長養して呉れるよりは時としては、自己の生命を削取る自己の生命の成長を感ずるのは思索をし、ものを書くことである今日一日を生活したといふ意識がはつきり頭に浮ぶ。その代り、讀むよりも苦痛かも知らぬが、それ以上の樂しみを以て報いられる。快心の一章を得た時は、快心の一冊を讀破した以上に、高い價値を自分として感ずる。讀むことに比して、書くことの方が、より多く自己を愛護する所以である。「書くことは、其の度毎に自己を亡失しつゝあるのではないか」と友は云つた。

附記 書く度に自己の愚をさらすに過ぎなかつた記事を、これで一先打切ります。讀者諸君のお目障りだつた事と存じます。

冷たい屍

砥上榮次郎

據振の準吉は、幾度死の誘惑を受けたか知れない。

彼の、身も魂も吸ひ込む樣な勢ひで驀進して來る機關車の恐ろしい機械の唸りや、其の鈍重さ、例へば腕を伸ばして掠奪する樣な孤狀運動を續けるコネクテイングロツト、其から赤い神經をつゝく樣なホイールのガバナーの鑠殺、ボイラーから立ち昇る陽炎、ピストンのエキゾースト等々、彼の近頃の全部に喰ひ込んでゐる憂鬱さを一層手繰り寄せるに充分であつた實際彼の心は平靜を缺いでゐた苛々した氣持が、ふいと死の通魔にみせらるゝ事があつた。

十年間も、彼が丹精に育て上げた娘のお葉が、何處の馬の骨とも知れない運送屋の會計と逃げてから、三年の間といふもの、何の便りもなかつたのである。

でも彼の面憎さが思ひ募れば募る程、娘も一緒に憎む氣にはなれなかつた。

乾度彼が手管に乗つて、連れ出されたお葉だと思ひ、何時かひよつこり歸つて來るものと信じてゐた。其程又お葉をねんねだつたときめて、溺愛してゐた準吉にして見れば、堪らない淋しさでもあらう。

お葉は、彼と逃げて半年餘りと言ふものは、植民地の寄合者の中で、所謂大まかな隣人の親切に狎て、若夫婦らしい生活を味はつてゐたが、根が山師風な、其も裏手をくぐつて一儲けしやうとする彼が、根こぎ喰ひ違つてしまつた時筋目の通つた仕事で盛返す事が馬鹿氣てる樣に思はれたのである。別に女は出來るし、金には詰つて、到頭お葉とも相談づく乍ら、たゝき賣つてしまつたのである。

其迄お葉にだつて、段々思ずれた、慘さの生活には慣れ切つて、他の男にひつついて居た事もあつた。そうしたお葉が、悪い病氣にうつつて苦んでゐても、切れた彼に無心を言ひかける事も出來ず、氣紛れに喰付いた男には勿論そうした相談に乘つて呉れさうにもなかつた擧句が、たつた一人の親である準吉に、細々と事情を訴へて金の苦面を頼んで來た時、矢張り俺の子だものてな氣持で、早速送つてやつたのである。

そのお葉が、小さな骨壺に納まつて、あちらの樓主から送り屆けられた時、一日中飯も食はずに考へ込んで居る準吉であつた。

お葉は――お葉はどうして死んだであらう?

誰が死水を取つて呉れたか知らと思ふと、立つても坐つても居られない程、彼を憎む心がむらがり起つて來るのをどうする事も出來ずに居た。準吉の目には涙で鐵の樣に視界を遮られた。

そして轟々と凄じい音で迫つて來る機關車の氣配は、彼の多年の經驗が教へ、淋しい笑をさへ湛へて待つ氣持に落着けた。

遂に小川前鐵相 今朝、拘引に確定す
私鐵事件連坐の疑ひで

【東京二十五日發至急報】小川前鐵相は二十七日拘引の筈のところ都合により早められ明二十六日午前五時拘引さるゝ事に確定した。

然し各新聞通信記者は今夜徹宵日比谷の同氏邸宅を包圍し自動車數十臺にて大警戒してゐる

『二度も大臣を務めた 悪事はせぬ』
きのふ小川氏の自動車を 記者團盛んに追尾

【東京二十五日發電】私鐵事件に連坐の疑ひを以て廿六日拘引されることとなつた小川前鐵相は本日午前中は内幸町の自宅に在つて外出せず午後一時頃和服姿にて玄關に現はれた、流石豪然たる小川前鐵相も今日は頗る元氣なく色青ざめ忽ち取囲む多數の新聞記者の間にも

一瞥も 呉れず乗用自動車にて山下町の政友會本部に入つた曾ては鐵道大臣として田中前内閣の副總理とし國政に参畫し事毎に新聞記者に追尾せられ其の一言一句を傾聽せしめた小川氏も今日の新聞記者の追尾は刑務所に收容さるゝを突き止めんとする呪ひの追尾であることそ人生轉變のテンポの早いのを物語るのである、斯くて政友會本部に入つた小川氏は倉皇として幹部室に入り田中前首相、久原總裁相以下の

舊閣僚 と顔を合せたうへ三時十五分玄關先に再び姿を現はして自動車に乗つた、スワ檢事局行だと待ち構へた新聞記者連は小川氏の自動車を追跡したところ自動車は方角違ひの方向に上野の美術館に入り、折柄開會中の院展、二科展を悠然として一廻り巡覽した、斯くて午後四時五十五分同館を出て一直線に日比谷方面に自動車を走らせた、今度こそ檢事局へと新聞記者の自動車二十臺之を追掛けたが

檢事局 へは行かず自宅に入つた、玄關を入る時新聞記者團に對し

檢事局からは何もまだ言つて來ぬ、若し俺を呼ぶならすぐ出頭する、逃げも隠れもせぬ、問題になつてゐる本件は裁判所の方でもすつかり調べ上げてあると思ふ、若し自分に聞かれたら自分は包み隠さず良く話す積りだそうすれば疑ひは晴れる、俺も國務大臣を二度も務めた男だそんな悪事は決してしない

各社記者連徹宵 小川氏邸を警戒

【東京二十五日發電】小川前鐵相の拘引は二十七日未明と決定した

招待園碁會 ゆふべ南華園で 横田滿電專務

滿鐵專務横田多喜助氏は二十五日午後五時から滿鐵理事、藤根同理事、竹中同經理部長、武部同商工課長、船田同沙河口工場長、大藏公望、三井石田、三菱寺田、滿洲ドック和田、大連海關北代、大連機械高田、藤田、滿電末綱、同大職の諸氏を中央公園内南華園に招待し滿土大連に於ける圍碁界の重鎮野澤(滿鐵)大鐵(滿電)兩氏の對局があつたが兩氏は共に實力二段以上格で初顔合せだけにその對局は頗る大連圍碁界の興味をそゝつた

競馬の紛糾 煽動らしい 其筋の眼光る

既報の臨時競馬大會第二日目第十四回競馬紛糾により端なくも同倶樂部員内における新舊兩派が相反目抗爭の醜状を暴露したが其の間において現役員反對派が策動しつゝあるものと目され沙河口署では廿四日夜その首謀者と見做されて居る某氏を召喚して取調べ、更に廿五日夜も引續き關係者の取調べを行つた、これにより煽動の事實明白となれば當局としても斷乎たる處置に出る模様である

子供を道連れに 親子の心中
就寢の三名を慘殺して 縊死したのを妻が發見

【横須賀二十五日發電】二十五日午前五時半横須賀市佐野町二ノ七加藤千代吉(五七)は同家六疊の間で就寢中の四男博(七)五男義雄(五)二女琴子(三)の三名を剃刀で頸部を斬つた上頭部に鐵槌を打込み慘殺し己は便所で縊死を遂げてゐるのを妻ウラ(四八)が發見横須賀署に屆出たが千代吉は最近海軍々需部職工を馘首され且つ腎臓病を病むなど不幸續きに遂に子供を道連れに親子心中を遂げたものである

カルモチンを嚥み 覺悟の夫婦心中
男は死にきれずガス自殺を圖る 某事件連坐が原因

大連武藏町九貿易商小川洋行店員狩野勝助(二八)は二十五日午前十時ごろ妻のぶ子(二〇)と共に二葉町四十二番地の自宅六疊の間に於てカルモチンを多量に嚥下し覺悟の夫婦心中を企てたが、死に切れず勝助は絆の掛帯を以て苦悶する妻のぶ子の咽喉を締めて死に至らしめ自分は炊事場より

瓦斯管 を横臥せる布團の中に引き込み瓦斯を放出し更に瓦斯自殺を圖つてゐた、午後二時半ごろ勤め先である小川より迎ひに來たボーイが表戸を叩いても開かぬに不審を抱き裏口より這入つた隣家谷岡の妻女に發見されその筋に屆け出たので、大連署からは星司法主任以下刑事、奥山警察醫等駈付け檢證の上、慈惠病院に收容應急手當を施したので生命は助かる模様である

狩野は 元旅順乃木町三丁目陸海軍御用商大島洋行の店員だつたが本年三月解雇され來連のうへ前記の場所に引越し同五日から小川かたに集金掛として傭はれた者で、大島洋行の店員當時、目下豫審中の旅順に於ける某贈收賄事件に連坐し、二十三日旅順憲兵隊で取調べられた事實あり、二十四日夜の終列車で歸連したが、右取調に對し狩野は未だ逋罪者の自白しなかつた眞相を逐一申立てた爲め事件は更に

擴大し たかの感あつて一味より怨嗟の聲を開くに至り更に自らの罪のため投獄も免れざる状態になつたので妻のぶ子に對し因果を含め歸省するやう促したが、のぶ子は父も既にこの世に亡き人であり、今歸つたなればこのまゝ離縁となるはまだしものこと世間の物笑ひとなるのが辛さに「貴方が若し重大犯人として投獄されるなら妻は死んで了ふ」と覺悟を語したので、狩野も「お前が死ぬなら俺も死ぬ」と決心を示し

死の旅 を急いだものらしい、尚枕元には傭主小川やのぶ子の郷里の母その他に宛た遺書が發見されてゐた

頗る溫順しい 正直な男
小川洋行主談

右に關し狩野の傭主小川洋行主は左の如く語る

狩野は五日以來集金係として店に傭つてゐるが、平素頗る溫順しい正直な方でまだ店の方に一文だつて迷惑をかけてゐない、二十三日秋季皇靈祭に午後から暇を貰つて歸つたまゝ今日まで歸らないので實は店のボーイを迎ひにやつた譯でしたが實に意外な事をやつて呉れました

奥さんは泣いて許りゐた
隣家の夫婦語る

更に狩野の隣家で發見者である谷岡夫妻は同情に堪えぬやうな面持ちして

お隣りの狩野さんはこの三月ごろ旅順から引越して來たと思ひます。溫順しい御夫婦でしたが最近はドウしたものか奥さんはメソ〳〵泣いてばかり居りました

二十五日夜狩野さんは夜く歸つて來ましたがソレからも泣き聲はやみませんでした、何か悲しい事情があつたらしいですがまさかコンナことをするとは思ひませんでした

帝都六大學野球戰
慶應八—法政三

【東京二十五日發電】慶應對法政野球第一回戰は午後二時半より神宮球場に慶應先攻にて開始八對三にて慶應勝つ、四時四十分閉戰、バッテリー慶應(宮武、岡田)法政(若林、田部)

明大一四—帝大八

【東京二十五日發電】帝大對明大第三回戰は二十五日駒澤球場にて午後二時半明大の先攻にて開始十四對八にて明大の勝利に歸す閉戰四時五十分、バッテリー明大(戸來、八十川、手塚)帝大(遠藤、古館、小林)

榮養素もたつぷりに 病人の食慾を大いに唆る
きのふ慈惠病院で患者食の試食

◇…某病院の入院患者の獻立中、一等一日牛乳八本、特等同十五本と云つた途方もない豫算、これでは大抵健康な人でも牛乳食傷で胃腸を起さうといふもの、一般醫學の進歩に比較して入院患者の食餌に大した注意が拂はれないのは寧ろ奇怪な事實であつた

◇…滿洲醫科大學教授阿部勝吉氏はさう云つた病院の缺陥を遺憾として從來熱心に患者の食餌を研究し之を先づ奉天病院に實施し其成績を發表した結果今では滿線の病院では大部分之を採用してゐるが今回大連慈惠病院でも之を採用する事になり二十五日午後二時から滿鐵の金井博士、高山大連警察署長その他各方面關係者を招待、阿部教授指導の下に同院料理人の手になつた患者食餌の試食會が催された

◇…食堂に運ばれた料理は何れも先づその形態の美に先づ食慾をそゝり、試食して見て最も痛感された事は從來病院で患者に與へられる食餌、たとへば流動食乃至軟食の如き重湯、牛乳、粥と梅干と云つた様に千遍一律で食慾のない患者を一層うんざりさしたもので、治療上から云つても隨分不完全な點が多かつたとで、阿部氏の研究になつた食餌は患者に應じて獻立を別ち其の何れもに患者の食慾を唆るやうな形態美を附すると同時に最も科學的、合理的な榮養素の粹を集め且つ味覺、香氣等にまで遺憾なき注意が拂はれてゐる

◇…而もこの獻立數種を一年中適宜循環實施してゐれば第一經濟で決して潮式料理人連に材料買出しの爲めに途方もない誤魔化しなど絶對にされない理窟に出來てゐる

◇…それ故これを採用しない病院は經營者の頭腦が遲れてゐるか、然らずんば料理人に翻弄せられてゐるか、何かしら不純な原因が潜んでゐる、といふ事になると云ふ事が徹底的に理解された(寫眞は慈惠病院に於ける試食會)

朝博觀光團 ゆふべ元氣で歸連す

本社主催の第一回朝鮮博覽會觀光團一行廿一名は元氣よく二十五日二十時半着急行列車で本社員引率の下に無事歸連した、一行を代表し本社新聞取次店主山崎平吉氏は左の如く語つた

實に愉快なそして家族的な旅行でした、朝鮮では大歡迎をうけ一般の人には見せないところまで親切に見學させて貰ひました

警官獨身宿舎で 拳銃の盗難
官給のブローニング 大連署で極秘に捜査

大連市神明町の大連警察署獨身宿舍ない佐藤巡査はこの二十三日午後七時ごろから二十四日午前九時ごろまでの間に於て自室机の抽斗に納入して置いた護身用の官給ブローニング拳銃一挺を財布と共に何者かの爲めに窃取された、屆出により大連署では極秘裡に犯人捜査中であるが、未だ目星もつかない模様である、同署獨身宿舍は午後十一時ごろまで門扉を開いてゐるのを常とするが犯人は外部より侵入したものか、或ひは内部の者の所爲かソレさへも見當つかず疑問とされてゐる、強盗事件頻出しその犯人さへまだ逮捕されない状態にある昨今、若し犯人が外部の者とすれば一層危険が加はる譯で物騒この上もなく、内部の者の所爲とすれば恐らく不良ブローカーの手に渡つてゐるだらうと見られてゐる、尚一説には同巡査が窓を明けて寢た爲め犯人は外部からその窓より侵入したらしいとも傳へられてゐる

赤ン坊審査會 今年も開催
金子博士を委員長として 健康相談會も開く

昨秋初めて行はれた大連市主催の赤ン坊審査會には六百名の可愛い赤ん坊が審査を受けたが、此の意義ある第二回審査會及び健康相談會を左の如く催すことに決定した

赤ン坊審査會

一、資格 ▲甲種 滿三箇月以上滿一歳以下の健康乳兒(昨年十月廿一日より本年七月二十日迄出生の者)▲乙種 昨年の被表彰者

一、審査日時 十月廿一日より同廿四日迄四日間

一、場所 大連市社會館

一、表彰數 最優良(甲種五名、乙種三名)優良(甲種三十名、乙種十五名)佳良未定

一、賞品、表彰狀其他 當局に一任

一、表彰日時 十一月三日(明治節)

一、會長 石本市長

一、審査委員 委員長(金子博士)委員(池田、今井、幡井、梶田、川島、永原、梅森の諸氏)

一、助手 産婆四名、看護婦六名、學校衛生婦六名、濟美婦人會員十五名以上

一、審査方法 昨年の審査に準ず

一、審査表其他 委員長に一任

健康相談會

一、場所及醫師 松林小學校(梅森氏)常盤小學校(今井氏)日之出町及沙河口滿鐵倶樂部

一、資格 滿三歳より滿六歳迄

一、日時 十月二十一日

一、其他 口腔衛生相談は聖徳、常盤、松林の三小學校にて

演藝館を告發
未檢閲で上映

大連西廣場演藝館小田英澄は曾て映畫西洋劇「ライラックタイム」の豫告篇一巻をその筋の檢閲を受けず上映し大連署に發見嚴重戒告の上始末書まで取られたがそれにも懲りずこの二十三日夜日の出町日の出倶樂部に於て未檢閲の映畫時代劇「金看板」十巻を上映し興行用に供したので今度は二十五日告發された

惡集金人告訴

大連三河町三スタンリー、スカートン自動車貿易商會販賣係員田口富藏(二?)は過般同商會の賣掛代金一千五百圓を横領費消し月賦返還の約束で告訴を取下げられ再び同商會に傭はれてゐたが更に改悛の情なく八月十三日以來今日迄市内のタクシー數軒より五百圓餘を集金し何れも着服費消した事發見され又々告訴されて二十五日午前十一時五十分若狭町一八六朝日館から大連署へ引致された

金州普蘭店間 直通電話新設

金州と普蘭店間は地理的に密接な關係があるが從來直通電話回線なきため全部大連中央電話局の中繼に依つてゐたので當地遞信局では今回金州普蘭店間直通電話線を新設すると決定し近く起工するが本線完成の曉には金州對瓦房店、貔子窩、熊岳城及其附近各地との通話も大連を迂廻しないで濟むこととなる

尚大連普蘭店間電話線に挿入しある三十里堡は近來地況の發展に伴ひ通話數を増してきたので從來の三局接續回線を三十里堡普蘭店間に一回線を新設することゝなつた

女學生の講演
彌生の記念式

市内彌生高等女學校は本年を以て創立十周年に相當するので二十八日同校に於て盛大なる記念祝賀式を擧行するが、尚當日は午後二時より同校最初の試みとして生徒が演壇に立ち左の如き演題の下に生活改善及家事經濟に關する講演會を開催し一般婦人の來聽歡迎すると

一、消費の合理化について 五年 吉野光子

二、貯蓄の出來る豫算生活 五年 林愛子

浪速町のボヤ

二十五日午後六時五十五分ごろ浪速町四五中華青年會の煙突より失火し天井約一坪を燒き直ちに鎭火、損害約三十圓の見込みと

買物ニュース

市内磐城町神山吳服店出張店では廿二日より見切大賣出をしてゐるが二十五六の兩日は最後の破格値下げを斷行すると、また市内西通り博多屋衣服店では年一回の藏ざらへ多物大賣出しをすると

拓大茶話會

拓殖大學々友會大連支部では懇親を目的として毎月茶話會を開催する事になつたが、本月は來る廿七日午後四時半より埠頭六階食堂にて開催

けふのラヂオ

昭和四年九月廿六日(木曜日)

自午前十一時 相場(特産、錢鈔、株式、各地相場)

自午後〇時三十分 相場(特産、錢鈔、株式相場)ニュース

自午後三時三十分 相場(特産、錢鈔、株式各地相場)ニュース

自午後七時

一、ニュース

二、支那語講座「實用支那語會話」滿鐵學務課 秩父固太郎

三、映畫物語「親」(解説)松葉詩朗(伴奏)帝キネ館管絃部

四、淸元「式三番叟」(淨瑠璃)西村貞(三味線)淸元榮造(上調子)喜久勇

五、尺八「都山流本曲船唄」宮地泰風、木村汲山、辻泰正

六、支那唱「蝋子」(唱)陳銀子(師付)王振泉

七、料理獻立

八、天氣豫報

九、ラヂオ體操

愛慾の窓 (111)

戸川貞雄作　淺枝次朗畫

結婚 (一〇)

花環や花束や島臺や、その他華やかな祝物のなかから、ぬつと姿を現したのは、龍吉であつた。青ざめた顏、きつと引歪めた唇、殺氣を湛えてゐる眼、彼は愕然に眼を瞠つたまゝ啞然としてゐる英輔の前に突つ立つと

「……おい！姉さんを返せ！」

と一言、低くしかし鋭く叫んだ

「……君は龍吉君だね、何しに來たんだ！僕は君なんかに會ふ理由はないんだ。さつさとこの部屋を出てゆけばよし、でないと僕はこのベルを押して人を呼ぶぜ。呼んで君をまた警察の手に引渡すぜ」

英輔は虚勢を張りながら、龍吉の前に立ちなほつた。後に倭文子をかばふやうにして。

「……勝手にしろ！だがその前に姉さんを僕の手に返せ！僕はそのために三保の黨育院を脱け出して來たんだ！間にあへば、今夜の宴會を滅茶々々にしてやるところだつたが、間にあはなくて手前たちは助かつたのさ！おれはこつそりこゝへもぐり込んで、機會の來るのを待つてゐたんだ！さ、姉さんをおれの手に返してくれ！」

龍吉は一見給仕かと見える黒小倉の詰襟服の、ヅボンのポケットに兩手を突込んだまゝ、英輔の顏を白い冷たい眼で睨んだ。

「……姉さん、といふのは美知子さんのことだね」と、英輔はいくらかおちつきを取戻して、憎々しげに云つた。「僕は仁科美知子さんが何うしたか、何も知つてはゐないよ！」

「とぼけるな！色魔！金力や權力を笠に、貴様は幾人の女を汚した！弄んだ？おれは姉さんから手紙が來たんで、吃驚して飛んで來たんだ。姉さんは、貴様に弄ばれたと云つてきた！死ぬ！死ぬと云つて來た！死んだら、後の仇はよろしく頼むと書いて來たんだ！おれは場合によつたら、貴様を[illegible]覺悟で出て來たのだ！」

龍吉の聲には、奇妙なひゞきが籠つてゐた。それは英輔をおびえさせるのに充分だつた。その上、龍吉は、ヅボンのポケットから引出した左手に、ギラ〜〜光る拳銃を握つてゐるのだ。

「……さ、何とか返事をしろ！」

「僕、僕は……しかし、美知子さんにもしものことがあつたら、そりや大變だ。僕としたつてさう聞いちや捨ててもおけないよ！直ぐ何とか手配しなけりやア……」

と、英輔はおろ〜〜聲を顫はせたが、つと龍吉の側ちかく寄つてゆくと、囁くやうな調子で「……だが、今夜のところは勘忍してくれたまへ！もちろん直ぐ君の姉さんの安否は調べさせることにするが、今夜は君も草野君のところへでも引取つてくれないか、頼むよ！」

さう云ひながらそつと龍吉の手に握らせようとするのは、二三枚の十圓紙幣だつた。

「……厭だ！今夜のおれは金を貰ひに來たんぢやアねえや！何だ、こんなもの！」

と、龍吉は掴ませられた紙幣を紙屑のやうに丸めると、絨毯の上に投げ棄ててしまつた。

「おれは姉さんの安否がわかるまで、こゝは動かねえ！殺されても動かねえんだ！」

龍吉は叫んだ。眼に一杯の涙が溜つてゐた。さう叫ぶと、彼は片隅の長椅子の上に、どつかと腰をおろしてしまつた。そしてまるで無邪氣な駄々子のやうに、手の甲で涙を押し拭ひながら、しく〜〜とすゝり泣きをしはじめた。

「……困つたな、龍吉君、僕は責任を以て美知子さんの安否は調べさせるよ。だから今夜のところはどうか穩便にすまして貰ひたいんだ」

英輔は、龍吉の子供らしい態度にいくらか氣易さをおぼえて、宥めるやうに云つた。

「……僕たちはね、もうそろ〜〜旅行に出かけなければならないんだからね。頼むよ、今夜のところは」

が、振向くと、いつの間にか倭文子の姿が部屋にはなかつた。英輔はさらに愕然となつて顏色を變へた。

滿日文藝

滿日柳壇

「浮沈」　丸角卯木人選

浮き沈み浮き世へなすりつけて濟み　同
どうかして浮いて見ろふが又沈み　白山
盥舟くるりとかへり又沈み　同
七轉び八起きでやつと息を吐き　白山
命禍へ嫁づく娘を伏し拜み　滿州坊
やけ酒を飲むで身の上話なり　思水
緣談に娘浮いたり沈むだり　鈴子
沒落の悲運が見舞ふ三代目　爲捷
零落のそれも浮き世と負け惜み　萬之助
亡命は隣家に見る去年の夢　水母
昔日の面影もなく三等車　同
泥水の足を洗つて玉の輿　同
潜水艇浮むだ時に息を吐き　牧童
水泳の選手妙技に浮き沈み　榮丸
好況と不況浮沈の綾を織り　白雲

五客

ありし日の豪華を偲ぶ門に立ち　鈴子
おちぶれて昨日の緣者通り過ぎ　爲捷
質受けの晴衣漸く浮き上がり　萬之助
海女春の陽を浴びて又沈むなり　一星
刎ね釣瓶一つ沈むと一つ浮き　不孤
浦島は龍宮へ來て夢が醒め
浮き沈みある世を漫畫家は茶化し

人　大連霞町　高柳桂馬
全盛の時代に上げた石燈籠

地　大連霞町　海名水母
落魄された恩へ二度目の褄をとり

天　大連市霞町　長谷川溪聲
相場師の妻派手になり地味になり

軸　吟
肩書をみんな削つて居喰ひする
賣つた山畦に踏むで國を去り

新刊紹介

▲世界美術全集（第三十三卷）歐洲近代（未來派、ダダ派、表現派）と明治大正（文展後期、院展、國展、帝展、時代の逸品が網羅してある（東京市麹町區下六番町一〇平凡社發行豫約品）

▲シャーロックホームズの冒險（世界探偵小説全集第二卷）ボーミヤ王宮事件その他コナンドイルの面白い作品十一篇を收めてゐる（東京市麹町區下六番町一〇平凡社發行、豫約品）

▲新興國民の武器簡易保險のパンフレツト

▲東洋貿易研究（第八卷第九號）大阪市北區中の島大阪市役所産業部調査課發行、定價金卅五錢

▲教育時論（千五百九十三號）東京市麹町區三番町六三開發社發行、定價金十八錢

夕刊
滿洲日報
九月二十五日
發行所　大連市東公園町三十一番地　株式會社滿洲日報社

不戰條約と調和のため聯盟規約改訂案を作製
明年四月迄に佛國で委員會
聯盟總會の重大決議

【ジュネーヴ二十四日發電】本日の聯盟總會は聯盟規約と不戰條約の調和を取るため左の如き重大なる決議案を可決した

一、聯盟事務局總長ドラモンド博士は同趣旨を徹底せしむるため必要なる聯盟規約改正に關する提案を各締盟國に通告すること

二、聯盟理事會は聯盟規約を不戰節約に調和せしむるため必要なる規約改訂案を報告せしむる目的で十一名より成る委員を任命し一九三〇年四月以前にフランスに於て會合せしむべし

軍縮小委員會の報告採擇

【ジュネーヴ廿四日發電】本日の聯盟總會はポリチス決議案を含む聯盟總會軍備縮小委員會の報告を滿場一致で採擇した

軍器輸送監理協約に調印

【ジュネーヴ二十四日發電】聯盟總會英國代表セシル卿は英國は今日まで死文に等しかつた國際的軍器輸送の監理に關する聯盟協約に調印することに決した旨聲明した

反蔣擧兵に對して西北軍の策應困難
軍需品缺乏せるため

【北平廿四日發電】馮玉祥氏麾下の西北軍が張發奎氏の反蔣擧兵に策應すべしと傳へられてゐるが、確なる消息に依れば馮軍は現在軍費、武器、食糧共に極度の窮乏を告げつゝあつて有力な南京軍に對抗すべくもなく、一方山西軍も手を出さず南方時局が北方に波及することは當分なかるべしと見らる

聖上陛下鹿島神社御參拜

【東京十五日發電】天皇陛下には來る十一月茨城縣下に於ける陸軍特別大演習御統裁を終らせられてより、官幣大社鹿島神社へ御參拜あらせらるゝ旨御內意があつた

閻馮兩氏は十月下旬渡日か

【北平二十四日發電】昨日太原より歸平せる奉天代表葛光廷氏の談に依ると閻馮兩氏は十月下旬渡日の豫定で目下準備を進めて居り南方時局の變動如何に拘らず實行さるべく隨員等も人選中で葛氏も同行すべしと

反蔣運動の擴大は露支の紛爭を緩和
奉天當局の對露態度漸く軟化
哈市支那官邊の觀測

【ハルビン二十四日發電】當地支那官憲は奉天當局の命に依り監禁中の赤露人百六十名中婦女子五十一名を既に釋放し共産黨員三十八名を裁判に附しロシアの對支武力行動の緩和を圖らんとしてゐるが右は

一、露國の頻々たる國境砲擊
二、國境封鎖に依る東鐵の減收
三、奉天、吉林兩軍の北滿移動に依る地方民負擔の增大と大洋票暴落に因る金融界空前の紊亂を來し東三省は財政的危機に直面す
四、南京政府の干涉に基いて起つた官界の南方勢力排斥機運の醞釀

等に因るものとされ、張學良氏も背に腹は代へられず此難局を打開するため一氣呵成に露支紛爭の局部的解決を切望してゐると、從つて南支に於ける反蔣聯盟の擴大は露支紛爭の加速度的解決の重要なる素因を作るものであると傳へられてゐる

勞農に壓迫され支那領事館閉鎖
哈府を辛じて脫出して來た領事館員吳氏の談

【ハルビン特電二十五日發】九死に一生を得て脫出して來たハバロフスク駐在吳支那領事館員は廿四日ハルビンに到着し北平ホテルに入つた、氏は語る

勞農の壓迫は極端に行はれ七月中旬から通信交通は一切封ぜられ全く孤立狀態となり二十日遂に領事館を閉鎖して脫出したが浦鹽經由は勞農側で許さぬので黑河に出で同地で一ヶ月滯在してゐたが脅かされて居堪らず本月上旬出發チチハルを經て今日哈爾賓に到着したのである

尙ブラゴエ、ハバロフスク支那領事館は勞農の壓迫の爲め閉鎖し館員も二十二日全部ハルビンに引揚げて來た

內蒙古各王族が獨立の陰謀
東北省當局重大視す

【奉天特電二十五日發】露支關係に乘じ近來內蒙古における各王族は獨立陰謀を畫策しつゝあり、殊に庫倫方面に於ては公然東北省當局に反對の擧を上げ東北軍の國境出動を暗々裡に牽制するものあるため東北省當局では時節柄相を詳細に調査する必要を生じたので張學良氏は五十名の密行探偵隊を組織せしめ庫倫方面に派遣したと

「滿洲報」紙の不買同盟を告示
不利益な記事を載せた爲
哈市濱江總商會で

【ハルビン特電二十五日發】支那新聞東三省商報は報じて曰く「時局の影響を受けて仲秋節には多數の倒産者がある」と尙これを滿洲報が轉載し十分の四まで大損害を受けてゐると捏造したので濱江總商會では捏造記事として不買同盟の告示をなした、尙之に類する記事を載せる外人經營の新聞にも及ぼすものと見られてゐる

米國領事視察

【ハルビン廿四日發電】ハルビン駐在米國領事ヘンソン氏は本國政府の訓令を受け東西兩國境に於ける赤露軍の支那國境砲擊狀況を視察する爲め本廿出發したが、アメリカ人活動寫眞技師、新聞記者七名も同行した

勞農は飽迄戰爭回避
ウ委員長演說

【モスクワ廿四日發電】ロシア陸海軍人民委員長ウオロシロフ氏は本日ボグルイスク市に於て演說し

鐵嶺の日支兵衝突事件寫眞

（上は命令を待つ我守備隊、下は押收した公安隊兵の武器と彈藥）

太平洋問題調査會にて論議される滿洲……(4)

◆…今日とそして明日の全支を通じて、紅の進運にたなびかした、大きな文化地帶を求めやうとするならば、それは上海を基點として擴がる揚子江の文化と、もう一つは大連を基點として滿蒙の奧に伸びてゆく鐵道の、その脊髓骨に附隨して生れる新社會の文化と云つたものであらう。

◆…「滿蒙は鐵道から」此言葉こそ茲十年前から、そして今後十年にかけての、我等の合言葉であらうと斷言し得らるゝ程、それ程滿蒙の延びゆく鐵道のすがたは、今や新しい天地を語る第一のものとなりおほせてゐる、そして此延びゆく鐵道を中心として塗り代へられつゝある滿蒙を見る者は、既に本陳な滿蒙問題を實りもゝとする、觀念的滿蒙開發論者諸君の言葉になかつた新しい事實を見るであらう。

◆…筆者は曾て滿蒙十五鐵道の概觀を敍するに當つて、こうした序言を述べたことがあつたが、之らの言葉は決して主觀的獨斷ではないと信じてゐる。

◆…此篇に於ては鐵道の發達に伴ふ人口及び産業の伸張と、鐵道によつて惹起されたニコラス・ルーズベルトの所謂國境鬪爭等々は後廻しとして、たゞ鐵道自體の進展を述べやう。

◆…まづ滿蒙鐵道の俯瞰圖を示して見ると

區分	鐵道	哩程
(一)日本所有及び經營	南滿洲鐵道	六九一、七哩
(二)日支合辦經營	金福鐵道	六三、七哩
	天圖輕便鐵道	六九、〇哩
	溪城輕便鐵道	一四、九哩
	小計	一四七、六哩
(三)日本の借款及請負鐵道(支那經營)	四洮鐵道	二六六、三哩
	洮昂鐵道	一三九、九哩
	吉長鐵道(日本委任經營)	七九、七哩
	吉敦鐵道	一三一、〇哩
	小計	六一六、九哩
(四)露支合辦	東支鐵道	一〇七七、六哩
(五)支那側鐵道	京奉鐵道(奉天、山海關間)	二六二、〇哩
	京奉山海支線(打通線)	一五六、三哩
	瀋海鐵道	一九九、四哩
	吉海鐵道	一一四、四哩
	呼海鐵道	一三七、九哩
	開豐輕便鐵道	三九、七哩
	齊克鐵道	一九、九哩
	齊昂輕便鐵道	一八、〇哩
	小計	九四七、六哩
合計		二四八一、四哩

尙東支線に連絡せる穆稜炭礦鐵道(小城子、梨樹鎭間三七哩四)と鶴立炭礦鐵道(蓮花口、興山鎭間三四哩九)等はこゝでは特殊鐵道として包含しないことゝした。

◆…一九一〇年迄の滿蒙鐵道圖は北を橫に走る東支と、縱を往く滿鐵と、京奉を繋ぐ線の點綴なる三本の線に過ぎなかつた、然るに一九二九年の今日は既に十七の鐵道が敷かれてゐる、しかも此の鐵き天地にこれだけの鐵道で十分であり得やう筈はない、其證左には未成鐵道のいかに多く企圖されつゝあることか、展々として伸びる滿蒙の鐵道網、明日の滿洲は既に鐵道によつて華やかな先驅的光明が點ぜられつゝある。

◆…さて此等滿蒙の諸鐵道の歷史を摘記して「鐵道は何を齎したか」を見やう。

南滿洲鐵道　一九一〇年迄の歐露を繫ぐ東支と、京奉を結ぶ線とそして滿鐵と云つたものが滿洲を支配してゐた交通路であつた、しかし乍ら吉長、四洮と引きつゞき交通網が張られ、最近は明治三十八年十二月締結の日清滿洲善後條約「滿鐵並行線拒否に關する條項」さへも無視して現はれた京奉山海支線(打通線)吉敦鐵道と云つた諸線が出來、更に吉林、奉天、齊々哈爾の三都連絡が完成し、海港通出路へ結ばんとする[illegible]がた、滿鐵の鐵道戰線は支那問題ばかりでなく露と既に火ぶたが切られた感すらある、かくして吾等は新しく南滿洲鐵道を見直す秋が來てゐる。（一記者）

朝鮮博觀光團出發第二回は廿九日に變更

二十六日出發の筈であつた第二回朝鮮博觀光團は二十九日出發の第三回加入希望者多きため第二三回を合併して二十九日午前九時大連驛發の急行で出發することにした、同組參加希望者はこの際至急團費三十五圓を添え申込まれたい、旅行中の待遇、京城に於ける觀光箇所等は第一回と同樣である。

滿洲日報社

太平洋會議の奉天代表

【奉天特電二十五日發】張學良氏は豫てより、秋京都に開催の太平洋會議の奉天側代表として適當なる人物を銓衡中であつたが十八日左の三氏を任命することに決定、直に上海に在る支那側總代表余日章氏宛此旨通知したと

東北大學　周天放
Y・M・C・A　閻玉衡
商務印書館　蘇上達

露支問題につき

ロシアは極東に於ける紛爭につき戰爭に引入れられる事はなからう支那は我等を戰爭に引込むべく屢々試みたが我等は其手には乘らない然し支那人及び白露人の國境侵入に對しては絕えず擊退しつゝある

と述べた、尙東洋方面よりは依然支那兵白露兵のロシア國境侵入暴行等の報道到着しつゝある

太田長官初巡視
あす大連各方面を

太田關東長官は二十六日大連市各官廳、滿鐵の初巡視をするが豫定左の如し

△午後零時半旅順發△一時半取引所視察（後場の狀況を約三十分）△二時水上警察、海務局及び埠頭ビルより大連埠頭展望（三十分）△二時三十分滿鐵本社訪問△三時遞信局（三十分）△三時大連警察、地方法院、檢察局午後四時ゝ旅

節約運動に猛進し特に禁酒宣傳に努める
浪費のための職業婦人の增加は遺憾
滿洲講演行脚の守屋東女史談

◇守屋(左)千本木兩女史

婦人矯風會理事守屋東女史及び婦人社會事業家として世界各國の婦人社會運動に通曉せる千本木道子女史は滿鐵沿線各地講演の爲め廿五日入港のばいかる丸にて來連した船中に訪へば守屋女史は語る

今度は講演攻めで二十九日迄大連に居ますが、沿線各地を巡回講演してハルビン迄行き來月二日頃歸京の豫定です、緊縮時代にあつて婦人社會運動の狀勢も追々堅實化する傾向がありますが、又一方後援者が夫々資金支出を切詰めるので社會事業家は可成り經營難に苦しんで居ます、去る十三日に百餘組の矯風會始め各婦人團體百七十餘名が濱口首相と官邸に於て會見し內相、藏相も列席して忌憚無く種々質問しましたが、結局全員協力節約に猛進する事に決し別れました、私は其後直ぐ東京を離れた爲め其具體的方針に就てはどんなに進んで居るか存じません、職業婦人の激增については婦人の社會的經濟的進出として見るべきでありますが、彼女等が必須な生活費の爲と言ふよりも

浪費の爲　職業を求める

傾向が見えるのは遺憾です、特に時に女給が多くなつた事についてはカフエーの激增從つて女給が多くなつた事については男子にも一半の責任ある事で經濟的餘裕の爲彼等が結婚出來ず其爲め此手輕な享樂に鬪を要求するからでせう、然し我等が永年主張し最も重大なる禁酒運動に就ては飽く迄も貫徹する意思で各地での講演も之が目的ですが彼の二十五歲

禁酒法案

は酒屋さんも是し反對せず我等は極力宣傳する爲め澤柳博士のパンフレットを全國に配布しますが是が資金約一萬圓を要し當地の皆樣も何卒宜しくお力添願ひます

と何々如才が無い

婦人運動の傾向其主力を平和に
千本木女史のお話

千本木女史も中腰に出て來たが女史は語る

現下の婦人運動は其主力を平和運動に向けられた傾向があります、鐵と血の暴れ狂ふ戰爭の爲に幾萬の愛兒を奪はれて了ふ母の心としては當然でせう、近來各婦人運動が組織され而して實行的になりつゝあるのは喜ばしい事と思ひます、特に此點アメリカ婦人等に於ては活動的です

人事

▲守屋東女史（婦人矯風會理事）二十五日入港のばいかる丸にて來連市內西公園町同安方へ
▲千本木道子女史（社會事業家）同上
▲高島愛子孃（元映畫女優）同上
▲秋山權輔氏（東京實業專門學校教授）外一行七名同上ヤマトホテル

テルへ
▲太田信三氏（小林印刷店主）同上歸連
▲大分縣玖珠農學校鮮滿旅行團一行六十七名　白岩教諭引率の下に同上來連
▲本多光太郎氏（東北帝大教授）旅順工科大學に於て鐵工學講義の爲同上ヤマトホテルへ
▲森川照太氏（京津日日社長）廿五日入港のばいかる丸にて來連
▲高橋勇氏（正隆銀行常務）同上歸連
▲梅田潔氏（會社員）同上來連
▲內田國一氏（三菱商事會社員）同上
▲永山旅順市長　廿五日大連往復
▲岩永浩氏（哈爾賓文化協會）二十四日來連
▲菅野福一氏（關門日日新聞東京支社）同上

大觀小觀

時は秋、膽は熟せり。支那また大に亂れんか。
◇
勞農の狙ふところも、恐らくはその邊ならん。
◇
だがしかし、支那の新舊軍閥、疲弊に疲弊を重ね、さすがの馮玉祥すら、金に窮して手の出せぬ有樣。
◇
初めから極ばさまりの奉天政權邊疆への出兵は結局、出費。奉天票とはモノをいはず、哈大洋さへドシ〳〵と遠慮なく下落。
◇
北滿の秋風は既に寒く、赤露との對峙も少しく倦怠の氣味。
◇
そこで露鼎大膽の決死隊から續々と逃亡者を出すとは支那ならでは見られぬ圖。
むら雀、案山子の弓に飛んで來ろ。

天氣豫報

（二十六日）北西の風曇後晴、但し處により驟雨模樣あり
日出　五、四三　日沒　五、四六
滿潮　午前一、三五　後一、四五
干潮　午前九、二五　後九、〇

各代表玉串を捧げ 勇士の英靈を祀る
嚴かな秋季招魂祭
けふ中央公園の忠靈塔前で

恒例の大連秋季招魂祭々典は中央公園忠靈塔前に官民知名の士續々と參集し午前十時半より嚴かに執行された、即ち神式にて修祓、齋主降神奉仕、供饌、齋主祝詞、齋主玉串奉進等、次を追うて寂として聲なく此の間各學校、軍隊、在郷軍人會等を初め各團體の參拜ひきもきらず、次で石本祭典委員長遺族總代、厚東現役軍人代表、田中民政署長、大平滿鐵副總裁、岩井在郷軍人聯合分會長、傷兵會代表、恩田市會代表、村井商工會議所會頭、張大連華商公議會代表、龐小嶋十華商公議會代表、一般參拜者代表等玉串を奉つて拜禮し齋主昇神の奉仕あつて同十一時嚴肅に祭典を閉ぢた【寫眞は祭典】

閣僚の俸給 率先し一部辭退
高等官も之に倣ふか
濱口首相も贊成し愼重考慮

【東京二十四日發電】濱口内閣の緊縮節約方針に對し二、三都市の市長、助役等は既に其の俸給の幾分を辭退しつゝあり、東京市でも堀切市長は之を實行せんとしてゐるが一方官吏の俸給が高過ぎるから之を引下げよとの說が政黨方面にぼつ〳〵起りつゝあるに鑑み現内閣の閣僚中には先づ閣僚より率先して

國庫より 受くる俸給の幾分を辭退すべしとなす者があり、濱口首相も内心之に贊成し何時でも之を斷行するに吝でないとして居る模樣であるが只閣僚として之を實行する以下政務官以下の官吏は總て之に倣ふべく政務官の之に倣ふは可とするも一般官吏を之に倣はしむるは强制すると同樣の結果となり面白からぬ影響を與へるので愼重考慮中であるが、眞面目一方の濱口首相の事であるから結局

斷行する に至るべく一般官吏も高等官三、四等以上位は之に倣ふことゝならうと

朝鮮疑獄の東京移管を協議
けふ最後の方針決定
京城の永尾檢事正も上京し

【東京二十五日發電】目下朝鮮京城地方法院檢事局で取調中の肥田理吉の詐欺事件を東京に移管して取調べるか又は全然事件を分割して取調べるかは山梨前總督の身邊の紛糾を朝鮮で摘發するか東京で處理するかの重大案となつて來たが二十四日午後の司法部巨頭會議で之を主として此の點の取扱上に關し協議したもので折柄上京中の中野京城檢事局次席檢事及び二十五日上京することになつてゐる永尾京城檢事正の着京を待つて二十五日小山松吉東京檢事正も加はり最後の重要協議をなす段取となる模樣であるが、此の會見で肥田を東京に護送するか否かを確定する譯で東京と朝鮮とは法律上の性質が違つてゐる關係上簡單には處理し難く前途なほ困難が橫たはつて居り山梨前總督の召喚も從つて此の以後になる模樣である

滿洲俱樂部 京城遠征
廿六日朝出發

滿洲俱樂部野球選手一行十六名は中澤監督に引率され二十六日朝大連發の急行列車にて京城に遠征二十九、三十の兩日朝鮮鐵道局と定期戰を行ひ、十月三日より朝鮮博覽會の附帶事業として行はれる野球大會に出場する事と決定した、尚同大會には全東京參加の噂もあり、滿俱側は濱崎、永澤兩氏が勤務の都合上參加不能となつた故相當の苦戰は免れ得ないであらう、選手氏名次の如し

▲投手兒玉、山口、青山、藤枝 ▲捕手片岡、廣津、福山 ▲内野手正田、南條、花満、吉野、小松 ▲外野手綠川、宗正、井上、長澤

寫眞家一行 けふ來連
各地で撮影

滿鐵情報課の招聘に依り滿鐵沿線各地を撮影して廻る東京寫眞專門學校教授秋山轍輔氏外一行七名は二十五日入港のばいかる丸にて來連したハルビン迄行き約十六日間の豫定だと【寫眞は一行】

子、佐々木光枝、水野扇太郎、橋田愛子、中村一豐、吉田豐、岡本忠夫、脇田定雄、中西忠兵衞、岡島丈夫、鈴木保二、田中千里、小山佐太郎、弓澤甫明、安富アヤ、阿部恒陽、山城久能、山本滿勝、渡邊郁子、柏原澄子、佐藤謙一、山崎齊、旅順 吉川寅雄、板倉治子、橋頭 高橋美智子

早廻競走の所要時間入賞者
適中者は一名もなかつたが
僅か二秒違ひが一等

本社主催の市内電車バス早廻り競走所要時間懸賞豫想投票は應募數五千三百五通に達し審査の結果當日の實際所要時間たる三時間五十八分五十二秒の適中者は一名もなく三時間五十八分五十秒の高橋悟君が二秒違ひで一等となり、八秒違ひの五十九分中から抽籤で二三等を決定、その他は何れも五十八分の五十二秒違ひで四五等を決定した、當選者に對しては明日中に當選通知狀を發するから右通知書引換に本社に出頭受取られたい地方の分は本社より直送する

一等賞(銀側腕卷時計)
大連市眞金町十二ノ五ノ四 高橋悟

二等賞(クローム側腕卷時計一個宛)
大連市文化臺一〇〇藤井方 安藤文芳
大連市大和町二六ノ一三九 中村トシ子

三等賞(シャツ一枚宛)
大連市櫻花臺三三 山本平吉
大連市若狹町五ノ一五四 田中キク
大連市聖德街一ノ一七六 佐藤彰

▲四等賞(シャープペンシル一本宛)大連 馬見塚仙平、山本英子、西村軍次、川岸寅之介、德永秀男、原田岩太郎、赤根記一郎、森原淳夫、廣本泰二、濱田達、石橋勝喜、佐知隆、白井喜伊藏、成宮重雄、岩崎亭、齋藤春次、松岡薫、井上タキ、松岡洋子、旅順 伊豆大

▲五等賞(クレイヨン一箱宛)大連 中山声雲、原田岩太郎、松山、湯原芳夫、小手川清次、二方笑一

世界野球戰近づく
勝味はシカゴ・カブスに多い
必勝を期すマツク氏

【シカゴ廿四日發電】アメリカンリーグの覇者費府アスレチックスとナショナルリーグの勝者シカゴカブスの兩チームが世界野球選手權爭覇の第二十五回ワールドシリーズの初試合にシカゴリグレー球場で相見える事になつた

■ ■

野球界尊敬の的となれる費府のマネーヂャー、コンニー、マックは一九一四年のセリーズに連敗を喫してから始めて再び此の大舞臺に乘出して來たものである

■ ■

此れに對するカブスは一九一八年秋のセリーズにアメリカンリーグの覇者ボストン軍に四對二にて敗られてから始めてゞ此の兩雄の勝敗の豫想は果して如何

■ ■

下馬評はシカゴにやゝ步があると言はれており、六十五歲のマックの希望も空しくなるものと見られてゐる、アスレチックスはフオックスシモンなる强打者を擁し又二壘のビショップも輕快な好打者である、費府のシモンスは兩チーム一の外野手と言はれてゐる

■ ■

カップス軍ではリーデングバッタ―、グリム、スチブンソン兩選手が此の勝負傷癒えて復活したとは言へ今春來のハーネットの不出來は打擊であらう

■ ■

ウオールドシリーズ試合はシカゴで一回費府で三回、尚勝負の決しない時はシカゴと費府兩市で分けて行はれる

形勢險惡な三業組合の總會
愈よ組合規則改正を
あす午後扇芳亭で協議する

大連三業組合が最に大連署へ提示した組合規約の改正案は組合役員が勝手に改正したもので組合員全部の意思を尊重し總會に計つたものでないと云ふ理由から組合同志會側で反對あり、大連署へ陳情したので原田保安主任は今月始め組合に對し右規約改正に就き臨時總會の開催を命ずる處あつたが、組合役員側は形勢不利と見て名を溫習會開催の準備に藉口、在再日を延ばしその間反對側である同志會の切り崩しにかゝつてゐたが、勝算成つたものか愈々二十六日午後一時から扇芳亭において開催する旨大連署に屆出て來た、併し同志會側には頗る强硬意見を有する者あり、相當波瀾あるものと豫測されるので當日は大連署からも特に原田保安主任並に高等特務一名が立ち會ふ事になつてゐる

けさ飄然と高島愛子孃來る
十日ほど遊んで歸る

かつて映畫界に、活動女優として其の名を唱はれた高島愛子孃が、唯一人で突然何の前ぶれも無く本日入港のばいかる丸で來連した黑い帽子に黑い服、昔の華やかなりし姿に引かへて餘りに地味な彼女の姿に、同船の人々すら氣附いた者は少ない樣であつたが、其のすらりとした體格と薄化粧した美しい顏とは人々の目を惹いて居た、大連港の景色に見入り乍ら愛子孃は語る

私の參る事がよくおわかりになりましたね、どなたにもお知らせしたかつたのですが……漫然と十日程遊ばせていたゞくつもりです、別に何も用事と云ふ程の事はないのです、映畫界からは全く手を引いて居ます、もう一年になりませう唯今は遊んで居ます銀座の洋服店ですか、あれは唯女優を止める宣傳に使つただけなのです、お友達のお宅に泊めていたゞいて大連の附近だけをよく見せていたゞくつもりです(寫眞ははいかる丸上の高島愛子孃)

刺身庖丁で咽喉を掻き切る
哀れ老人の自殺未遂
死にきれず苦悶中發見さる

二十四日午後十一時三十分ごろ大連土佐町五五島津熊次郎かた無職長廣佐八(七三)は家人の寢靜まるを待つて勝手元に到り茶碗酒をあふつた上炊事場の刺身庖丁を持ち歸り自室六疊の間に端坐し自分の咽喉を掻き斬つて自殺を企てたが死に切れず苦悶中を家人に發見され山縣通り唐澤病院に收容されたが原因は不明なるも本人は熊次郎妻キヨの實父で生活豐ならざる處に本人の外子供まで居候してゐる爲め家庭的に面白からず常に悲觀し厭世の結果ではないかと云はれ、また一面には發作的に精神異狀を來した結果ではないかとも噂されてゐる

某前閣僚に關する犯罪の確證擧る
近く檢事局に召喚か

【東京廿五日發電】司法省では廿五日午前十時より大臣室にて渡邊法相、小原次官、泉二刑事局長等參集重要協議をなした結果、渡邊法相は同十一時五十五分首相官邸に濱口首相を訪ひ某々事件に關し愈々某前閣員に對する犯罪の確證が擧がつたので之が檢擧のため一應は裁可の手續きをとるため首相と協議したもので此結果某前閣僚は二三日中に檢事局に召喚されるらしい

埠頭ビルの漏電小火
けさ三階で

過日大火を起して未だ修繕中の埠頭ビルに二十五日又も小火があつた、同日午前六時二十分同ビル三階滿鐵庶務課タイピスト室にボーイ丁開山(二〇)が掃除せんと入つた處室内天井電燈附近の假設電線から漏電して青火が燃えて居り大騷ぎとなり折柄來合せた木野新司(二…)が電線を絕斷して電線を切斷したので同六時四十分鎭火事無きを得たが再三の漏電失火に怖れられてゐる

不具を種に金錢强要
浮浪者を檢擧

大連常盤町一七社會館止宿元土木請負業藤原平太郎(五二)同大西惣十郎(五三)および沙河口西町三一門場かた同居元土木業草野洪(四七)の三名は二十四日午後二時ごろ藤原の不具者なるを奇貨とし美濃町九一材木商早野重右衞門および同町九七藥店北村リウかたに赴き同情金の惠與を需めた外數軒から約五十圓の同情金を强制した事判明二十五日大連署に檢擧された、最近市内には斯る手合の浮浪者多く金錢の强要を受けた際は早速屆け出て貰ひたいと

横斷飛行詐欺
兒玉は喰せ者

【サンフランシスコ廿三日發電】太平洋横斷の壯擧を發表した兒玉仙平は過去一年に亘り在米同胞より二萬餘弗を集めたが之を費消し現在手許には二百ドルしかなく飛行機を注文したとは僞りで飛行會社とは何等の契約無く全く太平洋横斷飛行の美名の下に在留同胞を喰物にしてゐたことが判明した

演藝館で金庫盜難
犯人は下足番

二十三日午前七時三十分頃大連近江町二活動常設館演藝館事務所では現金四十圓在中の中型手提金庫を何者かに竊取された旨屆出でたので大連署では刑事や鑑識係が出張し捜査取調た處犯人は内部の者と睨み有力なる容疑者同館使用下足番人李樹棠(二〇)を引致科學的調査の結果右に相違なき者と判明した

同人は本犯罪の外金時計金指輪等多數竊取した事も自白し目下取調中である

支那婦人が運轉手志願

沙河口署へ廿四日最初の中國婦人の自動車運轉手受驗出願者があつた、この婦人は沙河口元町一二八滿洲自動車講習所にて修業した旅順管内王家屯會龍王塘屯廿五番地于孔氏六女于鳳英(一九)にて水師營公學堂高等科を卒業した妙齡の美人であると

藤田畫伯歸朝

【東京二十四日發電】パリーに於ける一流の畫家として名聲を馳せ日本の爲めに萬丈の氣を吐いてゐる藤田畫伯は二十四日午前十時半雪子夫人(佛人)同伴十七年振りで歸朝帝國ホテルに入つた

實業團撫順へ

大連實業團野球選手一行は(確なる人數未定)全撫順の招聘に應じ來る二十八日夜大連を出發し二十九日撫順にて全撫順と一戰を交へ即日歸連する事と決定した

見切品大賣出し

▲浪速町鈴木呉服店は二十三日から二十七日まで多衣の見切り大賣出しをするが品質が良くて低廉な事は同店の特別奉仕であると

▲磐城町のラクダヤ大店は二十五日から三十日迄一年一回の願ざらへ大賣出しで季節向の毛糸、服地及既製品等掘出物豐富であると

●…●…●…●…●

青葉フルーツパーラー 市内奥町裕泰洋行に永年勤續せし井上重明氏は今度獨立して市内大山通り十四番地正隆前に店舖を設け果實類洋菓子西洋草花の販賣とフルーツパーラー(果實食堂)を開業したフルーツパーラーは滿洲に於ては始めての試みで家庭本位のものなれば一般より多大の好評を受けるだらうと

本社見學

周水子小學校生徒九十三人は野尾毅藏氏外四訓導引率の下に廿五日本社を見學した

株式名義書替停止公告
當社定款ニヨリ昭和四年十月一日ヨリ定時株主總會終了ノ日迄株式名義書替ヲ停止ス
昭和四年九月二十四日
南滿洲倉庫建物株式會社

大連關告示第三九〇號
來ル十月一日ハ大連神社秋季大祭ニ付正午ヨリ閉廳ス十月十日ハ中華民國國慶日同十七日ハ神嘗祭ニ付閉廳ス
右告示ス
昭和四年九月二十四日
大連關稅務司 北代眞幸

特產出廻り豫想と各銀行貸出方針
大體昨年と變りはない

久しく閑散狀態にあつた當地金融市場は昨今漸く四平街、公主嶺地方から新豆走りが出廻りかけて市況やゝ活氣を呈し各銀行では特產資金の貸出準備に忙しい、當地金融界の實狀は金融緩漫で、寧ろ金利低下を示して居るけれど、財界の前途に金解禁を控へて寧ろ金利は騰貴の傾向にあり、繁忙期に直面して各銀行の態度は頗る注目に値する、特產出廻り豫想及び貸出方針につき各銀行の意見を叩いて廻れば——

短期確實だ心配はあるまい
朝比奈正金副支配人談

今年の特產界は露支紛爭によつて浦鹽港が杜絕してゐるので、それだけ特產物が南下するものと豫想される、殊に先達つての降雨で

◇出廻期　が餘程はやめられた模樣で、現に荷爲替の取組が日々に增加しつゝあり、非常に有利な事情にあるが前途に金解禁を控へてゐるのでどんな事情が起らぬとも限らず一概に樂觀出來ぬがこの難關さへ善處すれば今年の特產界は頗る活況を呈するものと見てゐる、貸出金利でずか?解禁の結果正貨が流出し、內國通貨が收縮さるれば理論上內地の

◇金利が　上るだらうから大連も自然これに追隨するもの思ふ、しかし特產資金は最も短期であり確實であるから上るとしても大したことはあるまい、銀資金は私の方が鮮銀行でもあるから充分考慮するであらう

特別の手控えなどはしない
◇……鮮銀井口副支配人談

金解禁を控へて特に特產資金の貸出を警戒するといふやうなことはない、しかし解禁によつて起り來るところの

◇影響に　對しては充分の警戒を行はねばならぬと思ふ、世間では政府の政策と合致するやう鮮銀が鮮銀券の收縮を行つてゐるから自然貸出方面を手控へるであらうと見てゐるが、目下のところそんな政策は斷じて執つてゐない、殊に本年は露支關係で、南滿特產界の活況を豫想されてゐる折柄ひてこれに逆行するやうな方針は執らぬ考へで、特產資金に限らず確實な

◇投資口　があればドシドシ貸付ける方針である金利は昂騰氣配にあるが、之も手心を加へるといふ程度ではないだらうか——。

奧地に對して相當に警戒す
◇…山本正隆支配人談

特產資金の貸出方針に對しては別に變更はない、しかし金解禁がどの程度財界に影響するかの

◇見解に　よつて幾分の手心を加へてゆかねばならぬだらう順序から云へば貸出金利は昨年より高くなるのだが、これも解禁の結果、正貨がどれほど流出するかによつて定る問題であつて只今のところ、金利引上げの方針も樹てゝゐない、浦鹽港杜絕で

◇大連港　を中心に賑ふであらうと期待してゐるが、何分奧地は時局關係で迂闊に貸出も出來ず、この點充分なる警戒が必要だと思つてゐる

特產資金には金利も響くまい
◇…滿銀長谷部取締役談

金解禁の結果、滿洲財界にどの程度の影響を與ふるか——これが特產資金の貸出態度を決する條件なんだが、一般の見るところでは肝腎の輸出は

◇銀安で　寧ろ有利となり輸入は支那人購買力の減退で一時不振を招來するとも特產界には影響はなかるべく、事業界にしても解禁の際で今日まで既に八分通りの影響が來てゐるから、これも今後の準備次第では打擊はなからう、斯く見て來ると一番問題なのは金利昂騰である、內地が上れば

◇滿洲も　これに追隨するであらうが、特產資金は普通貸出と異り條件が最も有利であるから大して響くまい、從つて貸出方針は例年と變りないといふ譯だ、事實滿洲の銀行が特產資金を手控へたのでは商賣にならぬからネ

南行運賃の値下げ請願
安達支那油房が

【ハルビン特電二十五日發】安達方面の支那側油房では浦鹽向け豆粕の輸送は洮昂線杜絕で見込みなく從つて南滿を選ばねばならぬから南行線も東行同樣に運賃を値下げして欲しいと東支管理局に請願した

年內解禁は恐らくなからう
歸連した高橋勇氏語る

業務打合せのため上京中の正隆銀行常務高橋勇氏は廿五日入港のいかる丸で歸連したが氏は語る上京の主な用件は東洋汽船の總會出席にあつたがそれも無事に濟せ、保善社に立寄つて仕事の打合せをして來たが、別段目新らしい話はない、內地財界は金解禁問題で盛んに騷いでゐるが政府の緊縮政策が徹底し、財界一般に引締つてゐる、內地では年內に解禁斷行と見てゐる向もあるが僕の見るところでは恐らく年內斷行はむづかしく、勿論春に持越すであらう

哈爾賓の金圓流通
八月中增加す

【ハルビン發】哈洋の暴落と何等直接の關係はないが、圓金の八月中流通高は七月に比して約三百萬圓以上の增加を示してゐると消息通は觀測してゐる、特にダリバンクの閉鎖により銀市場である哈爾賓により一層圓金の需要を增したことは瞭である
各外國銀行の八月末現在の預金帳尻は八百三十七萬二千圓餘で七月末の其れに比較すれば約二百十一萬五千圓餘の增となつてゐる、これは直に金融市場に於ける圓金流通額の總和とは勿論考へられないが、圓金預金口座の增加したことは瞭に其の需要の半面を立證してゐること丈けは事實と見てよいであらう
支那側銀行としても不安定な哈洋よりは金留の確實性に還元して幾分でも其の損失を免れる方法を講じてゐることは常然で、金の需要は寧ろ其の意味に於て支那側官憲筋の方が一般商人に比較して多い數字を辿つてゐるも哈洋の前途に對して危惧してゐることを裏書してゐるものであらう

哈銀調查終る
滿銀對哈銀合併のため審查調查中の吉谷滿銀審査課長は既に哈銀の營業狀態其他を調查し終つたが、朝鮮銀行の箱崎支店長が奉天に出張中であるため大連に歸任前箱崎氏と會見し鮮銀側の大體の意嚮を聽き直に歸連の由で多分廿五、六日頃となる由、今井長春支店長は廿三日南下歸任の管

一人一言
錦昌華工專務　高尾秀市氏

銀價の下落に伴ひ華工の勞働賃銀が低下の性質を帶びることは充分に考へられる、換言すれば彼等華工の實際上の收入は減少することにならう、然しながら當會社の根本方針は華工の衣食住を保證し安んじてその業に就かしむるにあるから、特別の事情ある限り相當の考慮を拂ふこと勿論である
▽——△
即ち日常生活に於て麥粉砂糖その他に對して市價より一割乃至二割方の廉價を以て供給して居るから假令實際上の收入が減少するが如き場合に於ては此等の事情に對し顧慮することを得るのである、所謂大家族主義の下に陽意なき意思の疏通を圖り協力して社業の發展に努力してゐる次第だ

海外米品の輸入關稅免除
【東京二十四日發電】アメリカ上院は海外に於て製造せられた米國の貨物で米國の商標を附し米人に依つて輸入せられたものは關稅を免除する案を投票可決した

爲替の急騰とこれが對策
四十八弗突破につき　井上藏相は語る

【東京二十五日發電】爲替相場は依然强調を續け遂に四十八弗を突破するに至つたが之につき井上藏相は二十四日左の如く語つた。
四十七弗五十仙位までの上り方は輸入の手控へ輸出促進に依る堅實な上り方であるが夫れ以上最近の五十仙程度の上げ具合は確かに思惑の爲めだと見てゐる此意味では三土君の批評も當つてゐると思ふ、思惑が入つたからすぐに正金をして買ひ動せしめるかと言つても夫れはさう簡單に行かない此の際買向はしめるかどうかかういふ細かい技術上の問題は正金のフロントに立つてゐる者に委せて置けば良い勿論爲替政策の大方針に就ては常に正金の報告に基いて過りなきやう期してゐるから今後とても買つた方が良いと云ふ事になれば其の時は又買向はしめる考へである

黃塵
◇…チヨット小高い所から見渡すと、大連市內は其處にも此處にも「新築々々」の景氣のよさ。
◇…一方目拔きの通りを散步して見ると、曰く半額大賣出し、曰く店仕舞ひ移轉の貼札。
◇…一たい、今の大連は景氣がよいのか惡いのか。
◇…建築の增加は銀安時代を覘つてのこと、藏浚ひ店仕舞ひの續出は金解禁準備のため?
◇…と、凡の目安はつけて見るものゝ同じ市內の現象だけに何んとなくチグハグな感じだ。
◇…爲替四十八弗を突破す。
◇…然し乍らまだ眞の解禁相場來と云へるか何うか。
◇…東電に依れば八弗臺になつたばかりで八弗臺維持に大藏、日銀、正金各當局努むとある。
◇…これは未だチト眉唾ものだ。
◇…今の所四十七弗半までは自然の騰貴、それ以上は思惑相場と見て居る井上藏相の談話と矛盾するからね。

鐵道部の經費豫算
廿六七日頃終了

來年度事業豫算查定を終つた滿鐵々道部では二十四日よりヤマトホテルに於て經費豫算の打合會を開催しつゝあるが二十六七日頃には終るであらうと見られてゐる

金解禁座談會
—(本社經濟部主催)—

「滿洲經濟界」を中心として（四）

出席者（イロハ順）

三井物產	石田禮助氏	朝鮮銀行	武安福男氏
錢鈔信託	伊藤久太郎氏	大連機械	高田友吉氏
大正洋行	大島甲槌氏	大連輸組	窪田忠雄氏
南滿鐵道	神鞭常孝氏	商議會頭	村井啓太郎氏
輸組聯合	神成季吉氏	同書記長	篠崎嘉郎氏

銀相場の前途

窪田。銀相場はどうです?
石田。八十圓位までは下るでせうな——
神成。現在の銀塊二十三片といへば底値に近いから金解禁で銀の底値を作ることにならう、結局はこれで支那輸出が盛んになり銀相場は下るより上る機會の方が多くならう

錢鈔市場では

石田。しかし錢鈔市場の打擊は免れぬネ
伊藤。そうです、だが爲替は解禁後も四十九弗臺に居据わつて絕對に動かぬものとは思はれない又多少下るやうなことも場合によつてはあると思ふ
村井。そりや多少の動きは……
伊藤。或は四十七弗臺まで……
(この時二、三の人、これに對し異口同音に「そんなことはあり得ない」といふ)

滿鐵事業緊縮

村井。滿洲では金解禁そのものによる影響よりも、寧ろ政府の緊縮政策が滿鐵の施設にどの程度の影響を與へるかの方が大きな問題だらう
神鞭。そうだ、滿鐵が社債で仕事をしやうとする場合についてはこの際相當考慮を要することになるだらうネ

昭和製鋼問題

村井。その意味で昭和製鋼所設置の如き差當り困難だナ
高田。だが、製鋼所の如き國家的事業は是非共やつて貰ひたいものである

滿鐵への希望

石田。この際滿鐵に希望することは外國品を見合せて自國品を使用することだなア
神鞭。無論、その方針です

銀安値と企業

神成。もう一つ滿鐵にお願ひしたいのは銀の安い時に滿鐵の事業を盛んに起して貰ひたい事だ
神鞭。我々もその方が有利だと思ふが、緊縮のこの際、然うもならず其の點些かヂレンマに陷つてゐる譯ですナ

運賃の引上げ

石田。どうです、君、我々商人が儲ける位は知れたものだ、いつそのこと滿鐵で運賃をもウンと引上げて××××××したら面白からう
神鞭。そうだネ、運賃を上げて儲かつた金は滿洲の事業投資に振り向けますかナハヽヽ、
神成。運賃が高くなれば日本の農家が困るだらう
石田。そりや、豆粕だけの問題だから大したことはない

輸入品の運賃

神成。輸出は兎も角輸入品だけは運賃を下げて貰ひたいものだネ高田。そそやそうだ、事業を起す

建築と利廻り

石田。鮮銀さんもそうだ
窪田。どうか、そうして貰ひたいナ、いつそのこと××だけの運賃を下げることにすれば……
神鞭。まさかそんな譯には行くまいが(一同哄笑)……まるで滿鐵座談會といふ形になつたナー(一同再び哄笑)

物價の安定期

大島。一たい解禁後物價が安定するまでには、どの位かゝるのでせう
村井。尠くとも半歲以上はかゝるものと見なければならない

購買力減退は

神成。まあソンな所だネ
伊藤。現在の購買力減退は季節的のものではありませんか
大島。しかし銀安が直接の影響でせう

銀安時の回收

神成。何にしても銀安の時に內地から低資の融通を仰いで仕事をせねば駄目だ、元來日本人は銀の高い時に金を散じ、安い時に回收する……
には今が一番有利だ、例へば家を建てゝも一割一分位の利廻りはある
(家屋建築、借家問題等につき雜談あり、暫しの後——)

小賣商の對策

大島。只今までのお話を伺ひますに、天下國家の大局論が主となつてゐるが、我々の知りたいのは今後我々のやうな商取引をしてゐるものは如何に解禁問題に處すべきか、殊に小賣商の執るべき途はどんなものかと云ふ問題です、一たい何うすべきでせう、石田さん

消極的方針で

石田。そうですナ、儲けるといふよりは寧ろ損をせぬといふ用心で進むより外はないですナ
武安。要するに小賣商としてはストツクを多く持たぬことですネ
石田。結局當分は、消極方針を執ることだナ
記者。有難うございました、いろいろ有益な御意見を伺つて大變參考になりました、ではこれで散會致します(第一回の座談會終り)

市況

特產
現物薄で大豆期近强調

大豆は現物薄に急需手當ありて一氣暴騰し、折柄當期納會氣配等も亦上伸、他限亦相伴ひ商狀を示し、高粱買氣薄く出來不申の不振に先物も亦弱く各品は平調大引、現物大豆五車、日清、三井、……豆粕は日清のみで二千枚せ、今朝の油房生產高は操業工場は四軒

◇定期前場

錢鈔
銀塊高で鈔票反撥

◇定期喰合高（前日對比較）

◇現物前場

株式
內地安に地場氣弱し

商品
前場

市場電報
銀塊及爲替
棉花
大阪株式
東京株式
大阪期米
東京期米
大阪綿糸
大阪棉花
神戶豆粕
橫濱生糸
印度麻袋

奧地市況（廿五日）
特產

錢鈔

上海爲替情報
【上海廿五日發】前日の氣配を受け人氣思く材料安と廣東方面の時局懸念あり三井、大連圓能く賣り金大概戍、泰興賣る跡薦盟安變更にまぢら……

手形交換高（廿五日）

爲替相場（廿五日）
金（銀勘定）
正金（銀勘定）
鮮銀（金勘定）
上海標金

爲替四十八弗を突破
【東京廿五日發電】廿四日午後の爲替市場は對米四八弗を突破し……

經濟部電話
八四五五

平安異香 (121)

菊多默太郎作　中一彌畫

鳩を賣る男(二)

この鳩賣りの男は疲れてゐるから馬を貸せといふ。で、師輔が

「誰か、貸してやれ」

といふと、近侍の一人から乘馬をかりて、鳩籠を背負つたまゝひらりと鞍に跨つたが、なかなかどうして見事な乘りぶり。

「ほう」

と師輔が感心して、

「馬はたしかだな」

と褒めると、

「習ふより馴れでござりますな。旅ばかりいたしてをりますので……」

笑つて一番しんがりに從つて、やがて師輔の邸へ來た。

邸は造作最中だつた。大工、壁師、築地師などが、沈みかけた日足と競爭するやうに汗だくだくになつて仕事を急いでゐる。藤原が都になつたので、別邸であつたこの邸を俄に取擴げてゐるのであらう。

「三左、この男に飯など食はせてわしの居間へよこせよ」

師輔はさういつて表門から入る。鳩賣りの男は三左衛門に連れられて、造作中の小門から曹司へ導かれて、そこできれいな女中の給仕で飯を食ふ。

とそれへ、さつき顔見知りの近侍の武士がやつて來て、

「コリヤコリヤ、殿樣のお召しだ。鳩を持つてこちらへ來い」

「へエ、有難うございます」

脱いだ草履をもう一度はいて、庭傳ひに奧へ導かれる。若葉の青楓が、薄暮の涼風を孕んで颯爽と葉を鳴らせてゐる下をゆくと、厭ふものもないと見えて、青梅の生つたまゝになつてゐる梅林――片側が腰を少し越すばかりの低い網代垣で、小さな前栽を隔てゝ檜皮葺の御殿がある。簀子に青簾が下つてゐるので此方からは見えないが、その時簾垂の中に脇息に凭つてうつとり庭を見てゐた上﨟が、誰あらうお藤の方だつた。

見るともなくふと目をさへぎられたのは垣の向ふを行く下人らしい男だつたが、同時に「あら」といつて檜扇がお藤の方の手から落ちたのは不思議――

お藤の方は、思はず前へにぢつて、網代垣の隙間から男の後姿を見送つた。

微笑が――快心の微笑が面に泛ぶ。

お藤の方は、うずうずするやうな快さを肩をすぼめて呟いた。

「あの男ぢや、あの男ぢや。よくも化けてゐるが我目を瞞ませるものでない。一度は目の底へ燒きつけた男ぢやもの――我身の前に頭を下げて命乞ひをさせる――おう思ふても快いことぢや」

扇を拾つて、ハタハタと手を打つた。

次の間に控へた侍女頭の相模が靜かに襖を開けて、

「お召しでございますか」

と手をつく。

「おう相模」

お藤の方は、自分の素晴らしい思案に自分で醉つてゐるやうだつた。

「内密の急用ぢや。もそつとこちらへ」

そして、にぢり寄る相模の耳へ扇の音の騒ぎだつた。

「――な、よいか。誰か腕利のもの……おう、あの男、異住源入郎あれならよいであらう。急いで參るやう――人數はなるべく――」

「畏まりました。これは一段のお慰み――」

「洩れては面白うない。我身自身で行つて來るがよい」

「畏まりました」

するすると下がると、次の間で帯を締なほしながら隅に控へてゐる女中を目で招いて相模、

「輿を仕立てるやうに――一挺でよい。急いでといつておくれ」

「心得ましてございます」

女中が遠侍へ傳へて行つて輿を命ずる。

間もなく仕度が出來ると、それへ吸ひこまれるやうに相模が乘つて、

「えい、ほう」

とあがる輿。

映畫と演藝

天勝一座の五節舞
呼物の五段返

既報の如く松旭齋天勝一座は十月二日初日で歌舞伎座で一週間開演するが、手際の見事な大小魔術を呼び物とした天勝一座も近年は時代の變遷と共に家庭的民衆娯樂としての本領を發揮し大小魔術の外に寸劇レヴュウ等へ進出し美しい娘子軍の出演と氣のきいた舞臺裝置によつて好評を博してゐるが、本年度新作中の呼び物は昨秋の御大典奉祝に因んだ新舞樂「五節の舞」で作歌は山岸荷葉氏作曲は杵屋五三郎、振付は花柳輔藏、輔秀兩師で舞臺裝置は東京の野村氏が新考案し衣裳は大阪大谷衣裳部が新調したもので演出は五節舞鳳凰樂鳳凰ダンス菊の國文化綜踊の五段返しで天勝早變り等清新豐麗なものであると【寫眞は五節舞】

女優界の大立物
恩曉峰女が特別加入
恩維銘大一座の藝題決る

既報中日文化協會が北平から招聘することゝなつた支那女優恩維銘、品艶琴一座はいよいよ月末乘り込み十月一、二、三の三日間華々しく協和會館に於て開演するに決定したがこれがため赴平中であつた石田書記長より更に同一座の錦上花を添へる好音が齎された、それは新進兩名花の珍しい顔合せの上に女優界の女御大維銘の母恩曉峰女が特別加入を快諾して一座することに決したことである、恩曉峰は支那劇の虎の巻「戯考」に「男優の譚鑫培と對立する女優の泰斗」と記されてある通り古今を通じての大立物である總てに完成老熟してゐる彼女の藝術のうち殊に唱の玄妙さは全く北平劇壇に比類を見ぬところで六年前から劇界を引退して只管愛女維銘の教養につくしてゐたが協會と維銘との話が纏まつたゝめに遂に懇請を容れて出演を快諾したものでこの噂が北平梨園界に傳へらるゝや大連終了後一度だけでも北平に於てその咽喉を聞きたいと既に好劇家から熱望さるゝに至つて居る趣きで大連三日間の出演は非常に渇望の的となつてしまつてゐる、今回大連上演は崑曲の大家韓世昌以來の大芝居で藝題も考究に考究を重ねられ支那語を解せぬものでも容易に解りしかも支那劇中の代表的なものを選び「武家坡」「烏龍院」「李陵碑」「三娘教子」「[illegible]」「硃砂志」「[illegible]蓮燈」「[illegible]」「哭祖廟」と決定した因に開演は毎日午後七時半日本文の解説を贈呈する筈【寫眞は恩曉峰の刀勞三闘】

滿洲日報

世界音樂全集

豫約募集

空前の音樂時代は來た。音樂は、ラヂオを、レコードを、教育を、家庭を、街行く人を、そして總ての近代生活を支配しつゝある。演出すると鑑賞するとを論ぜず、研究すると享樂するとを問はず、更に共鳴すると否とを別として、近代人は先づ音樂を解し感じなければならない。音樂は樂譜から始まる。而も在來の樂譜は、餘りに高價にして且つ購求に不便だつた。茲に我が社は出版者としての文化的使命を愈々自覺し、全世界の總ての樂譜を最も低廉に、完全に供給するを志して、世界音樂全集を刊行する。

本全集の十大特色

一、全二十卷に全世界の總ての名曲を網羅する。世界音樂全集の出現を以て從來の高價にして且つ不親切な樂譜は一切不要に歸し、新に樂譜を購入する要は消える。

二、各卷四六倍特大判二百五十頁以上の大冊は、不均約百曲を含有するが故に、一曲の價の至廉なる事蓋し空前絕後であらう。從來の樂譜は一曲を購ふに五六十錢を要したが、本全集の價では、一曲が僅かに一錢八厘內外である。

三、編者は、總て夫々の分野の權威にして、全責任を以て樂曲を撰選し、編曲し、譯詞し、更に演出に關する周到なる註解を附した。

四、選ばれたる名曲の數は數千に達し、音樂の全分野に於ける必要な總ての樂曲を包有する。

五、各曲に附された周到懇切なる演出註解は、夫々の權威に直接師事し、親しくその演奏を聽くと同一の效果を讀者に齎らす。

六、各卷には、專門大家に依る樂曲の詳細解說が附されてゐる故に讀者は樂曲を直ちに理解し、演出並びに鑑賞に至便である。

七、校正は最も嚴密なる故に樂曲は絕對正確である。

八、用紙は別漉特上質、形態は四六倍特大判（外國版と同形）で演出用と同時に携帶用に適してゐる。

九、裝幀は、堅牢極美、永久の使用に堪ふ。

十、本全集は、之の附帶事業として出版する音樂研究叢書と連絡を保ちつゝ、讀者を完全な音樂理論へ導く。

世界音樂全集全廿卷目次

※各篇とも名曲平均約百曲を包含す※

	編者	卷名
(1)	東京音樂學校教授 高折宮次編	ピアノ名曲集(1)
(2)	新交響樂團 近衞秀麿・シャピロ編	ピアノ名曲集(2)
(3)	東洋音樂學校教授 ジェームス・ダン編	家庭音樂集
(4)	武藏野音樂學校教授 田中秀太郎編	ヴァイオリン名曲集
(5)	東京音樂學校教授 眞籠健、楊編	オルガン名曲集
(6)	武藏野音樂學校教授 門馬直衞編	世界獨唱曲集
(7)	日本交響樂協會 山田耕作編	日本獨唱曲集
(8)	國立音樂學校教授 矢田部勁吉編	世界合唱曲集
(9)	日本交響樂協會 山田耕作編	日本合唱曲集
(10)	文學士 小林愛雄編	世界童謠集
(11)	學習院教授 小松耕輔編	日本童謠集
(12)	武藏野音樂學校教授 門馬直衞編	世界民謠集
(13)	弘田龍太郎・藤井清水編	日本民謠集
(14)	伊庭孝編	歌劇名歌曲集(1)
(15)	伊庭孝編	歌劇名歌曲集(2)
(16)	東京市音樂視學 外山國彥編	世界唱歌集
(17)	本居長世編	日本唱歌集
(18)	東洋音樂學校教授 田邊尚雄編	日本音樂集
(19)	放送局 堀内敬三・町田嘉章編	流行歌曲集
(20)	「別卷」	音樂大辭典

締切 十月廿五日 內容見本進呈

略規

▼分賣に應ぜず▼昭和四年十月以降毎月一冊宛配本▼申込金壹圓八拾錢（これは最終會費に充當）▼四六倍特大判▼一冊二百五十頁以上▼並製總クロース・特製背革布クロース天金—共に極美本▼並製毎冊八拾錢・特製壹圓▼詳細は內容見本を御覽下さい。

第一回配本 門馬直衞編 世界獨唱曲集 九月末

第二回配本 山田耕作編 日本獨唱曲集 十月中旬

東京日本橋區吳服橋

春秋社

振替東京二四八一六

井上英語講義錄

燈火可親!! 英語學習の絕好期來。

教ふるは井上十吉先生 導くは帝都十五名家

ABCの讀方より開講

即時入學 成功の鍵を得よ!

英語は若き時に修めて置く可きだ 社會の第一線に活躍する人にとり 英語は百人が百人要求される故に

機會は去り易い! 此の秋の三ケ月を取逃した人は遂に一日の長を他人に讓らねばならぬ! 井上先生の名講義と諸大家の親切な添削で小學卒業後三ケ月で中學一年修了尙一年で專檢合格の實力保證 先づ見本を見給へ

昭和四年度 十月 新學期開講 新入學募集

講義別冊附錄

（毎月二回の講義以外に無料贈呈する特別附錄）

(1) 英和小辭典 全六冊
(2) 英文復習帖 全六冊
(3) 英習字手本 全一冊
(4) 特許 英習字帖 全一冊
(5) イングリシュ 月一回
(6) 受驗 單語カード 月一回
(7) 受驗 熟語カード 月一回

記念品贈呈

◇銀杯御下賜を本校光榮の朝を記念する爲め今學期入學者全部に記念品を贈呈す

校則見本進呈

◇全七十頁の美麗小冊子ハガキにて申込み給へ

東京市麴町區富士見町四丁目

井上通信英語學校

振替東京三〇二八八番

東洋史講座

日本繪卷物集成

豫約募集 目錄進呈

第二回配本濟 實物を見ない方は至急書店へ申込下さい 好評湧く如く大評判 他日絕對得難き珍本

◆第三回春日權現驗記近日配本

●會費申込金二圓、毎月拂二圓 送料一冊十六錢

會員募集

締切十月廿五日限 ◎第一回發行十一月十日

空前の大特典 東洋讀史地圖

此際早い申込者に無代進呈

好機逸する勿れ

受驗用教授用研究用に好適

1 總論及史籍解題 中山久四郎
2 第一期前編 東洋發生時代 第一期後編 佛教東傳時代 楓本增吉
4 第二期前編 東洋文化時代 第二期後編 北方民族時代 中山久四郎
6 第三期前編 蒙古民族時代 高桑駒吉
7 第三期後編 漢人復興時代 有高巖
8 第四期前編 滿洲民族時代 第四期後編 新支那時代 松井等
10 制餙の美術 關野貞
11 文獻と遺物 原田淑人
11 支那建築史 伊東忠太
12 東洋哲學史 宇野哲人
12 支那佛教史 常盤大定
13 近代西域史 矢野仁一
13 西南亞細亞 內藤智秀
13 東洋音樂史 田邊尙雄
14 支那經濟史 加藤繁
14 西域史 和田清
14 塞外史 石田幹之助
15 南北の對立 白鳥庫吉
15 印度の文化 武田豐四郎

東洋讀史地圖（別卷）

內容菊版一冊三百廿頁內外 毎月十日發行全十五冊完了

一科一冊本綴

會費 並製 申込金 一圓 毎月拂一圓八十錢 一時拂廿一圓六十錢 特製 申込金 二圓 毎月拂二圓五十錢 一時拂卅圓

見本進呈

東京神田今川小路

雄山閣

振替東京二四二七番

大日本史講座

會員募集 見本進呈

第十一回配本至急書店へ御申込下さい 東洋史と姉妹講座人氣益好評

刊近 古代及奈良・平安・鎌倉・桃山・幕末・明治・江戶上・外交史・思想史・風俗史・江戶下

●會費（並製申込金二圓・毎月拂二圓・送料十六錢）（特製申込金二圓半・毎月拂二圓半・送料十二錢）

公認 東京寫眞學校

學期無料 東京品川驛前

本校は實習を以て短期に技師を養成す 校外科も有

數學 法 最大速成講義 數理專修學院

●東京神田錦町三の十二

東京出版協會 會員發行 新刊重版 圖書案內

重版

日本植物圖鑑

理學博士 牧野富太郎 外四氏著 四六判背革裝 一〇〇頁 定價拾圓 送料七十錢

東京 振替東京七五〇番 北隆館

本邦植物學界の權威、牧野博士、三好博士、川村博士、岡村金太郎博士、岡村周諦博士の協同執筆にかゝる植物採集研究家の必携書で、植物の系統的分類を持たねばならぬものである。先づ一錢五厘を投じて內容見本（無代進呈）を請求せられよ。

重版

日本史講話

文學博士 萩野由之先生著 菊判全一冊 一二〇〇頁 特價七圓（定價八圓）送料廿一錢

東京神田 振替東京四九九一番 株式會社 明治書院

繁簡その宜しきを得た手頃の日本全史として頗る好評がある。國史界の泰斗萩野博士の大著であるから內容の的確なことはいふ迄もない。荷も歷史に一つきは正確な知識を得やうとする人々は勿論であるが、學生、教育家及び檢定受驗者等には缺くべからざる好參考書なり。

重版

動物學提要

理學博士 飯島魁著 四六倍判背革裝 一〇〇〇頁 定價貳拾圓

東京市 振替口座東京二一九番 大日本圖書株式會社

本書の價值は世既に定評あり飯島博士十有五年苦心の結晶にして近世に於ける本邦唯一の動物書たり。博士自身ノ手に成る精確明瞭なる一千有餘個の圖版と各所無數の參考書とを列擧して其の考證に便せり。學校圖書館必備の研究家好參考書【內容見本無代進呈】

重版

新譯 註解和獨辭典

小田切良太郎 ウォール・ファルト編 三六判 一七〇〇頁 定價三圓五十錢 送料二十錢

東京市九段坂下 振替東京五〇一番 富山房

その編纂の方式に於ても、動詞の蒐集に於ても、又對譯語の改選定に於ても、在來のものの改良といはんより、寧ろ純然たる和獨辭典の創作たるを期したもの。獨逸語學習者にとつて最良唯一の和獨辭典である。

重版

大日本全史（全三冊）

文學士 大森金五郎著 菊判 一七〇〇頁 定價各七圓 送料各卅六錢

東京市九段坂下 振替東京五〇一番 富山房

著者が多年の蘊蓄と研究とを傾倒した名著。上卷は神代より平氏滅亡まで、中卷は鎌倉幕府創立から豐臣氏の終まで、下卷は江戶幕府の創設から政權奉還までを流麗なる口語體を以て詳述し、豐富な挿繪と地圖等を挿入して國史の趣味を增進せしむ。

新刊

如何なる難病も治る藥用植物の治療法

農學士 青木信一著 四六判上裝 植物圖入 定價壹圓 送料六錢

東京神田區錦町四 振替東京二四七九二番 富文館

隱れた特効のある藥用植物は今迄絕好の採取法を知らなかつた。多年の經驗によつて證明された醫者で治らぬ難病も藥々と快癒する。醫者にかゝる餘裕のない人々に、山野に採取して無代の植物を保全を全うせられよ。

重版

あみもの

共立女子職業校長鳩山春子女史序 元共立女子職業教諭足助いえ子著 前後篇 定價各一圓八十錢 送料各十錢

東京京橋南鍛冶町 振替東京七九三四 松邑三松堂

◆皆さまそろ〳〵アミモノのシーズンになりました。◆前篇は基礎編みを主として、種々なる應用あみを掲げ◆後篇には更に一層複雜なる各方面の應用編みを挿書中心で誰れにでも一讀直ぐ編め、直ぐ用ふる事が出來るやうに說明してあります。

重版

金解禁解說と其影響及對策

東日大毎 經濟記者 三俣淺治郎著 四六版洋裝 一一〇頁 定價五十錢 送料四錢

東京神田區猿樂町十七 振替東京七四六七五番 大光館書店

井上藏相講演全載 準備序文

內容一部◆金解禁の意義◆準備方法◆財界、商工、農村、家庭物價への影響◆解禁後はどうなるか◆各國の實際◆好評廿六版出來 よく分る解說 急申込乞

重版

思想問題研究

文學博士 深作安文著 四六判布裝 三三〇頁 定價一圓五十錢 送料八錢

東京市神田北神保町 振替東京二一六九一番 山海堂

思想問題の研究は先づ外來思想の理解より始まる。理解ありて次に之に對する國民の態度が極まる。而して其所に赤化の防止も思想の善導も理解付けられる。本書は外來思想の大綱を紹介し之に深刻なる批判を下したるもの敢て讀者に一讀を薦む。

新刊

昭和四年版 出版年鑑

東京書籍商組合編 菊判二段組 四百六十頁 定價一圓 送料十二錢

發賣所 東京日本橋區茅場町 振替東京二二八番 大倉書店

◆出版文化の一大總攬◆全國の最近發行圖書一年間の悉くを種別に掲げ、著者、發行所其他を詳細に掲げ、我が出版文化の現況を知らしむ。總ての出版業者、學校、官衙、圖書館、讀書家は是非備へられんことを

新刊

趣味の大豪科學

田中香涯著 四六判布裝 四五〇頁 定價二圓〇錢 送料十八錢

東京日本橋區吳服橋二 振替東京一三七五番 大阪屋號

本書は著者が該博なる蘊蓄と卓拔なる識見とを披瀝し人生と社會との種々なる事實現象に對し特に生物學、醫學、史學方面に關し高遠に馳せず卑俗に流れず出來るだけ解り易く且面白く著者獨特の科學的觀察或は批判を下した趣味ある研究である。

重版

改訂增補 西洋通史（全三卷）

文學博士 瀨川秀雄著 定價上卷四圓五十錢 中卷五圓 下卷五圓五十錢 送料各廿七錢

東京市九段坂下 振替東京五〇一番 富山房

國民一般の標準的世界歷史として既に定評ある名著。大戰以後全部その稿を新にし、最近に於ける歐米各國の記述を加へ、叙述平明よくその要を盡す。專門史家は勿論、各階級の人々にとつて刻下切要な第一書。

重版

世界地理重要問題解說

奧田保治著 四六判布裝 六四二頁 定價三圓五十錢 送料二十六錢

東京市神田區 振替東京四一二三番 中興館

▼自然、人文兩方面に亘り、地形、氣候、成因、地質にまでも及ぼし、研究に資料を提供して居る。最新の、中等教員、高師、專檢その他官立學校の問題を全部收錄して解說し、答案の指針を示した。

最新刊

伊藤之助著 會社の法律と實際 實價七圓二十五錢送料三十七錢
國正造著 方程式論
上村行彰著 日本遊里史 實價三圓六十七錢送料十四錢
初等教育會著 高等小學 新算術書の取扱 實價二圓九錢送料十八錢
同 一日一話 繪入本歷史
三木露風著 我が歩める道 實價一圓二十六錢送料十二錢
同 獨和小辭典 實價四圓二十錢送料十錢
藤井進一郎著 一記者の頭 實價一圓八十九錢送料十二錢
中村爲治著 キング詩集 實價一圓八十九錢送料八錢
羽田倫著 共產黨小史 實價一圓五錢送料六錢
飛鳥井良芳著 孟子詳解 實價一圓五十七錢送料八錢
早坂義夫著 實力本位 我等の日本史 實價一圓五十七錢送料十二錢
林廣之著 姙娠十ケ月 安產の心得 實價一圓二十六錢送料十錢
栗本進著 兵語新辭典 實價三圓六十錢送料十錢
井上爲治著 リヤイクトリアム朝の抒情史 實價二圓三十六錢送料六錢
正宗得三郎著 現代名家 畫集 實價二圓八十九錢送料六錢
乃木希典著 西比利亞から

大連市浪速町 大阪屋號書店

最新刊

西山精平著 新教育の哲學的根據 實價二圓三十一錢送料八錢
田畑武雄著 レーニン著 イ 時代（上）實價二圓六十二錢送料十六錢
高田勘三著 一日一話 繪入本歷史 實價二圓十錢送料十錢
堀內利器著 實驗圖解家庭化學の智識の聚 實價一圓八十九錢送料八錢
有馬純清著 心靈界の驚異 實價一圓五十七錢送料十錢
櫻井忠溫著 土の上・水の上 實價一圓十錢送料十二錢
マルクス書房編 辯證法 實價五十二錢送料四錢
井上準之助著 國民經濟の立直しと金解禁
安田與四郎著 金解禁前後の財界 實價一圓六十八錢送料八錢
コンシダン編 高山洋吉譯 武漢時代と支那共產黨 實價一圓二十六錢送料六錢
根本圓通著 人生を幸運にする名前の附け方 實價一圓八十九錢送料八錢
山脇敏子著 嫁入手藝篇 實價一圓五十七錢送料十錢
小野清秀著 秘密神通 眞言 實價二圓十錢送料十四錢
齋藤隆著 金輸出解禁 實價一圓五錢送料六錢
矢野恒太著 昭和四年度 日本國勢圖會 實價一圓五錢送料十四錢
德富猪一郎著 土佐の勤王 實價六十三錢送料四錢
受驗時代社著 男女專檢受驗案內 實價二圓十錢送料十錢

大連市大山通 滿書堂書籍部

滿洲日報

餘計なお節介 滿蒙賣却論など

米國のある記者は、支那に對し滿蒙を日本に賣却せよと論じてゐる。由來、アメリカ人は突飛な議論をするので有名だが、滿蒙賣却論の骨子とするところは、結局は極東の平和を攪亂する。領土を賣却することは、必ずしも不名譽でなく、米國が今日の如き大國となつたのも、これ領土の購入によつたものであるといふてゐるが、賣却せよと支那に勸說するに、米國の例を採用したことは、支那人を納得せしめ得ぬであらう。そはともかくとして、わが日本は、今さら滿蒙を購入しやうとするやうな意圖もなければ、希望もあるまいと思ふ。必ずしも日本が貧乏だからといふのではない。日本は滿蒙を購買せねばならぬ必要もないからである。

◇

また最近、ドイツ方面から、ロシヤには東支鐵道の南部線を日本に賣却するといふ希望がある如く傳へられる。ロシヤとしては、支那との間に東支鐵道を共同經營し今次の如き紛糾を惹起して居るよりも、すくなくとも西東兩線を除く南部線は、ロシヤにとり餘り重要性がないから、一層のこと、これを日本に賣却する方が、厄介でなく、却つて賢明の方策であらうといふにあるらしい。しかしこれとても、わが日本は、敢て買ひ取らんとするものではあるまいと想像される。勿論、金錢は問題ではない。敢て東部線を購入せねばならぬ必要がないからである。

◇

わが日本は滿蒙に對し、米國記者などの心配するやうな野心もなければ、まして購買するなどの意圖もない。たゞ既得の權益を、最も公正妥當なる方法を以て擁護することあるのみである。たゞ支那が、旅大回收などと稱し、また不平等條約の撤廢などといふ題目のもとに、條約を蹂躪したり、既得の權益を無視したりするやうなことのない限り、日本としては、毫も極東の平和を攪亂するやうなことはないと信ずるものである。日本は既得權益の擁護以上に、平和を攪亂する樣なことは、一切、敢てせぬであらう。果して然らば、米國記者の滿蒙賣却說といふやうなことは、全くのお節介と申すの外ない。

◇

また東支鐵道の南部線にしても然りである。ロシヤとしては、支那と共同して經營するといふことは結局、厄介であり、かつ年中行事として紛糾を重ね續けねばならぬのであるから、ハルビンを中心とした東部線および西部線は、極東への策源地として、金輪際、これを手放すことは敢てせぬであらうけれども、ロシヤにとり猫の尻尾のやうな南部線を、日本に賣却しやうとすることは、ロシヤとしてはあるひは賢明な策であるかも知れぬが、日本としてはロシヤの權利を買つて出ねばならぬといふほどの必要はないのである。日本は南部線を買ふの必要はないが、ただしかし從來のやうに、北滿の貨物を東向せしめ、以て故意にウラヂオストツクの繁榮策に利用せんとするが如き運賃政策を、東支鐵道側が採用せざらんことを希望するまでである。すなはち交通機關の原則に順つて、貨物の流るゝ方向に向はしめ、その間に無理な人爲的障壁を築かざらんことを要求する以外には、南部線に對してさへも、餘り多くの期待を有せぬのである。

◇

日本は滿蒙に對しても、また東支南部線に對しても、たゞ公正妥協なる既得權益の擁護と、交通機關そのものの自然の機能發揮を要求するのみである。しかも既得權益擁護の如き、必ずしも形式論に拘泥して、新時代の要求を無視せんとするものでなく、幣原外相の聲明せる如く、支那の國民的要望を容るゝの吝ならぬものが存するのである。たとへば滿蒙における商租權問題の如きも、條約面そのまゝを、今日、支那側に要求せんとするものでなく、時代の趨勢に順應して、滿蒙の開發上、日支の共存共榮を期せんとするに外ならぬのである。かくの如く論じ來れば明瞭なる如く、日本は決して滿蒙を讓り受くるの必要もなく、また東支鐵道の南部線を購買せねばならぬこともない。ただ既得の權益を最も妥當公正に擁護することにおいて、極東の平和は當然に維持確保せられるものと思はれる。然るを米國記者の如く、滿蒙を日本に賣却せねば、極東の平和が保てぬといふやうに論ずるは、いまだ滿蒙の眞相と日本の關係とを充分に領會し得ぬ結果といはねばならない。

皇大神宮遷御祭 (2)

二十年毎に行はせらる 今回は五十八回目

（五）

九月の十七日から十月の六日にわたる三十祭典、四饗宴は森嚴清淨を極むるものであるが、そのうちでも十月二日午後八時の夜に行はせられる內宮遷御が、祭典中の祭典とも申すべきで、祭典の中心をなすものであるから、從つて一般國民にも、十月二日を以て休日を賜はるのである。內宮遷御についでは十月五日、同時刻に行はせられる外宮遷御が、いと重要な御儀式とされてゐるのである。すなはち三十祭典、四饗宴も、要するにこの內宮遷御と外宮遷御とを執り行はせられる附帶の諸儀式とも申すべきであつて、內宮すなはち皇大神宮、外宮すなはち豐受大神宮の御神儀を、もとの宮殿から新らしい宮殿に遷都あらせられるのがこの式年遷宮の祭典なのである。

（六）

この古儀が、この十月二日および五日に嚴修せられることは、開闢以來、丁度、第五十八回に相當するのであつて、第五十七回は明治四十二年に、また第五十六回は明治二十二年に、しかも式月式日は三回とも十月二日に內宮遷御を同五日に外宮遷御を執り行はせられたのである。滿二十年、すなはち二十一年目に御神儀の遷御が執り行はれるといふことは、これとりも直さず、わが日本の國家精神國民性を如實に物語るものであつて、清淨潔白、舊きより新らしきに、積極的に、進取的に、勇往邁進して停滯するところなく、日に日に新らしい、すがすがしさを求めてやまぬ樂天的な、陽性な、何のこだはりもない神ながらの姿を表象したものに外ならぬ。そこでわが國家的、國民的尊崇の伊勢大神宮の御神儀も、舊きを祓つて新らしく造營せられた式年造營の新殿に遷御し奉ることになるのであるから、今年、執り行はせられる式年遷宮祭典は實に、わが國家的祭儀であると共に、われわれの國民性を、これによつて表象し、また發揮せねばならぬのである。（七）

皇大神宮は申すまでもなく天照皇大神を奉齋する大宮であつて御靈たる神鏡は天照大神が皇孫瓊々杵命の天降りますに方り

この鏡を見ること我を見るが如く床殿を同ふして齋鏡とせよ

との神勅と共に賜つたもので、歷代の天皇は、この神鏡を同じ宮殿內に奉齋あらせられたが、第十代崇神天皇の朝に別殿に奉遷することゝなり、皇女豐鍬入姫命を以て御杖代として齋き奉つたところ、大宮地を求め奉れとの神勅をかしこみ、更に御神儀を奉戴して丹波國吉佐宮、倭國伊豆加志本宮および木の國奈久佐濱宮、吉備國名方濱宮などに遷し奉り、ついで彌和乃御室嶺上宮に齋き奉つたが、かゝる間に豐鍬入姫命も老給ふたので倭比賣命が替つて御杖代となられ、皇大神を奉戴して國々を經歷せられ第十一代垂仁天皇の即位第二十六年九月、伊勢の國宇治五十鈴川上に大宮を建られ、こゝを永遠の鎭座と定められ、宮柱ふとしき建てて今日の大廟を拜するに至つたのである。

（八）

二十年一度の御造營は、降つて第四十代天武天皇の御代に御治定なつたところであるが、今日まで一千二百五十年ばかりの間に五十八回の御造營がある次第である。一千二百五十を二十で割ると六十二回半となり、少しく回數が足らぬやうであるが、これは戰國時代などにおける皇室の式微などのため、やむを得ずして御造營の儀が執り行はれなかつた結果である。併し王政復古以來、皇室と國民との御一體の國柄として、最も古式たる大神宮の御造營が明治二十二年に行はれ、また明治四十二年に執り行はれ、而して今度の式年遷宮祭典と相成つた次第である。この度は畏くも、わが天皇陛下には掌典長九條道實公を勅使として御差遣あらせられるばかりでなく、御自ら十月二日夜の內宮遷御の同時刻、宮中神嘉殿の南庭に下御あらせられ暫しの間の御遙拜あそばさるゝ由を承はるのである。かつまた濱口首相、安達內相その他文武百官、一般國民の代表をして御儀式に、參列せしめられ、以て國家的、國民的大儀式として森嚴崇高に執り行はれることになつたのである。

滿洲寫眞聯盟へ

寫壇子

八相

投書歡迎　新聞行數五十行以內のこと　中傷を目的とするのは採らず

今秋開催の滿洲美術展覽印畫の審査に內地の權威者數名を迎へて公平に嚴選せらるゝ事となつたのは吾々寫壇子等にとりては何んとしても喜ばしきことで又斯界向上のためにも大に理事者の努力を多とせねばならぬ、但だ然し之れは餘りに神經過敏にすぎるかも知れぬが假に理事者の中の一人が……でも賞品獲得熱にかられて審査員に對し潜行的な行動若しくば失禮に等しき手段を敢てなす者がありとするならば（無論斯樣な非紳士的なことをする人は今回の理事者の中には一人もない事とは信ずるが）審査員の心證如何は別問題として（審査員に於ても一笑に附すことゝ思ふ）が滿洲寫眞聯盟の前途も知るべきのみで、却て多大の同情を以て後援せられをる關東長官、滿鐵副總裁其の他の方々に相濟まぬことゝなるから此點につきては理事者各位は嚴に結束して所謂ぬけがけ功名をせぬ樣眞に公平を期せられたい、以上は今更事新らしく申述べる要はないが此以前の展覽には相當不平の聲が喧しかつたのに鑑み敢へて一言を煩する次第です

新舊紙幣の交換暫行簡章

張行政長官より公布

【ハルピン發】從來哈市に流通せる大洋票は蔡道尹の管理下にあつたが、今回全部特別區行政長官に權限を移讓し、長官が各銀行の發行紙幣に對する證紙と管理官としての印を押捺することになり、既報の如く九月廿日から三ケ月內に全部管理官の印を有せざる舊紙幣を回收し新紙幣と交換するに決定し、廿九日附で在哈各銀行及總商會に暫行簡章を公布したが、其の簡章は

第一條　本署が既に公布した各銀行號紙幣捺印簡章第十條の規定に照し在市に流通せる無印の舊票を回收し捺印の新票を之に換えて發行す

第二條　各種の捺印新票は本署公布の日より努めて各銀行號は毎日できるだけ交換し、且つ交換時間は掲示板を設けて周知せしめよ

第三條　凡そ證明せる新票は某行號或は某公司に於て何號から何號に至ることを新票の範圍が決定すれば本署に報告し之れを公布する

第四條　本署からは委員を日時を定めて各銀行號に派遣し收換を監視せしめ登記簿に立會はしめて保證する、毎日新舊票の交換せる額は其の都度本署に於て檢査を得、交換した舊票は派遣委員の眼前に於て封緘し保存し終了後燒棄する

第五條　東三省官銀號・交通、中國、邊業の各銀行、廣信公司は紙幣收換の地點は均しく哈爾賓の本號に指定し施行すべし

第六條　本簡章は公布の日より實行す

地租改正委員會長

【東京廿四日發電】本日の閣議で決定せる地租改正委員會は會則も同時に發表されたが、右は大藏省內に置かれ地租改正及び之に關聯する事項を審議するもので會長は藏相之に任じ十二月初めごろ迄に成案を得べく努力する筈である

金州民政署管內の作柄非常に良好

平均一割五分の增收

【金州發】管內に於ける本年の農作物は適宜の降雨と害蟲の被害少く且暴風の襲來無かりし爲作柄非常に良好にして例年に比し平均一割五分增收の見込なり、特に管內の特産物たる果樹は約五割方の增收にして尚水稻の如きは未曾有の好成績を擧げ取り分け州內唯一の移民地たる愛川村は昨年の九百七十石に對し今年は優に四百石の增收を見るべく、當初の計畫目標たる千石收穫の夢を現實に見る事を得た、茲に民政支署に於て發表せる八月中の農作物作付及び收穫狀況を明細にせば左の通りである

一、普通作物　上旬より降雨繼あり寧ろ過多の感ありしも各作物の成熟狀態良好にして高粱、包米、粟等は病害虫の被害少なく平年作に比し一割內外の增收豫想なり、大小豆、綠豆等は何れも成育良好にして開花の狀態より見るときは平年作に比し一割內外の增收豫想なり

二、特用作物　棉花は開花結鈴共に良好にして早きは中旬より開絮し初めたり亦生育旺盛にして開絮遲延の恐れある棉圃に對しては積極的に開絮促進法を行ひつゝあり

落花生は生育結實共に良好にして平年作に比し一割乃至二割の增收豫想なり

三、蔬菜類　一般に生育良好なり蘿蔔、白菜等は病害虫の被害なく何れも發芽生育共に良好なり

四、果樹類　病害虫の被害比較的少く良好なる發育を遂げつゝあり

苹果祝は上旬、旭は下旬より收穫せられ一貫匁七、八十錢にて賣買し居れり（祝は九月十五日頃迄に全部の收穫を了し目下在庫品なし）

五、水稻　愛川村及一部に句虫の發生を見たるも極力驅除に努めたる結果大なる被害なく下旬より出穗を初めたり、現在の作柄より見るときは平均反當籾二石五斗內外の收穫豫想なり

◇譽れの高取畫伯◇

來月二日夜行はせられる伊勢大神宮遷座祭に雜色姿で奉仕し遷座祭の御模樣を萬代に繪卷物として寫し殘す榮譽を擔へる帝室技藝員にして土佐畫壇の重鎭たる高取稚成畫伯が東京市外戸塚の自宅で丹精を凝しつゝあるところ

牡蠣とチフス

各國に於ける取締法

（四）　金井章次

▲遠山博士の牡蠣に關する研究を紹介して州內牡蠣業者の注意を喚起す。

保健防疫の見地と、健全なる牡蠣業の發達を希望して「牡蠣生食すべからず」と述べた事柄は、曾々、大連水産業者から「營業妨害を敢てするもの」と迄極言された。余は營業の前途發達の爲めに、當局の取締と、適當なる養殖場及び採取方法との必要を力說したのである。

然るに當業者の一人は、永年水産防疫の研究に從事する遠山博士の所說が、余の所說に反對するものと稱して、一時の安逸を計らんが如きも、斯くしては、前途決して營業の健全なる發達は望むべくもない。何んとなれば、遠山博士の所說は何等余の所說に反對なるどころか、悉く卑見の正當なるを立證せられてをるからだ。

同氏の研究は、素コレラと魚貝との關係を主體としたものであるが、其發表中には二三個所にチフスと牡蠣との關係に觸れられたところがある。參考迄に本問に關係ある博士等の研究を紹介する。

一、水産防疫に關する實驗研究（第一回報告）（實驗醫學雜誌大正十五年九月發行）

二、熊本縣下不知火村牡蠣生産狀態を見學して腸チフスとの關係を論ず（日本傳染病學會雜誌大正十五年十月發行）

三、水産防疫に關する實驗研究（第二回報告）（實驗醫學雜誌昭和三年十月發行）

四、牡蠣の興素消毒法に就て（同上同號同氏研究室より）

五、橫濱港內海水に於けるコレラ菌の生存期間と其消長實地試驗（昭和四年日本聯合衛生學會第一卷）

……

（イ）チフスと牡蠣との關係を、流行病學上の見地から論じた場合には、細菌學的檢査を別としても認容せなければならぬ事は、前記第二の論文中から窺はるゝ。牡蠣業者の不滿は勿論であるが、この懸疑と不安から商品を救濟する必要のある事を博士は方說された。

（ロ）病源菌が一定期間、たとへ增殖せずとも、海水中に生存し得る事は、前記第五の論文に於て知る事が出來る。

（ハ）遠山博士はコレラ菌を以て汚染された淡海水中に牡蠣を置く時は、其生活せると斃身たるを問はず、一分間といふ短時間を以て病原菌が消化器內に侵入すると述べられた。前記第一の論文中に記載がある。

（ニ）從つて一旦汚染せられた牡蠣は、酢に依つて臨表に附着するものは、比較的容易に消毒し得るも其體內に侵入せるものは、普通長時間を要すと發表された（同上雜誌）

（ホ）生活せる牡蠣の體內に於ては、死亡せる牡蠣の體內に於けるよりも生存期間は短時日である。所謂、牡蠣の自淨作用である。

この自淨作用に就いては、遠山博士は前記第一回の報告では、專ら研究室內で研究されたのであるが、前記第三の報告に於ては、神奈川縣金澤灣に於て、冬季と夏季とに於て自淨期を實地に試驗された結果が發表されてゐる。

けふの放送　支那語會話

第二十五回　秩父固太郎

1他辭了麼　2他不幹了　3爲甚麼不幹了　4有病不能幹了　5他有甚麼病　6本來身子軟弱　7看着一點沒有病　8他可不大結實　9用心太過了罷　10所以把身子壞了　11現在在那兒呢　12在家養病哪　13病好了幹不幹　14一時好不了罷　15掙不來錢怎麼辦　16家裡有倆錢兒　17有錢兒就行了　18長了也不是事　19花完了就完了　20誰都替他着急

譯文

1彼人は罷めましたか　2彼人は止しました　3どうして止したのです　4病氣で勤まらなく成りました　5どんな病氣が有るのですか　6元から身體が弱いのです　7見た所少しも病氣は無ささうですが　8だが餘り丈夫では有りません　9氣を遣ひ過ぎたのでせう　10それで身體を毀しました　11只今何處に居ます　12家で養生して居ます　13病氣が癒つたら仕事を仕ますか　14一寸には好く成れますまい　15金が取れなけりやどうします　16家に少しは金が有ります　17金が有りや好いですが　18長くなるといけません　19使つて仕舞へばお仕舞ひです　20誰しも同君の爲め氣を揉みます

（新字）・辭。軟弱。。養病。

滿日地方版

奉天

酌婦をたらした邦人僞刑事 質屋から足がつく

東京市麻布生まれ住所不定小野章(三四)は本年二月頃から西塔大街朝鮮料理店快樂亭の酌婦正子事金福蓮(二二)に對し自分は關西中央專門學校を中途退學し現在では總領事館警察署の刑事を勤めてゐると詐稱してすつかり正子を信用せしめ最近まで毎月六七回登樓してゐた殊に七月の如きは月の半分流連して全部正子に入れ揚げさせてゐた一方正子の方でも男に對し遊興費の外現金八十圓を提供してゐた位であつた然る處小野は正子を撫順に轉替へさせんと企て前借千三百圓の中千圓を貸して呉れと强要したので七月末指輪金時計等を正子から借りて入質したことから不審を抱かれてゐた偶々廿二日戸口調査のため同家に赴いた總領事館警察署員に照會の結果僞刑事であることが判り届け出たので目下小野を召喚し取調中

醫大評議員會

滿洲醫大の第二回評議員會は廿七日大連社員倶樂部に於て開催されるが奉天からの出席者は稻葉館長森幹事、守田、久保田、林の各評議員であると

廢兵の押賣り

不景氣の關係か近頃美名の下に物品の强請販賣をなす不埒な行商人が増加して來たので奉天署でも嚴重取締を行つてゐるが廿二日午後二時頃東京府下高田雜司ケ谷帝國廢兵聯合會東京支部幹事蘆澤留太郎外四名は無免許のまゝ賣藥文房具などの行商をなし市民に對して同情的に販賣をなさねばならぬものが販賣を强請し當然買はねばならぬものと心得て戸別訪問し市民の受ける迷惑も一方ならぬので屆出により奉天署では蘆澤なる者に對し許可を受けしめ且つ將來を訓戒して放還した

(前略)力な低氣壓あり次から次へと東北方に進行してゐる關係であるが、それが高氣壓に迫はれると今度は俄に寒くなつて來る故に九月一杯は奉天も一體に暖かい最もよい時期であるが十月に入れば寒氣を覺えるやうになる農作物も水害も被らない地方は平年作以上の見込みである

町の便り

奉天敷島小學校では來る廿七日午前九時半から秋季運動會を開くが競技種目は四十餘種に上り支那側第二小學校からも出場する由

◇

奉天郵便局の自動式電話の開通式は廿九日午前十一時から新廳舍裡庭に於て盛大に催されるが當日は一般自動交換狀況を觀覽に供すると

◇

市内春日町丸京呉服店では廿四日午前二時頃金庫在中の金二百圓を何者かに竊取された目下容疑者として同家の使用支人二名を召喚して取調中である

人事

▲林總領事 二十四日安東より歸奉
▲田村滿鐵興業部長 二十四日安奉線にて來奉
▲山崎代議士 二十四日來奉
▲大岩滿鐵參事 二十四日撫順へ
▲大賀博士 廿三日湯崗子へ
▲立川警視 同上
▲下津鐵道事務所庶務長 廿四日大連より來奉
▲篠田關東軍經理部長 廿四日安東へ
▲内田領事 廿四日長春より歸奉
▲中尾長春署長 廿四日來奉
▲太原本社營業局長 廿三日奉天往復
▲藤村領事 廿四日歸奉

貨物盜難 蘇家屯で發見

廿三日夜八時四十分奉天着の貨物列車が蘇家屯に到着せる際その中の一貨車の戸が開いてゐたので貨物の盜難と知り係員はモーターカーで呉家屯まで赴きたる處同驛附近に貨物一箱が投げ出されてあるのを發見取調べて見るとその貨物から幾分か抜き取り五分の一だけ殘つてゐたが該貨物は内地より北寧線に入れる聯絡貨物で支那人向メリヤスシヤツが這入つてゐたものであると

季節外れの暑さ來る

奉天における昨今の時候は數日前に比し全く季節外れの暑さを感じてゐるが之につき奉天觀測所では語る

兩三日來奉天の時候は俄に上つて例年よりも二、三度高を示してゐるそれは北滿方面に可成有

哈爾賓

哈大洋票の前途は依然悲觀 舊紙幣の兌換効無く

官憲の維持策を尻目にかけて暴騰する哈大洋票に對して各銀行は廿日から新舊紙幣の兌換を開始したが根本に於て奔落步調を辿つてゐる哈洋は紙幣の交換だけでは決して昂騰せず、發行額を之によつて調節しやうとするは監督官憲最初の考へであつたが、暴落の哈洋を救濟する手段とはならないので現在流通してゐる總額――官憲は三千八百六十萬元と稱してゐる――約四千五百萬元を發行し尚五百萬元の增發をすることになつたので哈洋の前途は依然として悲觀材料に閉ざされてゐる、錢鈔市場では日金の上場を認めたが、支商等は大部分(一)各外國銀行に日金預金を有してゐるため取引をする必要ないこと(二)哈洋の信用低落に日銀の需要を増して行くが哈市で手數料を支拂つて交易市場で手合を行ふよりは必要に臨じ替にすれば遙かに有利である等のために開市後金融の取る等のため開市場に警ぎを感じ餘り香しからぬ狀態にある、逆に交易市場に圓金が上場されて閉鎖されたとなれば――さうであつた――市場に影響るが新に上場しても利用率は

皖南旅行記 【三】

亞細亞大觀社 島崎役治

蕪湖に歸る

山峽であるから涼しい、住宅は靜閑である、周圍にはポプラが鬱蒼と茂り前には松二三本立ち南方山大山頭の鑛山が猿へ運礦のトロが電力に依つて轉々と走つて居る夜に入つてから靜かさにかへり鑛山の處々に電燈が螢の様に光つてゐる、松岡氏は明日山を下りて内地に歸省され荷造に忙しいので私方は山の靜かさをあぢはひながら逍遙した、やがて夕餐が出來たので三人は鷄肉のすき燒に舌鼓を打ちながら山の話をいろ〳〵きく時間は過ぎて八時大雨沛然として降り來り軒を打つ音も凄しかつたが間もなくガラリと晴れた大空には星が輝き始めた。

夜は靜かに明けて冷々とした風が軟かに吹き入つて山の朝は閑寂なものだ、此所に居れば避暑地に居る様な氣持であると云ふ、荒くれ男の工夫達の多い鑛山もなれると平和郷となるらしい、よく澄んだ山の大氣を呼吸しながら暑さ知らずの山峽生活もまた惡くはないと思つた、朝飯が終つてから私達は大山頂に登つた、廣大なる山も原形のなきまでに採掘してゐる、日々働く工夫達の力も大きいものだ、彼等の皮膚の色は鑛石の色の様だ、何れも頑丈で筋肉が隆々と屈起してゐる。

此の山には水晶が採れるがあまりよい品になかつた、紫色のあるのも珍しかつた、山を下りて事務所に歸る、此の地方は水蜜桃の名産地であるので買つて食べる、美しい薄肉色で其の味はたまらぬほどよかつた。

四時に汽車が出るので私達は松岡氏と同車して荻港に着き事務所に入る、渡邊氏や三井汽船の高見山丸船長等と會談した、鑛石の積込み終るまで時間があつたから私は附近の山頂に登つた、そして荻港の市街を鳥瞰し展望を撮影する六時に積込みが終つたので、同船に便乘し蕪湖についたのは夜の八時、船長に別れて船を降り税關前に上陸した、旅館までゝかなり遠いが今日車夫達が税金問題で同盟休業したので一臺も居らなかつた私達は大空に輝く星を眺めながら夜道を步んだ、夜の十時漸く旅館にかへつた、途中山と運つて蕪湖は蒸し暑く寢苦い一夜を明した。(終り)

◇……積溪の黎明……◇

長春

支那人側の候補猛烈な運動開始 地委逐鹿界漸く白熱

地委改選に對する支那側の逐鹿戰は裏面的に相當激烈となつた模様であるが表面に表はれないので今回何人が立候補するやも知り得ない狀態である、現委員たる張國棟、孫化南、董子山諸氏は再出馬するだらうと見られてゐるが其他にも二三新顔もあるらしい、然し支那人側は有權者が多い割には支那人候補の得票が少く日本人側が激烈の競爭となるにつれて支那人側に運動するものも多くなり本年も既に邦人候補が相當支那人の中に手を延ばし好餌となるべき題目を持出して得票の狩り出しに懸命となつてゐるので邦人側に奪はれる票數は少くない、從つて本年の逐鹿戰の結果支那側の定數四名が果して有効に當選するや否や疑問である

金貸宅へ二人强盜

二十二日午後七時三十分頃大和通(以下[illegible])

能率增進講演

滿鐵社會課の招聘で沿線講演旅行中の池田藤四郎氏は廿四日午後七

金腕輪價格七十圓を拔き取り逃走した

濱江雜俎

鮮銀稻崎支店長は赴奉中であるが令孃が扁桃腺に罹り治療のため近く歸哈の由

◇

商工會議所では東行貨物の滯貨が依然として緩和されぬので東支側に交渉中

◇

金物商同業組合は廿三日商議會議室にて協議會を開催した、入札問題に就て豫め打合のためである

◇

大連大信洋行、既報の如く從來島崎氏の支店代理を擴張し活躍することになつたが、三姓方面に進出の意氣込みであると

◇

露字紙ルーポルは奉天白派露人のため時別の奉天版を廿四日から發行することになつた

の問題とされてゐる

松江餘滴

奉天軍の東支沿線への出動でメリケン粉は暴騰したが▲馬草がより以上に高くなつた▲これは多期に向ふからではあらうが、支那軍の一時に增加したことも亦一つの原因である▲一布度半の馬草が哈洋の六十五錢の値を出した▲馬糧にはカラス麥や大豆が使はれるがこれでは足らない▲それも此等支那軍隊の出動で馬匹は七千餘頭東支沿線に增えたからである▲馬草の徵發は到る處に行はれ農家の馬は多に向つて痩せる一方であるとは支那人百姓の實話である▲これで實際の戰爭にでもなれば軍需品はより一層高くなるであらうと百姓連は手持ちの穀類を放さない

北關夜話

商業學校の先生某のお父さんは二十二日の午後三時頃菓子を買ひに行くと出て行つたきり歸つて來なかつた▲何しろ七十四歳と云ふ高齡だから間違ひがあつては大變だと家人は大騷ぎ▲しかも其晩は篠つく大雨だつたので警察に屆けて八方探したが解らない▲賊にでも殺されたのではないかと心配してゐたら翌日の午後六時ヒヨツコリ歸つて來た▲當人の話を聞いて見るゝ、何でも賀城子方面にまぎれ込んだらしい▲言葉が解らないからウロ〳〵してゐる間に一晝夜以上が經過▲一臺の馬車が通つたが其車に長春と書いてあつたので之について行けば結局長春に歸れるだらうとテク〳〵馬車の後をついて來たのださうな

音曲大會

時から二時間社員倶樂部で能率增進に關する講演を爲した

目下來長して滿洲屋旅館に投宿してゐる唄の師匠澤田咲子さんは來る二十三日演藝館で公開する由だが當日のプログラムは左の通り

一、歌澤二、小唄三、端唄四、追分五、清元(夕立)六、落語(櫻川丹平氏)七、長唄(吾妻八景)八、長唄(四季)九、尺八(名和氏)

鞍山

公費の滯納者は地委選擧權無し 廿八日迄に納附必要

鞍山區地方委員の選擧は愈々十月一日演藝館に於て執行される事となつたが地方事務所の調査に依ると市中側の公費滯納者百名以上にて此等に對しては此際納入方を勸告して居るが來る二十八日午後二時までに納入せざる者は選擧權を失ふ事になれば豫じめ心得て置かれたいと

選擧餘談

地委選擧も後五日に迫る立候補の顔ぶれも滿鐵側五名町側七名支那側一名の十三名に定まつた

×

前回地委改選の時は日本人十名支那二名の十二名で唯一票を爭ふのみで左程の苦戰も見なかつたが本年は支那人は別として日本人二名の落選者を出す譯であるから可成り激しい戰が演ぜられるであらう

×

新陳代謝もよいが現委員中より石川さん一人とは心細いと言ふ人もある勇退組を一人で背負つて立つた石川さん鞍山の現狀及將來に鑑み節約緊縮の方針に共鳴し節酒禁煙自ら驚馬に鞭ち大鞍山建設を目標として再び地方委員候補に立つたとの名刺をもつて自ら陣頭に立つて大に活躍して居る

×

渥美、野毛兩立候補の妻君が夫の參謀となつて女丈夫振りを發揮して居るとのこと賴母しい

×

日和を見て居た病院の三重野さんが地事、兩學校關係から推されて俄かに立候補したので中には當て外れのものもある模様

×

何れの候補も優勢で今の處何人が當落するか豫測を許さないがどうせ三名だけは落馬の悲運を見なければならないのであるから互に褌を堅く締めるが肝腎

撫順

製鋼所運動一段落

製鋼所問題の運動も一段落を告げたので加藤實業協會長、木下梅之助研究會長、神田藤兵衞の三氏は二十四日赴奉、領事館、實業協會、滿鐵等に新聞社等を訪問挨拶する

千山神社大祭

千山神社の秋季大祭は廿二日前夜祭二十三日本祭が執行されたが餘興に手踊、素人芝居等があつて例年に見ない賑はひを呈した

處があつた

二十數名で大混戰狀態 當選圈内に在るは誰々か 地委選擧目前に迫る

撫順區地方委員總選擧の日日前に迫り且つ今年は立候補者が多いので大混戰を呈してゐる、何れの選擧事務所でも十四五名から四十名位の運動員を使つて朝早くから夜の十二時頃まで活動してゐる有様はすごい位だ、町の要所々々には堂々たる立看板があり或る者は理想選擧を標榜し或者は戸別訪問の叩頭主義中には一票幾圓とか十幾圓とかの實彈戰法を用ふるもの、其他あらゆる戰術が行はれてゐる、その白兵戰の焦點は黄白で誘ひ易い支那町有權者方面及び候補者を出さぬ炭礦運輸、學校關係、龍鳳、楊柏堡等で二十數名の候補者は一齊にこれを覘つてゐる、ところで各候補者の現況は大體左の通りである

▲寺西奎之君 氏はおそらく市中側としては最高點であらう、地方の員として其の閲歷と言ひその地盤は拔き難きものであり、交際廣く日頃からの親み者多く絶對安全な一人である

▲古賀初市君 多年の地盤たる町内會、禪楼街、綺南商方面、支那町方面はもとより炭礦方面も後援者が多いので當選は確實であるが、その運動方針が極めて微温的で超然過ぎてるきらひがある

▲岡本兼松君 君も當選疑ひなし相當の高點を占むるであらう

▲蜂谷文平君 近く炭礦を勇退すると云ふので餞別投票だけでも當選間違ひなし、だが君の從來の地盤が本年は三分されてゐる關係上最高點は望まれまい

▲土方義正君 千金方面は勿論、工務事務所方面は結束して君を推してゐるので、金城鐵壁炭礦側の最高點と視られてゐる

▲飯村憲吉君 是も坐つてゐても當選間違ひなしと折紙をつけてもよい

▲王君 支那側候補者二人の内當選圈内と觀てよいのは君一人

▲後藤愛助君 今期は頗る乔氣にかまへてゐるが、君には隱れたる後援者があるので當選確實

▲磯端宗次郎君 青年聯盟の公認候補といふ强味のある上勞務係方面にも後援者が可成りあるのでまづ安心の方であるが油斷は大敵

▲福田寅一君 田中廣吉君の地盤がある上大分縣人會か相當力瘤を入れてゐるので是も當選疑ひなし

▲西川淸兵君 今回始めてであるのと何んと言つてもまだ若いから非常な苦戰は免れまいが當選はするものと見られてゐる

▲山本可鹿君 内野御大始め病院こぞつてやさしい看護さんまで一系亂れず後援してゐるのであるからまづ大丈夫

▲小池謙三君 衞生係、警察方面は悉く君を推して居り如才がないから是も大丈夫

▲伊東能次郎君 當選圈内には入れる見込

その他坂本吉三郎、伴久雄、宮崎重助、加藤百太、飛鳥井、切山、池島、河瀬君等々は

互格の勢力

で進みつゝあゝ蓋をあけるまで推測を許さぬ、併し豫想の番狂はせもあるものゝ如く、餘す一週間の努力如何で當落は決定するのだ

赤十字視察團

日本赤十字各支部病院長並びに醫博小原信行、△北海道支部病院々長古開末能△滋賀支部病院々長醫博伊藤秀△朝鮮支部病院副院長稻田博△宮城支部病院々長醫博内藤勝△岩手支部病院長醫博秋葉隆△秋田支部病院長醫博横(以下[illegible])一行二十七名は二十四日十一時來撫日動車を連ね、露天掘、製油工場、電所等を觀察十五時五十五分にて離撫したが一行の主なるものは次の如し

△赤十字本社高橋救護課長、赤十字病院本社副主事堤元輔△茨城支部病院副院長、醫博志村國作△三重縣山田病院長院長、醫博

である

華工二名慘死

二十四日午前五時二十分古城子露天掘第二區西方段四十三號ショベル作業中石炭の自然崩壞に華工孟誌(三〇)外一名即死

對大連實業戰 二十九日に延期

大連實業對撫順倶の野球戰は實業側の都合で延期になり二十九日午後三時半から愈々永安臺球場に於て相見ゆる事に決定した

七八人組の電線泥棒 各所を荒す

二十二日午後九時中學校と公學堂との中間動力線二百米突、同日午後八時大官屯石川煉瓦工場南方と第二發電所の二十九、三十、三十一電柱間の二百封度、話線百八十米、二十四日午前撫順神社南側の電線(電柱一本間)百二十米二十四日午前九時蘆ノ街中大路の老虎臺採炭所電燈部の電線百五十米を切斷された、犯人は何れも七八名組でペンチ様の刃物にて動力線を巧に切斷竊取せるものである

安東

體育デー計畫

大和小學校では十月三日の體育デーには徹底的に此の宣傳をする爲め全校生徒の旗行列を行ひ、先頭には體育を意味する文句を書いた大幟を掲て標語を連ねた宣傳ビラを各戸に配布し二三個所に於て生徒の合同體操を行ひ、父兄も兒童も協力一致して體育及び健康の方面に努める方針である

廣出夫人逝く

安東憲兵分隊長廣田光雄氏夫人は過般來よりチブスにて滿鐵病院入院加療中であつたが、藥石効なく二十二日午後六時十七分永眠、享年三十歳

田道之その他各部病院長醫博七名その他

(前略)昌街十一番地小寺洋行安田方店舖の一部より出火したるが、發見と同時に消防隊及び警察署に電話を以て報告したるに時を移さず消防隊並に警察署より出動協力消火に努められたる結果大事に至らず同四時全く鎭火、損害は約四百圓なりと

映畫觀賞會

青年聯盟本部主催の洋畫映畫觀賞會は廿五日午後六時より公會堂に於て獨逸ウーファ會社特作「ファウスト」全十卷及び名犬リンテンテン主演の「咆哮する猛者」全六卷を上映

遷宮祭協議會

二十五日午後三時より地方事務所會議室に於て地方委員各區長其他有志參集左記に關する諸件の協議會を開催した

一、神宮遷宮祭に關する件
一、國母陛下御慶事に關する件
一、軍隊宿營其他に關する件

安義雜聞

國境スポンヂ野球界の雄貨友軍は二十三日新義州鴨江日報社主催の國境スポンヂ大會に出場し、今春優勝せし道廳軍と四時半より對戰したが、敵軍水田投手のため全然打擊を封ぜられ遂に四對一といふスコアーにて敗退した

◇

來月下旬當地洋畫家火狗連第二回繪畫展覽會を催す筈であるが、中には實に見事なるものもある模様である

開原

巡警と兵士が入亂れて鬪ふ 双方數名負傷者を出す

去る二十二日日曜の休暇に紅頂山駐屯第十七團第十營第一連長李某は部下二百餘名を引率し昌圖城内に到り、市中散策中一行中の排長某は部下二名を連れ某煙館にて阿片を吸煙せるを同家附近を見張中の巡警は之を發見し逮捕の上

公安局に

引致せんとしたるに、數十名の兵士集り多數を頼みて該排長を取り戻さんとし暴行を加へたるを以て、巡官王某は威嚇的にブローニング拳銃を發砲せし爲め之に激昂せる兵士等は益々反抗氣勢を揚げ茲に一大鬪爭を惹起し、一名の兵士は貫通銃創を受けた、之を聞いた李連長は直に多數の部下を引連れて現場に到りて益々大事となり兵士側には又も四名の負傷者を出すに至つた、然るに兵士側は武器を所持せざるを以て各巡警派出所を襲ひ武器を強奪し、又肉屋にて肉切庖丁を奪取し或は棍棒を手にして對抗せる爲め巡警も五六名負傷し、三名は殊に重傷に陷つた、兵士側は直ちに

負傷者を

軍鐵で運搬病營したるが、一方巡警等は此騷動に逃走し何れも私服に着替へを逃れ商家は門戸を鎖して戰々兢々たる有様、可哀想なのは負傷巡警等で長時間手當するものもなく路傍に放置され終日も當られぬ有様であつた、併し商務會長其他有志が急遽紅頂山に赴き團長に面會圓滿解決方を願ひ出たるため團長が直ちに馳せ付け漸く治まりたるが、目下縣長公安局長共に出奉不在中にて、張縣監では第一公安分局長鄭玉彬を引致取調べ中なりと云ふ

挑晩の出火

去る二十二日午前三時半頃當地福

四平街

市中軍が斷然優勝 B組庭球戰

滿鐵庭球部主催組優勝旗爭奪戰は二十二日(日曜日)午前十時半より公園コートに於て開催せられしが、名譽の覇權を目指して馳せ參ず精銳四個軍八十名それに數百名の觀衆を加へ異常なる盛會であつた、試合は最初から大接戰を演じ市中軍は第一回戰に聯合軍を十九對十七にて一蹴し、優勝戰にて機關區軍を十九對十一にて破り不戰二組を殘し最初より壓倒的にリードし斷然優勝した

鐵嶺

自轉車泥棒 二名捕はる

本年四月以來當地に頻々たる自轉車の盜難事件あり松島町の如きは殆ど軒別に竊取せられ其數十數臺に達せるが犯人二名は遂に二十四日捕へられた、犯人は開原城内東門裡于義(二〇)瀋陽鐵西門裡盧成福(二五)と稱し列車で竊取せる自轉車で奉天に走り處分して又鐵嶺へ稼ぎに來てゐたものである

軍隊慰問團

奈良縣聯兵會長代理飯田靜夫氏を團長とする奈良縣派遣の駐滿軍隊慰問團十五名は二十四日午後九時着

遼陽

御附武官來遼

秩父宮殿下御附武官本間中佐及び孫田陸大教官は廿四日午前首山附近の戰蹟觀察午後零時五十八分遼陽驛着、軍隊側、見坊所長、早山署長其他有志の出迎へを受け一先づ遼塔ホテルに入り午後南門外方面觀察同夜一泊翌廿五日煙臺沙河附近觀察の爲め北行

巡警の減俸

瀋陽縣公安局では物價騰貴の爲め巡警の給料も數回に亘り增額して居たが、經濟緊縮の外奉天縣も近來餘り變動なき故を以て九月から給料の七割に減額支給する旨省政府からの通牒を配達したと

保線區家族會盛況

遼陽保線區では廿二三の休日を利用し鞍山苗圃で家族會を催したが中間丁場在勤者の家族も參加したので總數約一千名に及び極めて盛會であつたと

安達家の不幸

遼陽大和通り安達藥房の母堂トヨ子刀自(八〇)は昨年の御大典に大盃下賜の光榮に浴したのに本春來罹病家人の手厚き看護も効なく廿一日夜永眠翌廿二日西本願寺に於て鄭重なる葬儀が行はれた

營口

平康里で亂暴 苦力に巡警發砲

二十三日の午後七時頃二本町派出所前に於て暗を破つて二發の銃聲がしたので同派出所ではスワ馬賊よと直に飛び出で見たるに逃走中の苦力の一群に向つて二名の巡警が拳銃を發射したることが分つたが之は神廟街に於て目下建築工事に從事中の苦力頭藤雲甫(三三)が友人の買某と共に小平康里鳳寶堂に登樓し同樓の酌婦金花及劉鳳來の二名を揚て飲酒中酌婦が苦力の分際で散財とは何事だと罵倒して相手にせずその上主人が酌婦に加勢して追ひ出したので彼等は休業中の苦力四十名をかたらい同樓に闖入し手當り次第に器物を壞すので樓主は警察に急報し急を聞いて駆つけたる巡警を見たる苦力等は暗にまぎれて逃走したので之を追跡して發砲したるものなること判明したが本署よりは急を聞いて宇和田警部補等數名かけつけるなど一時はなか〳〵の騷ぎであつたと

間島

活動寫眞

お馴染の満活社では松竹映畫鈴木傳明主演陸の王者全十二卷及中根龍太郎主演の時代喜劇提灯全六卷を二十六日一晩公會堂に公開すると、入場料は大人八十錢、軍人半額、小人二十錢

列車にて來龍一泊翌朝六時半龍井司令部を慰問守備隊に到り各市別に慰問將卒全員と共に晝食後市中を見物署内で小憩夕食後六時半發列車で南下した

夫婦を殺傷 强盜支那兵

十八日夜頭道溝居住支那人孫明煥方に侵入して孫を射殺し其の妻子に瀕死の重傷を負はせた兇漢があり、支那警察で搜査の結果、右は同地駐在支那陸軍第一營第一排兵桂某が金品の强奪を狙はれた上の仕業と判明、同人は兇行後銃器携帶のまゝ身を晦ましたので引續き搜査中

第二回 滿日勝繼碁戰(北川氏一回目勝二回目) 先番 秋元豐二郎氏 先相先 北川新平氏 (1)

▲國崎四段講評 黒十三惡し十四に引き白(い)黒(ろ)と打を定石とす

SMOCA
SMOKER'S TOOTH POWDER
TRADE MARK
スモカ
進め
頭腦と性慾
危險地帶から安全地帶へ
トツカピン
衰耗狀態から潑溂狀態へ
MASTER
マスター200番クリーム
小口女史最近發見の
美白化の素「L10番」を
クリームに應用することを研究完成しました。このクリームを肌にスリ込ますると、ごく緩和に美白素が發生しまして比類なき美白化力とクリームの效力を發揮いたします
マスター二百番がこれでございます
小口女史研究發表
▲色黑く顏色よくなき方には
マスター百番の自然色が最良
地肌も共に美白化し
肌を芳香化する水白粉
▲肌白くなく淋味勝の方には
マスター百番の新肌色が第一等
マスター百番
今・殺菌力強大の仁丹を
消化素
口香料
四博士責任薦
ポケット必携
仁丹
小粒仁丹
リング容器
●高貴藥サフランを倍加特製す
仁丹は殺菌力強く、胃腸の本質に活力を與え、機能を旺盛にし弛緩を直ちに回復緊張せしめ適量の胃液の分泌を促す。故に惡疫豫防、消化、食慾增進、抵抗力の增加を同時に奏効す
惡疫流行の現今、朝夕の仁丹御愛用により、常に胃腸内を無菌狀態にするが刻下の急務!!
小粒仁丹三十錢包に無代添附す
時候變りに手離せぬ……
救急護身藥
大粒仁丹
七十錢函に無代添附の
鍍附百宝容器
齒の爲めに一番よい
仁丹のハミガキ
齒磨界の最高權威
仁丹の煉歯磨
日英米佛の專賣品
仁丹の歯ブラシ
一家一本は是非必要な
仁丹の体温計
驅黴新藥
百毒を下し
通じをよくす
ひゐ、しつ病者最良の特藥として定評あり
眞鍮看板
ネームプレート
調製
大連市浪速町十七
沖本ブリキ店
純植物性
金鶴香油
餅は……餅屋へ
煖房衛生工事の御用命は
高石商會
新涼ご寐冷え
食傷による下痢と腹痛に
所謂お腹の掃除に
糖衣アドース錠
藤澤友吉商店

文藝

『阿片戰爭』と其改作に就いて
―最初のヨーロッパの旗―

（一）　青木實

材料蒐集に多年を要したといふ江馬修氏作「阿片戰爭」は「戰旗」九月號に獻つてゐる。五幕十三場といふ大係りの戯曲である。然るに村山知義氏作「劇場街」九月號所戰「最初のヨーロッパの旗」四幕八場は、江馬氏作「阿片戰爭」の改作であるのだ。

九月上旬、築地小劇場は更生第一回興行に、トレチヤコフ作「吼えろ支那」と共に、江馬作「阿片戰爭」を上演した。ところが、その演出を擔當した村山知義氏は、江馬作に多大の改良を加へて上演した。右、終演後、村山氏は尚不滿の點ありとし、氏の改作を延長して「最初のヨーロッパの旗」を江馬氏作と同時に發表したのだ。

江馬氏はこれを「氏は（村山）僕と同じ陣營の同志であり（兩氏共ナツプ所屬）同じ立場に立つ人であるが、生活經驗、氣質、趣味いづれも僕とは異つた人だ。隨つて原作者の個性的印象が、かなりな程度に村山氏のそれによつて置き換へられるであらうことは止むを得ない事だ」――（築地小劇場リーフレツト）九月號で言つてゐる。

村山氏は築地上演に際して言ふ「第一には阿片戰爭の戯曲化に際して捕へるべきモメントに關する江馬氏と私との意見の相違であり第二に戯曲構成上の様式に關する兩者の相異であり、第三に經濟上時間上の制限である」と。

阿片戰爭といふ英帝國主義の支那に於ける搾取の第一ページに對する、上述二氏の見解及び表現の相異を、その三つの作、江馬作「阿片戰爭」築地臺本、及び「最初のヨーロッパの旗」に就いて少し書いてみやう。

一言にしていへば江馬氏は餘りに史實に對してのみ忠實であつた試みに同氏作「阿片戰爭」各場面の要素を簡單に摘録してみる。

第一幕
廣東英領事の阿片密輸入に關する支那ブル商人との結託、及び支那侵略を企畫する。

第二幕一場
廣東廣西總督は、阿片嚴禁英人を捕縛し、以て天子の御心を安んぜん事を議す。」

同二場
阿片燒却の場

同三場
英人牧師に對する排斥

第三幕一場
印度の阿片栽培地、廣東英領事東印度商會支配人との密議、阿片はここで幾らでも出來る。支那に市場を殖やすこと、支那が現在阿片を拒否する以上は、武器を以て賣りつける、右手に阿片を、左手に聖書を、而して侵略をしてゆくこと等等。

同二場
フキルム、イギリス軍艦の廣東攻擊。」

同三場
英國下院、軍事豫算の可決。」

第四幕一場
支那の敗戰

同第二場
廣東都統海齡の戰死。」

同第三場
革軍に講和申込。

同第四場
英兵と支那兵との、支那農家に於ける、掠奪暴行。

同第五場
英砲臺を、支那農民の反英團が占領、そこへ支那兵來たる、農民との亂鬪。

第五幕
戰爭五年後、英帝國、香港占領英人、支那ブル商人の横行。その宴席である。偶然苦力の暴動蜂起宴席の混亂。英軍隊の出動暴動鎭靜、隣接商館からの火事さはぎの中に幕。

初秋新風景（3）
『王中の王』

榮華人

おゝ、ゴツデム！何と吾輩の妖力非凡に驚いたか。まさにわが高木照子孃の心を和らげ、婉然たる微笑を取り戻したのだ「初秋新風景」の臥言、こゝに於てか必ずしも持てたものでない事を知る。何と光榮の秋よ、だ。

俺が日頃から不良老年を以て自任してゐるが、不良なるが爲に、必ずしも惡ならず、時には撫談以て人に誤解を招くおそれはあつても尚禿筆を捨ざるの類だが、そもそも、俺が高木照子孃を云爲するのは、つまりこの不良老年に何か求めるものがあつての爲なのである。手つ取り早く言へば俺の切に必要を感じてゐるのは所謂「王中の王」なのだ。

展望すれば、俺の視界の限りは滿開の花園だ、仔細に點檢すれば何れも川家をだち、手折らうとする心も起させぬ。大會社の手前ちよ恥かしくはないだらうか。

さて高木照子孃の友人に、M孃あり、M孃の友人にして、その名をさへ知らぬ少女あり、俺はその少女を隨分と久しい前から見てゐる（かりに此の少女を×孃と名づける事にする）

今更、戀でもあるまいが、×孃に出會ふ事數重なるに連れて、俺はほのかなほてりを心に感ずる。この少女、丈高からず。豐艶色は飽く迄白い。

あゝ、協和會館にレコード、コンサアトの催しあるや、俺をして打驚、參館の餘儀なきに至らしむるもの、この孃あるが爲に他ならない。

こゝに於てか、俺は切に某博士の餓饌する所の「王中の王」を要する所以である。

何ぞ、彼の館に、瘦軀骸骨の如き、出所明らかならざる輩の音樂解説とやらを傾聽するの愚をなすものぞ。幸ひに解説子よ、俺の回春起死の靈藥は騙つて君の痴説を聞かしむ。×孃、赤蔵なり。

と、言ふ程でもないが、殊更に俺のこの言を有らしめたからには相當に感じの好い人だと言ふ事位は判るに違ひない。

諸君よ、俺の爲にその少女を近づきこさせては呉れまいか。何かの機會が、さう言ふ風な具合に行かないものだらうか。

高木照子孃に頼む事にし度いが直接の友達ではないらしいし、M孃は俺とは知らない間でもないから、一應M孃に話して見る事にして見ようか。

俺は前章にも言つておいた樣に多少俺は魔法の心得がある。恐らくこの數日のうちに、×孃は俺を顧みて、微笑み位は呉れるかもしれぬ。

ええつい！この自惚男め、手前の面では、何の微笑みだ「王中の王」でも飲んで、おととい來い。O、K、合點だ。

彼岸に病む
―臥待月と共に―

横澤宏

九月十九日。

立待月、この頃から微熱あり。些か頭重たく、鼠せわし。

夜に入つて友來る。

月を踏んで、甚を歩かうと誘はれ、檢溫器をポケツトに信濃町の喫茶店に行く。

ウヰスキー二杯を飮んで再び月影を踏む（體溫三十七度を越す）更に西廣場邊りの酒場に赴きて快飮。此頃より些か酩酊。

（三十七度なにがしの熱、いづれへか飛んで無し）

九月二十日。

居待月。午後頭痛烈し。」

九月廿一日。

埠頭に某夫人を送り、歸宅後、遂に病床に臥す。即ち「彼岸に病む」――臥臥待月の如く。

九月廿二日。

醫師を招じて診る、胃腸より來れる感冒、安靜を保つべし、と宣せられ急に病人を意識する、主家の女人、枕頭にコスモスの花を飾つて下さる。大いに微笑を覺えて眼を閉ぢる。

九月二十三日。」

彼岸の中日。

友來り文學の話に日を暮す。」

徳田秋聲の「ペトロンを捜す女」（中央公論八月號）を最近讀んだ小説での白眉と、僕大いに推賞する。それから十一谷義三郎の「唐人お吉」讀みたきものゝ一つである、と話す。

「横光利一、郭田如何？」と友に問はれ、僕「駄目だ」と答ふ。

「ぼくは新しい作家、古い作家に眼を向けない、古い作家、古い作家をたづねて、古きなかの新を探る」と友の言葉に、僕、大いに學ぶところあり。

大阪朝日に連載されてゐる里見弴の「闇に開く窓」も面白い。と激へられ、一日讀んだきり其のつまらなさに捨て了つた僕の粗忽を今更怨んでみた。

岸田國士、東朝に「由利旗江」といふものを書いてゐるが、餘り感心できない、と僕――結局近頃は「實話」と「大衆文藝」全盛の時代だからかなわない、と言つて久しく沈默した。

然し現下の文學陣中、何んと言つても左傾派の活躍はめざましいものだ――とは友我れ共に感歎した處である。

友、歸る。

秋に枕し文學談を交へたことに驚き昴奮をおぼへる。

夜、蚊遣りを焚き大佛次郎書くところの「赤穗浪士」下卷を讀みつゝ、睡魔を呼ぶ。

ふと――溫泉に行きたい心仄かに動き、頻りに山峽の溫泉宿を偲ぶ。

（髪刈りをらつて秋の燈を剪る）

――完――

九月十九日子規忌三昧會

小段湖村

朝々通る家の庭も狭カンナ

昨夜仲秋の栗賣り出初め父の忌母と」

本田饒城

夕せまる部室ふみどころなく子供歸らず

木曾川にて

舟游れつ手のとゞく思ひの丸石ぎつしり

西津五春

神釣あぶれのうねり白波無なきつれ

一番自動車柿葉はりの山かけて鷽白う

滿洲短歌會旅順支社 九月例會詠草（二）

菱田世紀

今のうちによく食べて置け鶯馬等よもう青草は狐色になる

中山吉左右

青芝のいと心地よき彈力に我れ倒れ立ちぬ嬉れしくてならず

永原いね子

稻の穗に秋風吹くを珍しみ廣野の道を遠くもあゆめり

寺本初音

水清き旅順の海を見下せば此の身も靈の心地こそすれ

瀬下にいす

夕まけて家に歸れば灯は明し其の窓邊には子等待つらむか

末野稠

耳とる山ふところは秋のけはひすがしくも肌に冷ゆるを覺ゆ

南一草

高粱の野の道遠み戀もあらむ支那の娘の紫の衣服

冷たい屍

砥上榮次郎

旗振の準吉は、幾度死の誘惑を受けたか知れない。

彼の、身も魂も吸ひ込む樣な勢ひで驀進して來る機關車の恐ろしい機械の呻りや、其の鈍重さ、例へば腕を伸ばして掠奪する樣な狐狀運動を續けるコネクテイングロツト、其から赤い神經をつゝく樣なホイールのガバナーの操殺、ボイラーから立ち昇る陽炎、ピストンのエキゾースト等々、彼の近頃の全部に喰ひ込んでゐる憂鬱さを一層汐摺り寄せるに充分であつた。實際彼の心は平靜を缺いでゐた荀々した氣持が、ふいと死の誘魔にみせらるゝ事があつた。

十年間も、彼が丹精に育て上げた娘のお葉が、何處の馬の骨とも知れない運送屋の會計と逃げてから、三年の間といふもの、何の便りもなかつたのである。

でも彼の面憎さが思ひ募れば募る程、娘も一緒に憎む氣にはなれなかつた。

乾度彼が手管に乘つて、連れ出されたお葉だと思ひ、何時かひよつこり歸つて來るものと信じてゐた。其程父お葉をねんねだつたときめて、溺愛してゐた準吉にして見れば、堪らない淋しさでもあらう。

お葉は、彼と逃げて半年餘りと言ふものは、殖民地の寄合者の中で、所謂大まかな隣人の親切に狎れて、若夫婦らしい生活を味はつてゐたが、根が山師風な、其も裏手をくぐつて一儲けしやうとする彼が、根こぎ喰ひ潰つてしまつた時、筋目の通つた仕事で盛返す事が馬鹿氣てる樣に思はれたのである。

別に女は出來るし、金には詰つて、到頭お葉とも相談づく乍ら、たゝき賣つてしまつたのである。

其迄お葉にだつて、段々惡ずれた、慘さの生活には慣れ切つて、他の男にひつついて居た事もあつた。そうしたお葉が、惡い病氣にうつつて苦んでゐても、切れた彼に無心を言ひかける事も出來ず、氣紛れに喰付いた男には勿論そうした相談に乘つて呉れさうにもなかつた擧句が、たつた一人の親である準吉に、細々と事情を訴へて金の苦面を頼んで來た時、矢張り俺の子だものてな氣持で、早速送つてやつたのである。

そのお葉が、小さな骨壺に納まつて、あちらの樓主から送り届けられた時、一日中飯も食はずに考へ込んで居る準吉であつた。

お葉は――お葉はどうして死んだであらう？

誰が死水を取つて呉れたか知らと思ふと、立つても座つても居られない程、彼を憎む心がむらがり起つて來るのをどうする事も出來ずに居た。準吉の目には涙で鐵の樣に視界を遮られた。

そして轟々と凄じい音で迫つて來る機關車の氣配は、彼の多年の經驗が教へ、淋しい笑をさへ憶へて待つ氣持に落着けた。

圖書館小話（一〇）
讀書の利不利

橋本生

家庭の愛に浸つてゐる友人が、その幸福を喜びながら、同時に讀書や思索に親めないことに、相當の不滿を感じてゐるらしかつた。「家庭生活に滿足するのは結構ではないか」といふと「併し空虛だ寂寞空虛を覺えて仕方がない」と答へた。一方に滿足しながら、足るを知らざる人心の常で、更に他の點に不滿空虛を發見することは少しく反省力ある者の、誰もが經驗する所で、殊に讀書に興味がある者にとつては、他の何物を以てしても之に代へがたい心の起ることは、屢々あり得る。私は友人の心中をよく諒解することができた。

併し私は、

此の頃、成るべく本を讀まない事にした。いつもさう思つてゐ、實行はなかなかむつかしいので、決心としては、もう今後は一冊も本を買ふまいと思つてゐる」と敢てさう云つた。餘りに相手の心を打ちこはすことにはなるが、わざと逆らう爲めに言つたことは、相手にも通じたらしい「君は、そんなに僕と正反對なことを考へてゐるか！」

誠に全然反對である。人にもより、時にもよらうが、私は讀書から來る不利を痛感し初めた（利が無いとは云はぬ、不利は除かれもするが）友人からせめられて、言つたことだが、書物に對する私の警戒の手を緩了せぬ爲めに、こゝにも記して置きたい。

讀書は、當然の結果として、私共の思想を進歩させる。知識を多くして呉れる。が其の事は、直ちに私共の心中に、或る不調和と不滿足とを芽ぐむ因となつて、慾望と境遇と、實行と思想との距離を漸くにして大ならしめる。頭の中は、四六時中、疑問と矛盾とで充滿する。私はそれが苦い。苦いより、無益ではないか。知識を單に知識として樂しむ人は、この苦みを嘗めたいだらう。讀書夫自身に耽溺するほどの餘裕をもたぬ私は、用心せぬと、直この病氣に襲はれる。

それに、私は自分で遭した問題を、自分で解決したい癖がある。それが人前に出せるものでなく、無益なること、不注意な讀書と同樣であらうが、解決したことは、書きつけて見たい。問題を解決せずに、解決したものを投げやつて置くことは、仕事の後片付けが濟まなかつたやうで、甚だしく私の生活良心を裏切る。興味のありさうな問題に、手を觸れずにやり過した後の淋しさは、音樂會を聽かなかつたり、野球の一ゲームを見外したなどの比では無い。書物は自分の要求を滿足させるかといふに、さういふ本には容易に出會はぬ。自己を長養して呉れるよりは時としては、自己の生命を削取る思索をし、ものを書くことである今日一日を生活したといふ意識がはつきり頭に浮ぶ。その代り、讀むよりも苦痛かも知らぬが、それ以上の樂しみを以て報いられる。快心の一章を得た時は、快心の一冊を讀破した以上に、高い價値を自分として感ずる。讀むことに比して、書くことの方が、より多く自己を愛護する所以である。

「書くことは、其の度毎に自己を亡失しつゝあるのではないか」と友は云つた。

附記、書く度に自己の愚をさらすに過ぎなかつた記事を、これで一先づ切ります。讀者諸君のお目障りだつた事と存じます。

日伊人が共謀して拳銃、彈丸の大密輸を企つ

露西亞町波止場から陸揚げせんと漕ぎつけた處を御用

二十四日午前四時ごろ市内北大山通波止場に薄闇に紛れて舢舨を漕ぎつけんとする不審の外人あり、巡邏中の北大山通派出所員が發見取調べたところ、舟の中にブローニング拳銃百八十挺、彈丸一萬八千發隠匿しあり、大いに驚き逃走せんとする外人を逮捕したが、右は目下大連埠頭十四番堤に碇泊中のイタリー船ドケサドアスタ號三等機關士コラマリヲ(三〇)といひ、右の拳銃は原籍長崎縣南高來郡南有馬村當時市内加賀町三一水上行商人中村利喜雄(三〇)と既に賣買契約を結び、前日右代金六千五百圓を中村より受渡せるものと判明、中村も直ちに逮捕され目下水上署で取調を受けてゐるが、彼は商賣柄大連港出入船員に懇意なるを利用しこの大密輸を企てたものである、なほ他に共犯者ある見込みで厳重取調中

赤ン坊審査會今年も開催

金子博士を委員長として健康相談會も開く

昨秋初めて行はれた大連市主催の赤ン坊審査會には六百名の可愛い赤ん坊が審査を受けたが、此の意義ある第二回審査會及び健康相談會を左の如く催すことに決定した

赤ン坊審査會

一、資格 ▲甲種 滿三箇月以上滿一歳以下の健康乳兒(昨年十月廿一日より本年七月二十日迄出生の者)▲乙種 昨年の被表彰者

一、審査日時 十月廿一日より同廿四日迄四日間

一、場所 大連市社會館

一、表彰數 最優良(甲種五名、乙種二名)優良(甲種三十名、乙種十五名)佳良未定

一、賞品、表彰狀其他 當局に一任

一、表彰日時 十一月三日(明治節)

一、會長 石本市長

一、審査委員 委員長(金子博士)委員(池田、今井、幡井、梶田川島、永原、梅森の諸氏)

一、助手 産婆四名、看護婦六名學校衛生婦六名、濟美婦人會員十五名以上

一、審査方法 昨年の審査に準ず

一、審査表其他 委員長に一任

健康相談會

一、場所及醫師 松林小學校(梅森氏)常盤小學校(今井氏)日之出町及沙河口滿鐵俱樂部

一、資格 滿三歳より滿六歳迄

一、日時 十月二十一日

一、其他 口腔衛生相談は聖德、常盤、松林の三小學校にて

帝都六大學野球戰

帝大雪辱 二對一で 對明大二回戰

【東京二十四日發電】六大學野球リーグ戰帝明第二回戰は廿四日午後二時三十五分より駒澤球場にて帝大先攻にて開始結局二對一で帝大雪辱す閉戰同四時十分、バッテリーは帝大(遠藤、小林)明大(中津川、八十川、井野川、手塚)

回數 一二三四五六七八九計
帝大 001000001 2
明大 100000000 1

早大快勝 五A對一にて 對立教二回戰

【東京廿四日發電】六大學野球リーグ早大對立教二回戰は廿四日午後二時三十分より神宮球場で立教先攻で開始、四回まで兩軍とも點をなさず五回立教一點を得たのみで後半戰に振はず、之に對し早大は五回二點を得てリード更に六回に三點を加へ結局五A對一で早大快勝した、閉戰同四時卅五分バッテリーは早大(小川、多勢、伊丹)立教(辻、小笠原)

回數 一二三四五六七八九計
立教 000010000 1
早大 0000230 0A 5A

早大惨敗す【東京廿四日發電】早慶對抗庭球戰は早大川地佐藤の二組が勝つたのみで結局第一、二日を通じ七對二で早大惨敗

東京帝大優勝す

關東競漕大會

【東京廿四日發電】日本漕艇協會主催第九回大學專門學校關東選手權競漕第二日は廿三日尾久新コースにて午前十時十五分より擧行されたが決勝では帝大は一艇身の差で慶大を破つて優勝した、之にて帝大は來る二十九日の全日本大會にて關東代表として關西代表關西大學と戰ふことになつた、尚ロンドンカップ關東決勝は帝大工學部の獨漕で記録は七分五〇秒、斯くて午後四時半閉會した

沙河口工場軍遂に優勝

實業大會終る

大連實業野球大會最終日、豐年製油對沙河口工場の優勝戰は二十四日午後三時二十五分實業球場で開始

第一回豐年先づ敵失と二安打に四點を入れ優勢と見えたが其後振はず三回一安打一四球に一點五回二壘打に一點、六回三壘打に一點計七點を入れたるに反し沙河口軍は一回安打と四球に二點、二回四球續出で六點、三回本壘打等もあつて六點、四回三安打に二點、五回二安打と四球に五點、六回失策續出に更に三點計二十四點を入れ二十四對A七(七回にてコールドゲームを宣告)にて沙河口工場軍大勝す時に閉戰五時三十五分

それより沙河口工場選手はダイヤモンド中央に整列し栗木大連新聞社長より榮えある優勝旗をうけ萬歳を三唱して閉會した

(以下スコア表、判読困難につき一部)

工場 立葛田石田島田田原 足出益大金竹島野高 三捕投左二中右補一

豐年 澤野野中川屋川出瀬武妻 小三小田北土石藤赤吉川 二左中中捕三右投三一遊 投右補

球審安藤(兄)壘審安藤(弟)豐年先攻

御裁可を仰いだ上で前閣僚拘引されん

數十萬圓の收賄判明

【東京二十五日發電】政府が綱紀肅正を的として過日來活動を續けてゐる私鐵事件につきては既に知名の實業家から數名檢擧されたが之に關し愈々噂に上つた前内閣の某閣官が數十萬圓の收賄を爲した事明瞭となり兩三日中に愈々拘引起訴收容する手筈となつた、右につき同閣官は前官禮遇を忝なふし居り司法當局は事件の内容を詳記したる拘引理由書を作製内閣に廻附し首相は之を以て畏き邊りに上奏右拘引の御裁可を得る筈である

佐世保の火事

【東京二十五日發電】二十四日午後十時頃佐世保市島瀬町活動館中央館映寫室より發火し見る〳〵内に隣接の佐世保新聞に延燒し消防隊、海軍消防、陸軍重砲兵消防隊等驅け付け消火に努めたが火の廻り早く中央館、新聞社外民家五戸を燒き二十五日午前二時鎭火した原因は中央館にて試寫中フィルムに引火した爲めで損害十五萬圓

議會暴行事件控訴公判

【東京二十四日發電】一昨年の議會暴行事件に連坐せる政友會代議士難波清人氏以下四氏の控訴公判は二十四日午前十一時半より東京控訴院刑事部宮城裁判長、松田檢事立會ひの下に開始されたが檢事は左の如く求刑した

難波清人▲禁錮二月(執行猶豫一年)(前審三月)井大輔▲禁錮一月(行猶豫一年)(前審同)坂吉良元夫▲罰金百圓(前審禁錮二月)海原清平▲同(前審罰金三百圓)松岡俊三▲同(前審同)

ロシア共產黨ハルビンで裁判

【滿洲里廿四日發電】當地監獄に收容中のロシア共產黨員男女七十八名は廿四日午後六時ハルビンに護送され裁判に附する事に決定した

大連女給向上會發會式を擧ぐ

◇—廿四日遊樂館にて

精神的にも物質的にも圓滿なる向上發展を遂げて世の誤解と中傷と侮蔑とから浮び出やうと云ふ大連女給向上會は二十四日午後二時半から岩代町遊樂館で發會式を擧げた、出席女給六十五名ソレに介添の營業主二十餘名、大連署からは特に原田保安主任が臨席を出した、勝頭山本會長の挨拶あり、引き續き會の趣旨、目的から會則の說明を爲し、原田保安主任一場の訓示を行つたが、平素眞赤な唇を開いて自由を叫ぶ女給達も恐い小父さんが立ち會つてゐると云ふ氣兼ねか溫順しい娘さんに返つて發言する者もない、只介添役である營業者の提案により評議員十名の推薦に就いては洋食部より六名、和食部、雜貨部より各二名の振當として役員に一任、なほ女給の讃衣はなるべく質素を旨とする事など申合せ、最後に百合口事務員より會員は日常必需品の購買、疾病の治療、その他に關し特定の商店、醫師その他より五分乃至二割の割引特典ある旨を說明、記念撮影を爲し同四時十分散會した、この會の母體である飲食店組合員も會の圓滿なる發展を遂げしむるため相當援助を行ふ模樣である(寫眞は女給向上會の發會式に於ける山本會長の挨拶)

二百米リレーで女子軍優勝

明治神宮水上大會に出場のため内地に遠征をした滿洲代表女子水泳選手一行は途中二十三日大阪にて大阪毎日新聞社主催の女子水上選手權大會に出場し見事二百米突リレーに優勝の榮冠を獲得して幸先を祝ひ直ちに無事上京をした一行の宿舍は東京市本鄉區菊坂町菊富士ホテルである

子供を道連れに親子の心中

就寢の三名を慘殺して縊死したのを妻が發見

【横須賀二十五日發電】二十五日午前五時半横須賀市佐野町二一も加藤千代吉(三〇)は同家六疊の間で就寢中の四男博(七)五男義雄(五)二女琴子(三)の三名を剃刀や鑿を揮つた上頭部に鑿を打込み慘殺し己は便所で縊死を遂げてゐるのを妻ウラ(四〇)が發見横須賀署に屆出たが千代吉は最近海軍工廠需品部職工を馘首され且つ腎臟病を病むなど不幸續きに遂に子供を道連れに親子心中を遂げたものである

石炭泥棒警戒に各驛に番犬配置

南關嶺の貯炭場は好成績で泥棒の影がなくなる

滿鐵々道部では南關嶺貯炭場に於ける石炭泥棒に業を煮しその對策として昨年より同貯炭場内にビニチエル、シエフアード、セパートグレートデン其他の優秀犬を飼養訓練しつゝあつたが、成績頗る良好で番犬飼養後の貯炭場は全く泥棒の影を没するに至つた、然るに最近三十里堡及普蘭店に多の準備のためか石炭泥棒が非常に跋扈するため驛員は徹宵警戒に努めつゝあるも絕滅することが出來ず南關嶺よりピニチエル及シエフアード種各一頭宛を借り受けて警戒に當らしめたが普蘭店に於ては番犬の有無を知らず二名の泥棒が入込み番犬に追はれ一名は直ちに

逃走せしも他の一名は三十分間餘を犬に惱まされ遂に附近の堀の中に飛込んで危險から免れようとしたが犬も續いて堀に飛込み水中で約十五分間餘を格鬪し泥棒は殆ど瀕死の狀態に陷つたので警戒員が救ひ上げた、斯くて普蘭店も三十里堡も全く石炭泥棒の跡を絕つたが、鐵道部ではこの番犬を沿線各驛に漸次配置して警戒に當らせる筈だと

張學良氏の第六夫人

北平から特別列車で輿入れ

最近張學良氏におめでたがあつたそれは今回第六夫人を迎へたことである、花嫁は媛香娘と稱し芳紀二十二歳で何成濬氏の仲介でわざ〳〵北平から特別列車で送られて來たのであるがその花嫁は二十四日朝瀋陽驛に到着し學良氏は數名の自動車で出迎へ直ちに自邸に入つた、或る方面では馮、閻、張三巨頭聯盟をかなり根强いものとする爲めわざ〳〵花嫁を送つたのではないかと云はれてゐる

戰跡リレーは神嘗祭に擧行

旅順獨特のレースとして例年全滿スポーツ界の呼物となつてゐる戰跡クレーレースは來る十月十七日神嘗祭を期して擧行することに内定したが詳細は追つて發表の筈

警官獨身宿舍で拳銃の盜難

官給のブローニング 大連署で極秘に搜査

大連神明町の大連警察署獨身宿舍内伊上巡查(假名)は二十三日午後七時ごろから二十四日午前九時ごろまでの間に於て自宅机の抽斗に納入して置いた護身用の官給ブローニング拳銃一挺を財布と共に何者かの爲めに窃取された、屆出により大連署では極秘裡に犯人搜查中であるが、未だ目星もつかない模樣である、同獨身宿舍は午後十一時ごろまで門扉を開いてゐるのを常とするが犯人は外部より侵入したものか、或ひは内部の者の所爲かソレさへも見當つかず疑問とされてゐる、强盜事件頻出しその犯人さへまだ逮捕されない狀態にある昨今、若し犯人が外部の者とすれば一層危險が加はる譯で物騷この上もなく、内部の者の所爲とすれば恐らく不良ブローカーの手に渡つてゐるだらうと見られてゐる

女學生の講演

彌生の記念式

市内彌生高等女學校は本年を以て創立十周年に相當するので二十八日同校に於て盛大なる記念祝賀式を擧行するが、尚當日は午後三時より同校最初の試みとして生徒が演壇に立ち左の如き演題の下に生活改善及家事經濟に關する講演會を開催し一般婦人の來聽を歡迎すると

一、消費の合理化について 五年 吉野光子

二、貯蓄の出來る豫算生活 五年 林愛子

金州普蘭店間直通電話新設

金州と普蘭店間は地理的に密接な關係があるが從來直通電話回線なきため全部大連中央電話局の中繼に依つてゐたので當地遞信局では今回金州普蘭店間直通電話線を新設するとに決定し近く起工するが本線完成の曉には金州對瓦房店、貔子窩、熊岳城及其附近各地との通話も大連を迂廻しないで濟むこととなる

尚大連普蘭店間電話線に挿入しある三十里堡は近來地況の發展に伴ひ通話數を增してきたので從來の三局接續回線を三十里堡普蘭店間に一回線を新設することゝなつた

演藝館を告發

未檢閲で上映

大連西廣場演藝館小田恭澄は曾て映畫西洋劇「ライラックタイムの豫告篇」一卷をその筋の檢閲を受けず上映し大連署に發見嚴重戒告の上始末書まで取られたがそれにも懲りずこの二十二日夜日の出町日の出俱樂部に於て未檢閲の映畫時代劇「金看板」十卷を上映し興行用に供したので今度は二十五日告發された

惡集金人告訴

大連三河町三スタンリー、スカートン自動車貿易商會販賣係員田口富藏(四〇)は過般同商會の賣掛代金一千五百圓を横領費消し月賦返還の約束で告訴を取下げられ再び同商會に傭はれてゐたが更に改悛の情なく八月十三日以來今日迄市内のタクシー數軒より五百圓餘を集金し何れも消服費消した事發見され又々告訴されて二十五日午前十一時五十分若狹町一八六朝日館から大連署へ引致された

地方競馬の許可申請

大連農會から

大連農會にては現在行はれつゝある競馬のみにては是等地方産馬に頗る關係薄く地方産馬の改良に神補する處甚だ尠きを遺憾とし内地府縣の實例に鑑み地方産馬匹を主とする競馬會を開設し中堅農業者に對し産馬心を誘導するは勿論從來馬匹を飼養せなかつた内地人農業者にも馬匹飼養の機會を與へ以て地方産馬匹の改良進步を企圖し二十四日附大連農會長田中千吉氏の名を以て地方産馬匹の競馬會設立方を關東廳へ申請した

けふのラヂオ

昭和四年九月廿六日(木曜日)

自午前十一時 相場(特産、錢鈔、株式、各地相場)

自午後〇時三十分 相場(特産、錢鈔、株式相場)ニュース

自午後三時三十分 相場(特産、錢鈔、株式各地相場)ニュース

自午後七時

一、ニュース

二、支那語講座「實用支那語會話」滿鐵學務課秩父固太郎

三、映畫物語「親」解說 松葉詩朗(伴奏)帝國館管絃部

四、清元「式三番叟」(淨瑠璃)西村貞(三味線)清元榮造(上調子)喜久勇事清元愛喜

五、尺八「都山流本曲船唄」宮地泰風、木村汲山、辻泰正

六、支那劇「斬子」(唱)陳綏子(師付)王振泉

七、料理獻立

八、天氣豫報

九、ラヂオ體操

愛慾の窓（111）

戸川貞雄作
淺枝次朗畫

結婚（一〇）

花環や花束や鳥籠や、その他華やかな祝物のなかから、ぬつと姿を現したのは、龍吉であつた。青ざめた顏、きつと引歪めた唇、殺氣を湛えてゐる眼、彼は驚愕に眼を瞠つたまゝ啞然としてゐる英輔の前に突つ立つと

「……おい！姉さんを返せ！」

と一言、低くしかし鋭く叫んだ

「……君は龍吉君だね、何しに來たんだ！僕は君なんかに會ふ理由はないんだ。さつさとこの部屋を出てゆけばよし、でないと僕はこのベルを押して人を呼ぶぜ。呼んで君をまた警察の手に引渡すぜ」

英輔は虚勢を張りながら、龍吉の前に立ちはだかつた。後に倭文子をかばふやうにして。

「……勝手にしろ！だがその前によ！姉さんを僕の手に返せ！僕はそのために三保の薫育院を脫け出して來たんだ！間にあへば、今夜の宴會を滅茶々々にしてやるところだつたが、間にあはなくて手前たちは助かつたのさ！おれはこつそりこゝへもぐり込んで、機會の來るのを待つてゐたんだ！さ、姉さんをおれの手に返してくれ！」

龍吉は一見給仕かと見える黑の小倉の詰襟服の、ヅボンのポケットに兩手を突込んだまゝ、英輔の顏を白い冷たい眼で睨んだ。

「……姉さん、といふのは美知子さんのことだね」と、英輔はいくらかおちつきを取戻して、憎々しげに云つた。「僕は仁科美知子さんが何うしたか、何も知つてはゐないよ！」

「とぼけるな！色魔！金や權力を笠に、貴樣は幾人の女を汚した！弄んだ？おれは姉さんから手紙が來たんで、吃驚して飛んで來たんだ。姉さんは、貴樣に弄ばれたと云つて來た！死ぬと云つてきた！死んだら、後の仇はよろしく頼むと書いて來たんだ！おれは場合によつたら、貴樣を殺す覺悟で出て來たのだ！」

龍吉の顏には、凶暴なひらめきが漲つてゐた。それは英輔をおびえさせるのに充分だつた。その上龍吉は、ヅボンのポケットから引出した左手に、ギラ／＼光る拳銃を握つてゐるのだ。

「……さ、何とか返事をしろ！」

「僕、僕は……しかし、美知子さんにもしものことがあつたら、そりや大變だ。僕としたつてさう聞いちや捨ててもおけないよ！直ぐ何とか手配しなけりやア……」

と、英輔はおろ／＼と聲を顫はせたが、つと龍吉の側ちかく寄つてゆくと、囁くやうな調子で「……だが、今夜のところは勘忍してくれたまへ！もちろん直ぐ君の姉さんの安否は調べさせることにするが、今夜は君も草野君のところへでも引取つてくれないか、頼むよ！」

さう云ひながらそつと龍吉の手に握らせようとするのは、二三枚の十圓紙幣だつた。

「……駄目だ！今夜のおれは金を貰ひに來たんぢやアねえや！何だ、こんなもの！」

と、龍吉は摑ませられた紙幣を紙屑のやうに丸めると、絨毯の上に投げ棄ててしまつた。

「おれは姉さんの安否がわかるまで、こゝは動かねえ！殺されても動かねえんだ！」

龍吉は叫んだ。さう叫ぶと、彼は片隅の長椅子の上に、どつかと腰をおろしてしまつた。そしてまるで無邪氣な駄々子のやうに、手の甲で涙を押し拭ながら、しく／＼とすゝり泣きをしはじめた。

「……困つたな、龍吉君、僕は責任を以て美知子さんの安否は調べさせるよ。だから今夜のところはどうか穩便にすまして貰ひたいんだ」

英輔は、龍吉の子供らしい態度にいくらか氣易さをおぼえて、宥めるやうに云つた。

「……僕たちはね、もうそろ／＼旅行に出かけなければならないんだからね。頼むよ、今夜のところは」

が、振向くと、いつの間にか倭文子の姿が部屋にはなかつた。英輔はさらに愕然となつて顏色を變へた。

滿日文藝

滿日柳壇

「浮沈」　丸角卯木人選

浮き沈み浮き世へなすりつけ　同
どうかして浮いて見ろふが又沈み　同
盥舟くるりとかへり又沈み　白山
七轉び八起きでやつと息を吐き　白山
命綱へ縋づく娘を伏し拜み　滿州坊
やけ酒を飲むで身の上話なり　思水
縁談に娘浮いたり沈むだり　鈴子
沒落の悲運が目舞ふ三代目　爲棲
零落のそれも浮き世と負け惜み　萬之助
亡命は隠家に見る去年の夢　水母
昔日の面影もなく三等車　同
泥水の足を洗つて玉の輿　同
潜水艇浮むだ時に息を吐き　牧童
水泳の選手妙技に浮き沈み　榮丸
好況と不況浮沈の綾を織り　白鷺
ありし日の榮華を偲ぶ門に立ち
おちぶれて昨日の舐者通り過ぎ

五客

貰受けの晴衣華く浮き上がり　鈴子
海女春の陽を浴びて又沈むなり　爲棲
州ね釣瓶一つ沈むと二つ浮き　萬之助
浦島は龍宮へ來て夢が醒め　一星
浮き沈みある世を漫畫家は茶化し　不孤

人　大連霞町　高柳桂風
全盛の時代に上げた石燈籠

地　大連霞町　海名水母
落籍された恩へ二度目の褄をとり

天　大連市西町　長谷川溪聲
相場師の妻派手になり地味になり

軸　吟
肩書をみんな削つて居喰ひする
買つた山鞋に踏むで國を去り

新刊紹介

▲世界美術全集（第三十三卷）歐洲近代（未來派、立體派、表現派）と明治大正（文展後期、院展、國展、帝展、時代の逸品が網羅してある（東京市麴町區下六番町一〇平凡社發行豫約品）
▲シャーロクホームズノ冒險（世界探偵小說全集第二卷）ボーミヤ王宮事件その他コナンドイルの面白い作品十一篇を收めてゐる（東京市麴町區下六番町一〇平凡社發行、豫約品）
▲新聞國民の實際簡易保險のパンフレツド
▲東洋貿易研究（第八卷第九號）大阪市北區中の島大阪市役所產業部調査課發行、定價金卅五錢
▲教育時論（千五百九十三號）東京市麴町區三番町六三開發社發行、定價金十八錢